

年 報

令和 6 年度

愛媛県総合科学博物館

年報の発刊にあたって

愛媛県総合科学博物館

館長 和田 英 夫

県民の皆様には、平素から当館を御利用いただき、誠にありがとうございます。

また、関係者の皆様には、当館の円滑な運営に様々な御協力・御支援を賜っており、深く感謝申し上げます。

当館は令和6年11月に開館から30周年を迎え、中村知事にも御臨席いただき、記念式典を開催しました。これまでの間、多くの方々に当館を御利用いただき、この大きな節目の年を迎えることができましたことに心から御礼を申し上げます。今後も、これまで以上に自然や科学の楽しさに触れていただく機会を創出するよう、職員一同、より一層の努力を重ねていく所存であります。

さて、開館30周年を記念した特別展をはじめ、令和6年度は様々な魅力的な企画を展開しました。10月には、山中俊治名誉館長が企画した『未来をつくる: 科学とデザインの実験室』を開催しました。最先端の科学技術とデザインを融合させたロボットバイクや3Dプリンタで作られた不思議な「生き物」などを公開し、来館者に未来世界を想起させる貴重な機会を提供しました。

このほか、春の特別展「シン・忍者展」では、謎に満ちた存在の忍者や忍術を最新の史料で明らかにし、体験装置や映像、パネル展示を通して、忍者の知恵や知識を遊びながら学ぶ展示を開催しました。また、夏の特別展「スリラー博士の恐怖の実験室」では、「影の実験室」「音の実験室」「恐怖のワームトンネル」など光や音や錯覚効果を通じて、怖くて楽しい展示を開催しました。

さらに、企画展「石のワンダー」では、色や形に特徴のある石の美しさや不思議な性質などの魅力を紹介するとともに、旧四国通商産業局で収集された国内各地の鉱山の鉱石コレクションも展示しました。また、企画展「宇宙で食べる・宇宙で生きる」では、宇宙飛行士が食べている実物の宇宙食や開発エピソード、開発を担った各企業の技術を紹介し、食・健康・暮らしといった身近な切り口から宇宙開発技術に迫りました。

時代の変化に伴い、博物館を取り巻く環境も変わり続けています。これまでの資料の収集、調査研究、展示、普及といった基本的な役割に加え、地域の多様な主体との連携や文化観光の推進、さらには地域の活性化への貢献など、より広範な取り組みが求められるようになっていきます。このような新たな課題に対応するため、博物館職員は専門性を一層高めるとともに、持続可能な運営と経営の改善にも取り組み、博物館活動のさらなる発展を目指してまいります。

本書は、令和6年度における事業の実施状況を中心に当館の概要を紹介しております。御一読いただきまして、活動内容を理解していただく一助としていただければ幸いです。今後とも愛媛県総合科学博物館をどうかよろしくお願いいたします。

目 次

年報の発刊にあたって	1
------------------	---

I 博物館概要

1 沿 革	4
2 設置の目的	8
3 施設の機能	8
(1) 博物館機能	8
(2) 生涯学習推進機能	9
4 建築施設の概要	12
(1) 所 在 地	12
(2) 敷 地 面 積	12
(3) 建 築	12
(4) 整 備 費	12
5 運営組織及び職員	13
(1) 組 織 構 成	13
(2) 職 員	13
(3) 指定管理者制度	13
6 博物館協議会	14

II 令和6年度事業報告

博物館機能

1 資料収集・整理・保存	16
(1) 資料の収集	16
(2) 資料の整理	16
(3) 資料の保存管理	16
(4) 収蔵資料データの公開	16
2 調査研究	17
(1) 個別（分野別）研究	17
(2) 研究成果の公表	19
3 展示活動	20
(1) 常 設 展 示	20
(2) 特 別 展 示	28
(3) 企画展示等	30
4 教育普及事業等	32
(1) 博物館講座の開催	32
(2) 博物館資料の特別利用及び館外貸出	34
(3) 実験器具と標本セット貸出	35
(4) 学校教育との連携	36
(5) 外部機関・団体との交流事業等	39
(6) 主催・共催事業	45
(7) 子育てサポート事業	57
(8) 印刷物の刊行	58
(9) 博物館実習の実施	58
(10) 友の会育成支援	58
(11) 博物館の情報化	61
(12) マスメディアへの対応	61
(13) ボランティアへの対応	61
(14) 外部団体からの助成	62
(15) N P O 団体等との連携	62

5	プラネタリウムの運営	62
(1)	投影回数・時間	62
(2)	番組・投影期間	62
(3)	メンテナンスによる投影休止期間	62
生涯学習推進機能		
	生涯学習推進事業	63
(1)	東予コミュニティ・カレッジの開催支援	63
(2)	生涯学習情報の提供	64
(3)	施設の提供	64
(4)	図書室の開放	64
Ⅲ 予 算		65
Ⅳ 令和7年度事業計画		
博物館機能		
1	資料収集・整理・保存	66
(1)	資料の収集	66
(2)	資料の整理	66
(3)	資料の保存管理	66
2	調査研究	66
	令和7年度研究テーマ	66
3	展示活動	66
(1)	常設展示	66
(2)	特別展示	67
(3)	企画展示等	68
4	教育普及事業	68
(1)	博物館講座の開催	68
(2)	印刷物の刊行	70
(3)	友の会育成支援	70
5	プラネタリウムの運営	70
(1)	投影回数・時間	70
(2)	番組・投影期間	71
(3)	メンテナンスによる投影休止期間	71
生涯学習推進機能		
	生涯学習推進事業	71
	東予コミュニティ・カレッジの開催支援	71
Ⅴ 令和6年度の利用状況		
1	施設利用データ	73
(1)	月別利用状況	73
(2)	団体利用状況	75
2	貸館利用データ	75
3	臨時休館日	75
Ⅵ 関係法規		76
Ⅶ 博物館利用案内		
1	施設使用案内	98
(1)	施設使用申込み	98
(2)	施設使用料	98
2	入館案内	99
(1)	開館時間	99
(2)	休館日	99
(3)	展示観覧料	99
3	交通案内	99

I 博物館概要

1 沿革

昭和63年12月3日	総合科学博物館調査研究委員会設置
平成3年6月4日	総合科学博物館調査研究委員会の基本構想の知事への答申 (建設候補地を新居浜市とする。)
10月30日	建築基本設計着手(平成4年3月31日完了)
11月9日	展示基本設計着手(平成4年3月31日完了)
11月30日	用地整備事業着手(平成6年1月31日完了)
12月3日	国立科学博物館理工学研究部長石橋一郎氏、展示プロデューサーに就任 (平成7年3月31日終了)
平成4年7月23日	建築実施設計着手(平成4年10月31日完了)
12月8日	展示実施設計着手(平成5年3月31日完了)
12月12日	建築工事着工(平成6年9月30日完了)
平成5年7月10日	展示品等整備工事着工(平成6年9月30日完了)
10月2日	立体駐車場建築工事着工(平成6年9月30日完了)
平成6年4月1日	総合科学博物館開設準備室設置
8月17日	定礎式
10月1日	愛媛県総合科学博物館、公の施設として設置 理化学研究所理事長 有馬朗人氏、館長に就任
11月10日	落成式を挙行
11月11日	一般公開
平成7年1月16日	入館者数 10万人を達成
2月11日	開館記念シンポジウム
5月2日	愛媛県総合科学博物館運営委員会設置
6月10日	巡回展「エネルギー体験館」(6月25日まで)
8月13日	夏休み特別展「夏だ!おもしろ博物館」(8月31日まで)
10月1日	愛媛県総合科学博物館友の会設立
12月17日	プラネタリウムギネス記念事業(シンポジウム・コンサート)
平成8年2月10日	企画展「ロボットの歴史と未来」開催(3月30日まで)
3月3日	入館者数 50万人を達成
7月14日	企画展「恐竜」開催(9月1日まで)
平成9年4月26日	特別展「欧米の科学博物館」開催(5月25日まで)
7月13日	企画展「出発進行!愛媛の鉄道 ~坊っちゃん列車から未来の鉄道~」開催 (8月31日まで)
10月25日	特別展「宇宙開発の過去・現在・未来」開催(11月24日まで)
平成10年3月21日	入館者数 100万人を達成
4月29日	テーマ展「川の生きもの」開催(5月10日まで)
7月11日	企画展「たんけん!超ふしぎ館」開催(8月30日まで)
7月20日	有馬朗人氏、館長を退任
9月12日	特別展「自然科学写真協会写真展」開催(9月20日まで)
平成11年3月6日	特別展「愛媛の鉱山」開催(4月11日まで)
6月9日	日本学術振興会 理事長 菊池健氏、館長に就任
7月10日	企画展「昆虫ワンダーランド」開催(8月31日まで)
10月9日	特別展「日本自然科学協会写真展」開催(11月7日まで)
12月11日	特別展「ふしぎ大陸 南極展」開催(1月16日まで)
平成12年3月19日	館蔵品展「海の森・海藻の世界」開催(5月7日まで)
7月8日	企画展「海のめぐみ」開催(8月31日まで)
8月17日	入館者数 150万人を達成
10月7日	特別展「日本自然科協会学写真展」開催(10月29日まで)
12月9日	館蔵品展「夢と科学のたどった道-20世紀-」開催(1月14日まで)
平成13年4月24日	館蔵品展「干潟の自然」開催(5月6日まで)
5月19日	巡回展「すばる望遠鏡-宇宙を探る新しい眼-」開催(6月10日まで)
7月14日	企画展「人体」開催(8月31日まで)
平成14年2月23日	特別展「日本自然科学協会写真展」開催(3月10日まで)
3月17日	館蔵品展「翼大空へ~航空機と空港を知る~」開催(4月14日まで)

4月27日	企画展「ふ・し・ぎミュージアム」開催（5月26日まで）
6月1日	企画展「仮想科学館」開催（6月30日まで）
7月13日	特別展「花物語 花にかくされたひみつ」開催（9月1日まで）
11月2日	特別展「日本自然科学協会写真展」開催（11月17日まで）
12月21日	企画展「愛媛のキノコ～華麗なる森の芸術家たち～」開催（平成15年2月2日まで）
平成15年2月8日	企画展「昔の遊び！今の遊び！」開催（2月16日まで）
2月27日	企画展「植物のおぼえ方」開催（3月16日まで）
3月22日	企画展「きれいなし」開催（5月5日まで）
5月11日	企画展「愛媛の野鳥～写真で見る野鳥観察～」開催（5月25日まで）
6月1日	企画展「消えゆくいきものたち」開催（6月22日まで）
7月12日	特別展「わくわく！エネルギー体験館」開催（8月31日まで）
	入館者数 200万人を達成
9月20日	企画展「渡る蝶」開催（10月19日まで）
10月25日	巡回展「日本自然科学協会写真展」開催（11月9日まで）
12月13日	巡回展「ふれあい宇宙フェスティバル～“きぼう”の世紀へ～」開催（1月18日まで）
平成16年1月24日	企画展「身の回りのサイエンス～かんきょう～」開催（2月15日まで）
2月28日	企画展「愛媛の漁業 宇和海と瀬戸内海」開催（5月9日まで）
5月22日	企画展「侵入者たち～外来生物について～」開催（6月20日まで）
7月10日	特別展「すごいぞ！むかしの生きもの」開催（8月31日まで）
11月13日	開館10周年記念収蔵品展開催（1月10日まで）
平成17年1月22日	企画展「みて！さわって！つくろう！昔のおもちゃ」開催（2月20日まで）
3月5日	企画展「別子銅山写真展」開催（5月15日まで）
3月31日	菊池健氏、館長を退任
4月1日	日本科学技術振興財団会長 有馬朗人氏、名誉館長に就任
10月22日	企画展「第26回自然科学写真協会愛媛展」「内藤洋写真展－南極・動物の夏－」同時開催（11月20日まで）
7月9日	特別展「さわって！あそんで！おもしろ科学ワールド」（9月4日まで）
12月3日	企画展「愛媛の鉄道写真展」（1月29日まで）
平成18年2月18日	企画展「ふしぎなホログラム」（5月28日まで）
7月15日	特別展「昆虫No.1決定戦」（9月3日まで）
9月16日	企画展「秋の草花」（11月26日まで）
12月2日	企画展「WARNING！地球温暖化」（1月8日まで）
平成19年1月20日	企画展「八幡浜の水産業」（3月11日まで）
3月24日	企画展「博物館講座展」（5月13日まで）
7月14日	特別展「きら☆ぴか☆りん ふしぎな光ミュージアム」（9月2日まで）
10月6日	企画展「愛媛の航空路 今昔」（12月2日まで）
平成20年2月10日	企画展「自然科学写真協会 写真展」（3月9日まで）
3月29日	企画展「天体写真展 星空への招待」（5月25日まで）
7月12日	特別展「KARAKURI メカのしくみと動きのヒミツ」（8月31日まで）
10月4日	企画展「おかしな機械」（11月30日まで）
12月4日	巡回展「毛利宇宙飛行士の部屋」（12月28日まで）
平成21年2月28日	企画展「森のめぐみ 木のものがたり」（5月10日まで）
2月28日	企画展「地衣類の世界」（5月10日まで）
3月15日	入館者数 300万人を達成
3月31日	愛媛県立博物館廃止 収蔵資料203,720点移管
4月1日	指定管理者制度導入 （指定管理者 イヨテツケーターサービス株式会社 平成26年3月31日まで）
7月4日	巡回展「霧箱」（9月10日まで）
7月11日	特別展「トリックアート」（8月31日まで）
10月3日	巡回展「日本の宇宙科学の歴史」（10月27日まで）
10月10日	巡回展「SSP写真展」（11月8日まで）
12月12日	巡回展「美とメイク」（平成22年1月11日まで）
平成22年2月6日	巡回展「森のめぐみ」（3月14日まで）
2月27日	企画展「昔のおもちゃ、今の玩具」（4月11日まで）
3月20日	プラネタリウム リニューアルオープン
4月24日	企画展「宇宙への誘い～宇宙開発展～」（5月30日まで）
7月10日	特別展「たんけん！ジャングルミュージアム」（8月31日まで）
10月9日	巡回展「SSP写真展」（10月31日まで）
12月11日	巡回展「ガリレオの天体観測から400年—宇宙の謎を解き明かす—」

	(平成23年 1月30日まで)
12月12日	巡回展「エネルギー商店街」(平成23年 4月 7日まで)
平成23年 1月29日	巡回展「森のめぐみ」(3月13日まで)
2月26日	企画展「なぎさの博物館 砂浜」(4月10日まで)
4月23日	企画展「剥き出しの地球 南極大陸」(6月 5日まで)
7月 9日	特別展「ドキドキ体感ミュージアム スリラー博士の恐怖の実験室」(9月 4日まで)
10月 8日	巡回展「森の博物館」(11月13日まで)
11月12日	巡回展「科学市場」(平成24年 3月27日まで)
12月10日	企画展「おもちゃの今昔～素材と技術の移り変わり～」(平成24年 1月29日まで)
平成24年 2月25日	企画展「光で魚を捕る漁業」(4月 8日まで)
3月10日	テーマ展「東日本大震災と博物館資料～標本レスキュー活動の記録～」 (4月15日まで)
3月24日	新型恐竜ロボット完成・自然館リニューアルオープン
4月21日	巡回展「光の謎を解き明かせ!」(6月17日まで)
4月28日	巡回展「科学技術の「美」パネル展」(6月24日まで)
7月14日	特別展「ディノ・ミュージアム～恐竜の生態と進化～」(9月23日まで)
10月 6日	企画展「錯視の不思議」(11月11日まで)
11月23日	企画展「愛媛の博物誌」(平成25年 1月27日まで)
平成25年 2月23日	企画展「磁石と日本人」(4月 7日まで)
4月20日	巡回展「科学捜査展」(6月23日まで)
7月13日	特別展「南極の自然～観測活動とその成果～」(9月16日まで)
8月21日	入館者数 400万人を達成
9月 7日	巡回展「オーロラ～宇宙からの手紙～」(9月16日まで)
10月 5日	巡回展「マリー・キュリー業績ポスター展」(11月10日まで)
11月23日	企画展「万華鏡の華麗な世界」(平成26年 1月13日まで)
12月 7日	巡回展「科学技術の『美』パネル展」(平成26年 2月16日まで)
平成26年 3月15日	企画展「鉱山絵葉書写真～産業近代化の胎動 時代の息吹を感じる～」(4月 6日まで)
4月 1日	学芸課にグループ制導入
4月 1日	指定管理者制度 第2期開始 (指定管理者 イヨテツケーターサービス株式会社 平成31年 3月31日まで)
4月19日	巡回展「深海探検～海底二万里の世界～」(6月22日まで)
4月26日	巡回展「私達のかげがえのない海～はじめての海科学～パネル展」(6月22日まで)
7月13日	特別展「大トリックアート展」(9月15日まで)
7月19日	巡回展「地球から宇宙へパネル展」(8月31日まで)
10月11日	企画展「愛媛の絶滅危惧種『レッドデータブックと博物館』」(11月24日まで)
11月 8日	開館20周年記念イベント開催 (11月 9日まで)
11月 8日	企画展「青色発光ダイオードの発明」(平成27年 4月 5日まで)
12月 6日	企画展「紙の機能と科学」(1月25日まで)
平成27年 2月 2日	かはくノーベル賞記念講演会「発光ダイオードの開発とノーベル賞」
2月14日	企画展「教授を魅了した大地の結晶－北川隆司鉱物コレクション200選－」 (4月 5日まで)
4月18日	巡回展「こわいものめぐり～わたしたちが恐怖を感じるまで～」(6月21日まで)
4月25日	巡回展「はやぶさ君の冒険日誌パネル展」(6月21日まで)
7月18日	特別展「アマゾン～ホントはこんなところだった!～」(9月23日まで)
7月18日	巡回展「生物多様性～人と自然の共存～パネル展」(9月23日まで)
10月10日	企画展「なつかしの家電おどろきの道具」(11月23日まで)
10月17日	巡回展「森に親しむ博物館」(11月 8日まで)
12月12日	企画展「めぐみの海 瀬戸内海」(平成28年 1月31日まで)
平成28年 2月27日	企画展「防災の科学～自然災害から身を守れ～」(4月10日まで)
4月16日	巡回展「日時計の楽しみ」(6月26日まで)
4月23日	巡回展「科学捜査展 S E A S O N 2」(6月26日まで)
7月 9日	特別展「えひめスゴ技展2016」(9月19日まで)
9月17日	巡回展「月のふしぎ」(11月27日まで)
10月 8日	企画展 永久磁石～見て! 触って! 学ぼう!～ (11月20日まで)
10月15日	巡回展 森に親しむ博物館 (11月 6日まで)
12月 3日	企画展 地震を探る (平成29年 1月22日まで)
平成29年 2月18日	企画展 地衣類～コケだけどこケじゃない藻類? 菌類?～(平成29年 4月 9日まで)
	巡回展「100均☆自然史グッズ巡回展」(4月 9日まで)
4月22日	企画展「カハクンの大宇宙旅行展」(6月25日まで)

7月8日	特別展「VRスポーツサイエンス」(9月18日まで)
10月7日	企画展「東予産業遺産」(11月26日まで)
10月21日	パネル巡回展「太陽のふしぎ」(11月19日まで)
10月14日	巡回展「森に親しむ博物館」(11月5日まで)
12月9日	企画展「体験! エネルギーワールド」(平成30年1月28日まで)
平成30年2月24日	企画展「案外すんでる! 身近な生き物」(4月8日まで)
	企画展「ホネホネミュージアム」(4月8日まで)
3月10日	入館者数 500万人を達成
4月1日	県庁組織改正に伴い知事部局に管理運営に関する事務委任
4月21日	企画展「ミクロライフ展」(6月3日まで)
7月21日	特別展「恐竜ロボットファクトリー」(9月2日まで)
9月22日	特別展「〜光と鏡のサイエンスアート〜 魅惑の万華鏡ミュージアム」(11月11日まで)
10月13日	巡回展「森に親しむ博物館」(11月4日まで)
12月9日	企画展「野生の王国ケニア」(平成31年1月27日まで)
	企画展「葉で見分ける常緑樹」(平成31年1月27日まで)
平成31年2月23日	企画展「元素のマトリクス〜星々から生命への贈り物〜」(4月7日まで)
4月1日	指定管理者制度 第3期開始 (指定管理者 伊予鉄総合企画株式会社 令和6年3月31日まで)
4月20日	企画展「こわいものみたさ〜恐怖を科学する〜」(令和元年6月23日まで)
4月27日	テーマ展「越智雄一という人」(令和元年5月26日まで)
令和元年7月13日	企画展「からくりランドの大冒険!! 〜ゆかいなしかけのおもちゃたち〜」 (9月1日まで)
10月12日	巡回展「森に親しむ博物館」(11月3日まで)
10月26日	企画展「別子銅山・東平の思い出」(12月1日まで)
10月26日	パネル巡回展「金星探査機『あかつき』」(12月1日まで)
12月7日	ノーベル賞受賞記念展示「リチウムイオン二次電池の発明」(3月31日)
12月14日	巡回展「国際周期表年2019特別展」(令和2年1月26日まで)
令和2年2月22日	企画展「自然を記録しよう! 標本のつくり方」(4月5日まで)
	企画展「理科室の宝物〜学校収蔵標本から地域の自然を再考する〜」(4月5日まで)
4月18日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 (〜5月10日)
	企画展「パズル展〜パズル島へようこそ〜」 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
7月18日	特別展「世界の昆虫大集合」(9月22日まで)
9月26日	ロビー展「森に親しむ博物館」(11月8日まで)
10月10日	企画展「小川正孝 アジア人初の新元素発見者」(11月29日まで)
10月31日	パネル巡回展「こちら『はやぶさ2』運用室漫画版」(11月29日まで)
12月6日	名誉館長(初代館長)有馬朗人氏、永眠
12月12日	企画展「春待ちロゼット〜冬を越す野草の姿〜」(令和3年1月31日まで)
令和3年2月20日	企画展「無線電話でたどる通信技術史」(4月11日まで)
4月17日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 (〜5月31日)
	企画展「パズル展〜パズル島へようこそ〜」 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
7月17日	パネル巡回展 「いのちってなに?」(8月31日まで)
	特別展「探検! 化石の世界」(9月20日まで)
9月25日	ロビー展「森に親しむ博物館」(11月7日まで)
10月9日	企画展「学ぼう! 電気が創る未来、体験しよう! 電気のサイエンス」(11月28日まで)
	巡回展「生誕100年 ノーベル物理学賞受賞者 南部陽一郎展」(11月28日まで)
12月11日	企画展「磁石工場をのぞいてみよう」(令和4年1月30日まで)
令和4年2月19日	企画展「見たことあるカイ? 知ってるカイ? 〜貝の世界・不思議発見」(4月11日まで)
4月1日	東京大学生産技術研究所教授 山中俊治氏 第二代名誉館長に就任
4月1日	真鍋淑郎ノーベル物理学賞受賞記念展示 (10月2日まで)
4月23日	企画展「わくわく鉄道おもちゃパーク」(6月26日まで)
6月10日	小惑星探査機『はやぶさ2』帰還カプセル&小惑星リュウグウのサンプル特別展示 (6月14日まで)
7月16日	特別展「物理学者が出会った美の世界 カレイドスコープワンダーランド」 (9月19日まで)
9月24日	ロビー展「森に親しむ博物館」(11月6日まで)
10月8日	企画展「スポーツの科学と道具のひみつ」(11月27日まで)
12月10日	企画展「天体写真で見る宇宙」(令和5年1月29日まで)

令和5年2月18日	企画展「愛媛の紙産業」(令和5年1月29日まで)
4月22日	企画展「標本で観る季語の植物 春夏編」(4月9日まで)
7月15日	企画展「科学捜査展」(6月25日まで)
9月23日	特別展「みんなあつまれ!昆虫王国」(9月24日まで)
10月7日	ロビー展「森に親しむ博物館」(11月5日まで)
11月26日	企画展「プラネタリウムと愛媛」(11月26日まで)
12月9日	入館者数 600万人を達成
令和6年2月17日	企画展「標本で観る季語の植物 秋冬編」(令和6年1月28日まで)
4月20日	企画展「来島海峡と潮流信号所」(4月7日まで)
7月13日	特別展「シン・忍者展」(6月23日まで)
9月14日	特別展「ドキドキ探検ミュージアム スリラー博士の恐怖の実験室」(9月23日まで)
9月21日	パネル巡回展「星の衝突で何ができた?」・「62の『月』が織りなす多彩な世界」(11月17日まで)
10月12日	ロビー展「森に親しむ博物館」(11月10日まで)
12月14日	特別展「未来をつくる: 科学とデザインの実験室」(12月1日まで)
令和7年2月22日	企画展「石のワンダー」(令和7年2月2日まで)
	企画展「宇宙で食べる・宇宙で生きる」(4月6日まで)

2 設置の目的

総合科学博物館は、県民の皆様に科学に関する正しい理解を深めていただくための学習機会を提供し、創造的風土の醸成を図るとともに、科学技術の進歩と本県産業の発展に寄与することを目的としている。

3 施設の機能

(1) 博物館機能

ア 資料収集・整理・保存

当博物館では、地域博物館としての機能を果たすため、資料の収集を行う。収集した資料は、適切な処理を施し保存、系統的な整理を行い、地域の共有財産として活用することとしている。

自然史部門は、愛媛県の過去から現在にわたる自然環境の把握、県産種の記録・保存のため、愛媛県に産する生物・鉱物等の資料を収集するとともに、比較分類の必要性から、他県・他国産種についても収集する。

科学技術部門は、科学に慣れ親しむ必要性から、主に体験型実験装置、最先端技術・情報に関する資料を収集するほか、科学史に関する資料も適宜収集する。

産業部門は、愛媛県の基幹産業の変遷、産業構造の変容を把握し、過去の貴重な産業資料の散逸を防ぐため、資料を収集する。さらに、他県・他国産の関連資料についても収集する。

イ 調査研究

調査研究は、博物館における各種事業の基幹的機能として位置付けられ、特に資料収集・保存・教育普及等の事業と密接に結び付くもので、当博物館の調査研究事業は、大きく次の3種類に分類される。

(ア) 各学芸員の専門分野を生かした個別研究

(イ) テーマを設定し、複数の学芸員が異なる分野からアプローチする総合研究

(ウ) 社会教育機関としての博物館を有効に機能させるための博物館学的研究

これらの調査研究の成果は、博物館が発行する報告書(研究報告)に発表し、常設・企画展示、普及啓発事業等を通じて、広く県民に還元する。

ウ 展示活動

当博物館では、自然や科学技術に対する理解を楽しみながら深め、科学する心を培うために実物標本や可動模型を展示している。館内には、「自然館」「科学技術館」「産業館」の3つの常設展示室と屋外展示場を設置して、愛媛の自然や産業、科学技術などをわかりやすく紹介している。

自然館は、「宇宙」「地球」「愛媛」の3つのゾーンで構成し、大型の模型や映像を使い、自然の素晴らしさが再認識できる場を提供している。

科学技術館は、科学技術を「素」「生」「伝」「動」の4つの身近なテーマによって紹介し、楽しみながら学習できるよう参加型の体験装置を配置している。

産業館は、愛媛の産業を「基幹産業」と「伝統産業」に区分し、本県の産業が幅広く理解できる構成としている。

屋外展示場は、大型展示物を配し、展示機能と自由なくつろぎの場としての機能を兼ね備えている。

エ 教育普及事業

多数の県民に博物館の活動事業を周知するとともに、各種活動成果をより多くの人に還元するため、多様な教育普及事業を行っている。

まず、児童・生徒、一般県民を対象に自然観察会・親子自然教室・天体観望会・科学実験教室・科学工作教室・大人のための科学講座・産業講座の7種類の講座を開催している。

さらに、自然や科学に関する関心を高めるため、講師を招いての講演会等を行うとともに、博物館だよりなどの普及用印刷物の刊行や、友の会の育成支援も行っている。

オ プラネタリウムの運営

天文の基本原理を学ぶとともに、宇宙の姿や星座の物語など、天文に関する興味を広げていくことにより、自然館常設展示と連携して、天文学習の振興に資することを目的としてプラネタリウムの運営を行っている。

(2) 生涯学習推進機能

県民の高まる生涯学習ニーズに対応するため、東予地域における生涯学習推進の拠点施設として、県民の生涯学習活動を支援するとともに、地域の生涯学習活動の活性化に資することを目的として、各種の生涯学習事業の実施と施設の開放を行っている。

ア 学習機会の提供

県民の心の豊かさや教養を高めるとともに、実社会において必要な知識や技術を習得するために、気軽に学習できる場として、東予コミュニティ・カレッジに協力している。

イ 学習情報の提供

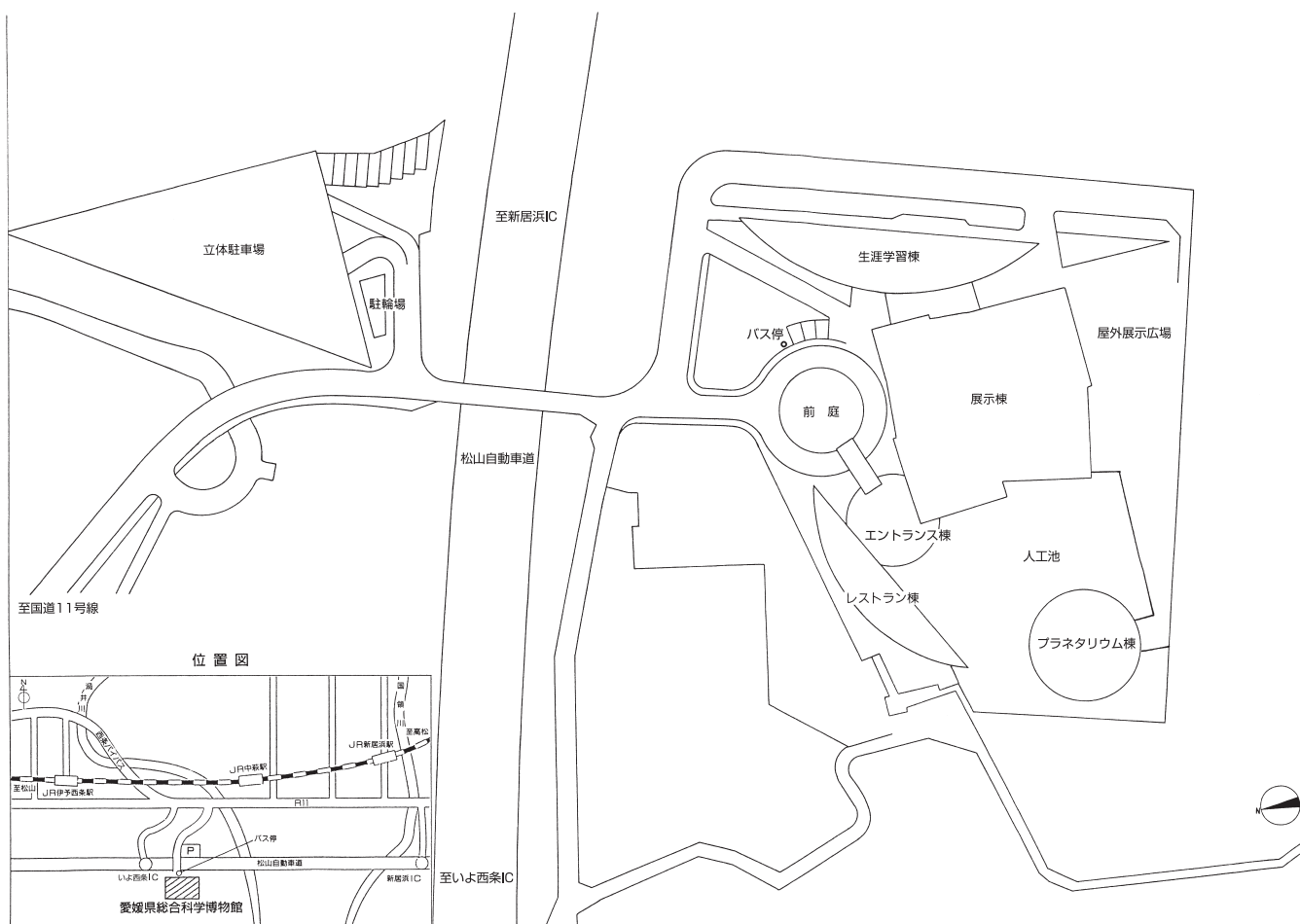
県民の生涯学習活動を促進・援助するため、インターネットのホームページを利用した生涯学習情報システムにより、各種の生涯学習に関する情報を提供するとともに、学習相談を行っている。また自宅で学べる1分間動画など、SNSを利用した学習情報の発信を行っている。

ウ 施設の開放

東予地域の生涯学習活動の拠点施設として、第1研修室、第2研修室、ミーティングルーム、多目的ホール、控室（2室）、企画展示室を有料で開放している。

また、図書室には、約10,000冊の生涯学習関係の図書を蔵しており、閲覧及び貸出を行っている。

愛媛県総合科学博物館配置図





4 建築施設の概要

(1) 所在地 愛媛県新居浜市大生院2133番地の2

(2) 敷地面積 25,800㎡（うち立体駐車場4,300㎡）

(3) 建築

ア 本体

(ア) 床面積 (㎡)

区 分	建築面積	延床面積
エントランスホール棟	665	940.29
展 示 棟	3,460	10,658.44
生涯学習棟	1,331	3,375.02
レストラ ン 棟	703	719.65
プラネタリウム棟	852	903.11
合 計	7,011	16,596.51

(イ) 構造等 鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根鋼板葺地下一階付五階建

(ウ) 特 徴

5つの棟が円錐形、正方形、三日月形、球形となっており、自然の成立ち、科学する心をイメージし、近未来を予感させる。また、人工池を介して自然の中に建つ他の棟を眺めることができる。

(エ) 施 設 《別添図のとおり》

イ 立体駐車場

(ア) 延床面積 6,258.88㎡

(イ) 構造等 鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根二階建

地上2階3層

大型バス8台、普通車320台、駐輪70台

(ウ) 特 徴

博物館本体の純幾何学形態を踏襲し、三角形としている。また、外壁のデザインは、南米ペルーのナスカの地上絵のうち「滑走路」と呼ばれる部分を模写したものである。

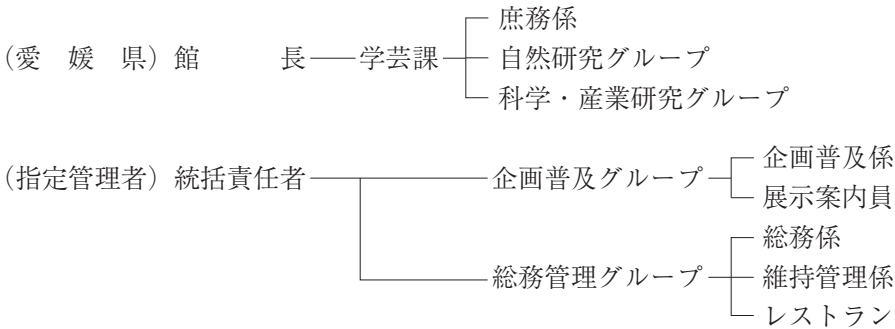
(4) 整備費 (千円)

区 分	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	事業費計
用 地 費	105,528	721,004	587,584	－	1,414,116
建 築 費	47,380	2,689,915	3,423,233	7,889,209	14,049,737
展 示 費	89,711	135,331	2,732,287	648,453	3,605,782
計	242,619	3,546,250	6,743,104	8,537,662	19,069,635

5 運営組織及び職員

(1) 組織構成

名誉館長（山中俊治 ※令和4年4月1日就任）



(2) 職員（令和6年4月1日現在）

指定管理者伊予鉄総合企画株式会社

館長 池野 光則
学芸課
 学芸課長 久松 洋二
 担当係長 丸山 大治
 会計年度任用職員 藤田 琉花

自然研究グループ
 担当係長 大西 剛
 担当係長 小林 真吾
 専門学芸員 山根 勝枝
 専門学芸員 川又 明德
 学芸員 鈴木 裕司

科学・産業研究グループ
 担当係長 吉村久美子
 担当係長 藤本 光章
 専門学芸員 進 悦子
 専門学芸員 安永 由浩
 学芸員 三木 綾乃

統括責任者 長井 摂
企画普及グループ

リーダー 中西 真理
 企画普及係 近藤菜美子
 高橋 智子
 青野美由紀
 島瀬 光理
 展示案内員 灘 ゆかり
 村尾 真美
 平口 寧々

管理運営グループ

リーダー 定松 毅
 総務係 松友 彩子
 佐伯 真紀
 眞鍋 和久
 維持管理係 鳥生日出夫
 レストラン 井上 健司
 岡田 幸治
 越智 剛
 伊藤 和子
 近藤 風花

(3) 指定管理者制度

指定管理者 伊予鉄総合企画株式会社（旧社名 イヨテツケーターサービス株式会社）

指定管理者の業務

博物館施設の維持管理業務、来館者サービス業務、生涯学習事業、施設等の利用許可、利用促進業務、プラネタリウムの運営及び学芸業務の一部（展示事業及び普及啓発事業に係る経費の支出）

県直営業務

学芸業務（博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する業務）

＊学芸業務の一部は指定管理者が経費を支出

名誉館長、博物館協議会に関する業務

維持管理業務の一部（火災共済への加入等）

6 博物館協議会

設 置 平成12年 4 月 1 日
委員数 10名
会 長 愛媛大学名誉教授 宇野 英満
副会長 新居浜市教育委員会委員 近藤 智佳
開催日 令和 6 年10月24日（木）

総合科学博物館協議会委員

（令和 5 年10月12日現在）

選 任 部 門		氏 名	現 職
学 識 経 験 者	自 然（環 境）	奥田 ゆう	岡山理科大学 獣医学部講師
	自 然（地 学）	千葉 昇	愛光中学高等学校文化会館館長
	科学技術（物 理 学）	小西 健介	愛媛大学大学院 理工学研究科准教授
	科学技術（化 学）	宇野 英満	愛媛大学 名誉教授
	科学技術（生 命）	加藤 英政	愛媛大学大学院 医学系研究科准教授
	産 業（機 械）	小野 雄史	新居浜機械産業協同組合 理事長
	地域振興関係	柳川 あこ	株式会社ミカンワークス代表取締役
	観光関係	小林亜紀代	株式会社 旅tabi.info代表取締役
教 育 関係者	学校教育・社会教育関係	近藤 智佳	新居浜市教育委員会教育委員
	一般公募	田村 美香	

愛媛県博物館協議会設置条例

制定：平成12年 3 月24日条例第31号

最終改正：令和 5 年 3 月24日条例第 9 号

愛媛県博物館協議会設置条例を次のように公布する。

愛媛県博物館協議会設置条例

（設置）

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第1項の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館に、それぞれ同表の右欄に掲げる博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

愛媛県総合科学博物館	愛媛県総合科学博物館協議会
愛媛県歴史文化博物館	愛媛県歴史文化博物館協議会
愛媛県美術館	愛媛県美術館協議会

一部改正〔令和 5 年条例 9 号〕

（任命の基準）

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命する。

追加〔平成24年条例 7 号〕

（定数）

第3条 委員の定数は、それぞれ14人以内とする。

一部改正〔平成24年条例 7 号〕

（任期）

第4条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

一部改正〔平成24年条例 7 号〕

（雑則）

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

一部改正〔平成24年条例7号・令和2年9号〕

附 則

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月27日条例第7号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月27日条例第9号抄）

（施行期日）

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和5年3月24日条例第9号抄）

1 この条例は、令和5年4月1日から施行する。

愛媛県総合科学博物館協議会運営規則

制定：令和2年3月27日規則第14号

愛媛県総合科学博物館協議会運営規則を次のように定める。

愛媛県総合科学博物館協議会運営規則

（趣旨）

第1条 この規則は、愛媛県博物館協議会設置条例（平成12年愛媛県条例第31号）第5条の規定に基づき、愛媛県総合科学博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

（招集）

第3条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、愛媛県総合科学博物館長が招集する。

2 会議の日時、開催場所及び会議に付議する事項は、あらかじめ委員に通知しなければならない。

（会議）

第4条 会議は、会長が議長となる。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（庶務）

第5条 協議会の庶務は、愛媛県総合科学博物館において処理する。

（委任）

第6条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

Ⅱ 令和6年度事業報告

博物館機能

1 資料収集・整理・保存

総合科学博物館の調査研究・展示等の目的のため、自然・科学技術・産業等に関する資料を収集し、分類整理の上、適切に保存・管理を行った。

(1) 資料の収集

ア 寄贈資料 計12件 4,780点

	資 料 名	数量	寄 贈 者
自然	新居浜高等工業学校関連資料	7	個人
	オウサマペンギン剥製	1	個人
	アオウミガメ剥製	1	個人
	スズメバチの巣ほか	2	個人
	越智勇氏収集貝類標本	107	個人
	八木繁一氏所蔵資料	4,492	個人
	銅鉱石	1	個人
	合田一慶氏収集自然史資料	1	四国中央市立三島西中学校
科学	H-Iロケット試験機2号機(H17F)打ち上げ写真	1	個人
	ナショナルジュースミキサーほか	5	個人
	扇風機(シャープPD-258)	1	個人
産業	漁業、船舶関連機器	161	個人

イ 寄託資料 計1件 1点

	資 料 名	数量	寄 託 者
科学	171災害用伝言ダイヤル訓練機CUTE	1	公益財団法人 日本公衆電話会 四国統括支部

(2) 資料の整理

平成6年の博物館開館以来、自然史部門は動物、植物、化石、岩石・鉱物、天文の5分野、科学技術部門は、工学、化学、物理、数理、生物・医学の5分野、産業部門は、農林水産、製紙、造船、鉱業、交通運輸、繊維、石油・化学、機械・金属、伝統産業の9分野に分けて、収蔵資料をパーソナルコンピュータのデータベースに登録し管理を行ってきた。平成27年3月、早稲田システム開発株式会社が運営する収蔵資料データ管理システム「I.B.MUSEUM SaaS」へ収蔵資料データの移行を実施した。

平成20年度末に移管を受けた旧県立博物館の動物資料（約129,000点）・植物資料（約65,000点）・地学資料（約6,500点）について、引き続きデータ整理作業を行った。

(3) 資料の保存管理

資料を保存している第1～第7収蔵庫及び標本工作室、3階作業室、4階作業室、企画展示室については、令和7年2月1日にブンガノンによる燻蒸を行った。また、収蔵庫の環境を把握するため、令和6年7月31日及び令和7年2月10日に空中浮遊菌調査も実施した。燻蒸設備については、令和7年3月3日及び3月13日に保守点検を実施した。

(4) 収蔵資料データの公開

収蔵資料データ管理システム「I.B.MUSEUM SaaS」に登録済みの収蔵資料データ（約14万点）について、令和3年4月27日からインターネット上での公開を開始した。また、資料の検索サービスアプリ「ポケット学芸員」により、展示室内において企画展示、常設展示の資料情報を提供している。

あわせて博物館が有する資料の利活用を促進するため、国立科学博物館が国内の各館が有する標本情報を横断的に検索可能なデータベースシステムとして構築したサイエンスミュージアムネット（<http://science-net.kahaku.go.jp/>）内にて、収蔵資料や常設展示資料を公開している。

愛媛県総合科学博物館 収蔵資料点数（令和7年3月31日現在）

[単位：点]

	区分	分 野	形態	個別点数	前年比 (プラス)	小計	自然内訳	区分合計	備考	
総合科学博物館 分野別収蔵資料	自然	化 石	購入	314	0	692	74,082	303,985	寄贈1点、寄託資料返却179点	
			寄贈	378	15					
		岩 石・ 鉱 物	購入	371	0	4,153				
			寄贈	3,782	-178					
		動 物	購入	590	0	10,109				
			寄贈	9,519	2					
		昆 虫	購入	9,401	0	14,140				
			寄贈	4,739	2					
		植 物	購入	109	3	35,652				
			寄贈	35,543	0					
		天 文	購入	16	0	4,730				
			寄贈	4,714	0					
		そ の 他	購入	0	0	4,606				
			寄贈	4,606	4,606					
		(参考) 県博資料 (H20年度移管)	移管	岩 石・ 鉱 物		4,452			200,303	
				化 石		2,118				
				脊 椎 動 物		835				
				無 脊 椎 動 物		127,766				
				植 物		65,132				
		※受入未処理		寄 贈					約29,600	
	科 学	購入	434	6	5,499					
		寄贈	5,065	8						
	産 業	購入	722	0	8,266					
		寄贈	7,544	161						
	前年比(プラス)						4,607			
	総資料点数								317,750	
	うち常設展示点数								4,660	

※寄贈には寄託・譲渡を含む
※寄贈品等で未登録の資料については資料点数にはカウントしない。

2 調査研究

博物館における学芸員の基幹的業務として、学芸員の専門分野を生かした調査研究を継続的に実施し、研究資料の蓄積を図るとともに、その研究成果を県民に周知するため研究報告を作成した。

(1) 個別（分野別）研究

- 久松洋二（学芸課長）
（テーマ） 展示装置及び教材の開発と製作

- (概要) 常設展示・特別展示における従来装置の改良、新作装置の開発を検討した。
- (テーマ) 日本人による新元素の発見と愛媛県との関係
- (概要) 科学者小川正孝及び技術者三並義忠に関する調査研究、資料収集を行った。

●大西剛（自然研究グループ）

- (テーマ) アサギマダラの移動に関する愛媛県の記録（2024年）
- (概要) 愛媛県における2024年のアサギマダラの移動についてマーキング調査を行うとともに、移動記録の整理を行った。
- (テーマ) 博物館周辺の生き物調査
- (概要) 博物館周辺に生息する昆虫や動物について、目視確認を行いつつ写真撮影を行った。

●小林真吾（自然研究グループ）

- (テーマ) 愛媛県の植物・藻類・菌類相
- (概要) 愛媛県レッドデータブックとともに改訂予定の県産種目録に反映させるため、藻類および菌類分野において愛媛県新産種等の情報収集を行った。
- (テーマ) 希少野生動植物の保全に関する研究
- (概要) 愛媛県レッドリスト掲載の藻類および菌類について、文献等による情報収集および野外調査を行い、絶滅リスクの変動について検討した。
- (テーマ) 愛媛県における水域生物相の追跡調査
- (概要) 過去に報告された愛媛県の水域の生物相等の報告・記録等の情報・文献収集・調査を行った。令和6年度は県内で発生したマミズクラゲの情報を整理し、その成果の一部を「愛媛県総合科学博物館研究報告第29号」にて報告した。
- (テーマ) 明治～昭和初期に収集された愛媛の自然史資料
- (概要) 当館に収蔵されている明治～昭和初期の資料および新たに寄贈を受けた資料について調査を行った。

●山根勝枝（自然研究グループ）

- (テーマ) 愛媛県産化石に関する調査
- (概要) 愛媛県瀬戸内海産の食肉目化石について調査を行い、日本古生物学会年会において発表した。
- (テーマ) 館蔵鉱石標本に関する調査
- (概要) 旧四国通商産業局の鉱石コレクションについて調査を行った。

●川又明徳（自然研究グループ）

- (テーマ) 愛媛県の植物・地衣類相
- (概要) 愛媛県内各所において植物・地衣類相の調査を行った。県内の植物、地衣類について、愛媛県野生動植物目録未記載種の調査を行った。
- (テーマ) 寒冷地性地衣類に関する分類学的研究
- (概要) 南極昭和基地周辺で採集した地衣類について、標本調査を行った。

●鈴木裕司（自然研究グループ）

- (テーマ) 愛媛県内の天文に関する資料の調査
- (概要) 天文現象の映像記録を行った。
- (テーマ) 愛媛県内の夜空の明るさの調査
- (概要) 愛媛県内の13市町にて夜空の明るさの測定を行った。

●藤本光章（科学・産業研究グループ）

- (テーマ) サイエンスショーにおける実験装置の製作
- (概要) 実験装置の製作として、発電バイオリン改良版、子供用自転車発電、金属パイプ沸騰実験

装置、金属板温まり方比較実験装置、まい切り式火起こし器（排煙装置付き）を製作し、サイエンスショーで公開した。

●進悦子（科学・産業研究グループ）

（テーマ） 科学教材の開発と製作

（概要） 科学教材を開発し、その教材をサイエンスショーと博物館講座、令和6年度特別展にて公開した。また、その内容を動画にして公式SNSやYoutubeで配信した。また、サイエンスショー実施報告「音であそぼ！おもしろサウンド工房」を、「愛媛県総合科学博物館研究報告第29号」にて報告した。

●三木綾乃（科学・産業研究グループ）

（テーマ） 食と健康にまつわる宇宙開発技術の調査

（概要） 食や健康に関連する宇宙開発技術を研究している全国の様々な研究機関、大学、企業等と連携し、企画展「宇宙で食べる・宇宙で生きる」を実施した。

（テーマ） 化学分野、生命分野の展示内容検討

（概要） 当館初となる分子生物学的な実験手法を体験する科学実験教室を開催し、生命分野の展示や解説の在り方について検討を行った。令和7年度にゲノムをテーマにした企画展を開催するための準備を行った。

●吉村久美子（科学・産業研究グループ）

（テーマ） 別子銅山産業遺産の残存状況～東平～に関する研究

（概要） 東平に関する資料の整理を行った。

●安永由浩（科学・産業研究グループ）

（テーマ） 愛媛の水産業や海上交通に関する研究

（概要） 水産業や水産業に関する古文書調査、海上交通に関する調査、撮影を行った。企画展「来島海峡と潮流信号所」で製作した展示物について「愛媛県総合科学博物館研究報告第29号」にて報告した。

(2) 研究成果の公表

研究報告の発行、館外での発表等により研究成果を公表した。

ア 研究報告の発行

令和6年8月、「愛媛県総合科学博物館研究報告 第29号」（A4判、79頁）を500部発行し、全国の博物館及び県内の高校・大学・図書館等へ配布した。報告に掲載した論文タイトルは次のとおり。（※印は、博物館外の研究者。）

原著論文

・井川紘子※、藤原陽一郎※、小林真吾、小林千余子※：愛媛県で確認されたマミズクラゲの出現記録（共著）

短報

・川又明德：イトゲジゲジゴケモドキ *Heterodermia leucomelaena* (L.) Poelt の再発見について

事業報告

・鈴木裕司：企画展「プラネタリウムと愛媛」実施報告

・進悦子：サイエンスショー「音であそぼ！おもしろサウンド工房」実施報告

・三木綾乃：サイエンスショー「酸・アルカリのカラフル色変化」実施報告

技術報告

・藤本光章：サイエンスショー「てこと滑車でパワーアップ！！」におけるてこと滑車の実験構成と実験装置の製作

・安永由浩：来島海峡航路の航法解説模型製作について

イ 館外での発表等

外部掲載

- ・小林真吾：「来島海峡の海藻と八木繁一」月刊地図中心 2025年2月号掲載

学会

- ・小林真吾：愛媛県で確認されたマミズクラゲの出現記録
第27回自然系調査研究機関連絡会議（NORNAC 27） 2024年11月19日～20日
- ・川又明徳：Detectin of novel bacteria from the lake in the coastal ice-free area of Lützow-holm bay East Antarctica 第15回極域科学シンポジウム 2024年12月3日～5日
- ・山根勝枝：「愛媛県今治沖海底で発見されたオオカミ頭骨化石」
日本古生物学会2024年年会 2024年6月22日
- ・鈴木裕司：「愛媛県内のプラネタリウム調査」
全国プラネタリウム大会2024・横浜 2024年6月4日
- ・進 悦子：「夏の特別展での展示方法とトラブル対応」
第15回全国理工系学芸員展示研究大会 2025年1月30日

3 展示活動

(1) 常設展示

ア 自然館

自然館は、宇宙・地球・愛媛の3つのゾーンに分かれており、マクロからミクロへズームアップしていく構成をとっている。展示にはジオラマをはじめ大型の模型や映像を使い、自然の素晴らしさを再認識できる場を提供している。

㍑ 宇宙のゾーン

想像の世界の宇宙から、それを解き明かしていく過程をたどり、天文学の進歩に貢献した先人達の偉業や、最新の宇宙論を紹介している。「宇宙の始まり」のコーナーでは、宇宙の起源と進化を概説する映像とともに、天文の父たちとしてプトレマイオス、ガリレオ、ニュートンの像を展示している。「宇宙への夢と挑戦」のコーナーでは、巨大な亀や象の背中に世界があるとする古代インド人の宇宙観の模型、仏教の宇宙観を示した須弥山儀の模型、太陽系の惑星の軌道と運動を示したケプラーの惑星運動解説模型、ハーシェルの大反射望遠鏡の縮小模型、ダジック・アースなどを展示している。令和3年度にGaia衛星のデータを用いた全天星図を、令和6年度にDigitized Sky Surveyのデータを用いた全天写真星図を追加した。

「おもしろデータバンク」のコーナーでは、宇宙からの贈り物という内容で、実物の隕石やテクタイトを展示する他、宇宙クイズ及び太陽系たんけんすごろくソフトの体験や公開天文台ネットワーク（PAONET）から取得した天文に関する画像の検索などができるパソコンを4台設置している。

㍒ 地球のゾーン

生物の誕生から進化というテーマを軸に、地球の移り変わりや現在の地球の自然環境を紹介している。「大地の科学」のエリアでは、鉱物を分類展示した鉱物ギャラリーなどを展示している。「生きものの進化」のエリアでは、アロサウルスとステゴサウルスの全身骨格（複製）やティラノサウルスとトリケラトプスの復元可動模型、ゾウの進化を示すメリテリウムとマンモスの模型、人類の進化を示す4体の模型などを展示している。「生きている地球」のエリアでは砂漠・サバンナ・極圏・熱帯雨林・海洋の自然を紹介したミニジオラマや、ライオンなど世界の動物、トドやタカアシガニなど海の生物の剥製を展示している。

㍓ 愛媛のゾーン

自然に恵まれた豊かな環境のもと、特色ある動植物が分布している愛媛の自然を紹介している。「愛媛の特色ある自然」のエリアでは、絶滅の恐れがある生きものの剥製、ナウマンゾウ全身骨格

(複製) や瀬戸内海産ナウマンゾウ化石を展示するとともに、「愛媛ライブシアター」として石鎚山の大自然を映しだす石鎚山の詩を上映している。「愛媛の野山」のエリアでは、石鎚山系のブナ林を再現したジオラマ、県獣で国の特別天然記念物であるニホンカワウソのジオラマを中心に、県内に分布する動植物を展示している。「愛媛の海」のエリアでは、愛南町鹿島の海の自然を再現したジオラマを中心に、海にすむ生き物を展示している。

(エ) 自然館 展示内容

ゾ ー ン	エ リ ア	コ ー ナ ー
宇宙のゾーン	宇宙のはじまり	宇宙誕生のドラマ
	宇宙への夢と挑戦	古代人の宇宙観
		太陽とともに生きる
		天空の向こうを捉える
		全天星図／全天写真星図
		ダジック・アース
		宇宙を解き明かす試み
		宇宙論の軌跡
	おもしろデータバンク	宇宙からの贈り物
		身近な宇宙
		宇宙情報アドバイス
地球のゾーン	生きものの進化	地球のはじまり
		太古の生きもの
		生きものたちのヒストリーロード
		進化のなりたち
		化石ギャラリー
		キッズディノ
	生きている地球	砂漠の自然
		サバンナの自然
		世界の動物
		極圏の自然
		熱帯雨林の自然
		海の勇者たち
		海洋の自然
	大地の科学	愛媛の鉱物
		さまざまな岩石・鉱物
愛媛のゾーン	愛媛の特色ある自然	絶滅の恐れがある生きもの
		愛媛の化石
		愛媛ライブシアター
		愛媛の大地をつくる岩石
	愛媛の野山	石鎚山系のよく似た樹木
		石鎚山の自然
		愛媛の昆虫
		愛媛の野鳥
		愛媛のは乳類
		ニホンカワウソ
	愛媛の海	愛媛の海の生きもの

イ 科学技術館

科学技術館では、科学法則の体験装置と科学技術の歴史的実物資料を中心に展示することで、来館者が科学法則に親しみながら、科学と技術の成果について学習できる展示を行っている。展示室は「素」「生」「伝」「動」のゾーンと「サブゾーン」で構成され、物質とその起源、生命の不思議さ、光・音・電磁気・力・熱の諸法則について展示している。展示物については、随時更新することで、常に新しい姿を来館者に提示する努力を行っている。

(ア) 素のゾーン

物質の階層を中心に展示しているコーナーで、素粒子、元素、素材などを紹介している。特に、素粒子実験の実物資料（泡箱フィルム、原子核乾板など）を体験型で展示していることが特徴的である。また、その他体験装置も多く展示しているコーナーでもある。

(イ) 生のゾーン

生命の源であるDNA（遺伝子）や生命の誕生についてなどを分かりやすく紹介している。また、その他に東洋医学や血管の年齢など生命の不思議さについて興味を引くような参加型装置を展示している。

(ウ) 伝のゾーン

人から人への情報の伝達。これらの伝える技術の基本的な性質、光・音・電磁気を中心に様々な体験装置を展示している。

(エ) 動のゾーン

力やエネルギーについて主に展示しており、動きや軌跡、バランスを理解できる体験装置を多く展示している。同時に幼児向けの展示コーナーも併設している。

(オ) サブゾーン

展示室の入り口と中央に設置された、ひとつのテーマで構成された展示スペースで、日本の宇宙開発技術を展示する「宇宙をめざして」、錯覚や虚像の楽しさを展示する「ふしぎアベニュー」、そして学芸員などが実験を実演する「実験ショーコーナー」がある。

(カ) 科学技術館 展示内容

ゾ ー ン	展 示 物	内 容
サブゾーン (宇宙をめざして)	宇宙の科学 LE-7A 宇宙服 若田光一宇宙飛行士サイン入り写真パネル ジャイロスコープ あの空の向こうに 宇宙技術に触れよう 宇宙日本食	体験装置 模型 模型 実物資料 体験装置 映像 実物資料 実物資料・レプリカ
素のゾーン	宇宙線を見よう ニュートリノ振動の発見 素粒子を探せ 光電子増倍管 素粒子反応の写真 粒子が生まれた瞬間 立体周期表 新元素の発見 シリコンインゴット 元素の周期性 三並義忠の発明と技術	実物資料 パネル 模型 実物資料 実物資料 実物資料 実物資料 実物資料、パネル 体験装置 パネル 実物資料

ゾ ー ン	展 示 物	内 容
素のゾーン	磁力カッター 磁石くるり 弾性ボールと非弾性ボール 液晶シート 制振銅板 物の質 ツツの中には何がある？ 磁石の力、比べてみよう 人間電池 落ちるの、おそくない？ 磁石開発に携わった日本人科学者10人 長岡半太郎の書 朝永振一郎の絵 周期表作家作品 転がるかたち ゆれるスピード 落ちないボール 逆立ちのかたち パイプで楽器 おもしろサイエンス研究室 ループのコツ かたちでレース 早いコースは？ おなじ時間 ころがりエネルギー 映像で見る科学の世界 サイエンスアーカイブ－物質－	体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 パネル 実物資料 実物資料 実物資料 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 映像 映像
生のゾーン	遺伝子の仕組み 生命の神秘 楢円ホッケー パラボラの壁 全身反応時間チェック 垂直飛びチャレンジ 超指向性スピーカー 顕微鏡分光光度計 全身の骨 細胞拡大模型 染色体拡大模型 私の体のしくみ 息を吸う じれったい手 鏡の迷路 モスキートーン 人体のバーチャルフォトギャラリー どこまで見える？ 血管の年齢 脳の年齢 血圧計 東洋医学 くしゃみのひみつ 神経の伝わり方	模型 模型 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 実物資料 模型 模型 模型 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 パネル 体験装置 体験装置

ゾ ー ン	展 示 物	内 容
サブゾーン (ふしぎアベニュー)	逆遠近錯視	体験装置
	かげろう	体験装置
	さかさ立体	体験装置
	こっちを向いて	体験装置
	でこ？ぼこ？	体験装置
	顔ダンス	体験装置
	錯視のふしぎ	体験装置
	錯覚を体験しよう	体験装置
	無重力ミラー	体験装置
	魔鏡	実物資料
	ゾートロープ	体験装置
	ピンスクリーン	体験装置
	ガラクタの紳士	体験装置
	サイコロ万華鏡	体験装置
	中は広い？	体験装置
	錯視	体験装置
	ゆれる窓枠	体験装置
	エイムズの窓	体験装置
	エイムズの部屋	体験装置
	無限音階	体験装置
	テーパードミラー万華鏡	体験装置
	座れる絵	体験装置
	へんな立体	体験装置
	光の魔法テーブル	体験装置
伝のゾーン	光のトンネル	体験装置
	LED信号機を点灯させよう	体験装置
	スーパーコンピュータ「京」	実物資料
	放電球	体験装置
	蛍光パウダー	体験装置
	ふしぎ写真館	体験装置
	人間万華鏡	体験装置
	とがり万華鏡	体験装置
	でこぼこミラー	体験装置
	ゴムゴムミラー ふくらみ	体験装置
	ゴムゴムミラー へこみ	体験装置
	ステンドグラス人間万華鏡	体験装置
	おもしろサイエンス研究室	体験装置
	歩いてくる恐竜	体験装置
	光の三原色	体験装置
	色と光	体験装置
	透明だったのに	体験装置
	光の成分	体験装置
	光ファイバー / ファイバーアニメ	体験装置
	音の波形と変化	体験装置
	弦のないハープ	体験装置
	気柱の共鳴	体験装置
	静電気	体験装置
	磁界	体験装置
	ビリビリマシーン	体験装置
	磁界を見よう	体験装置
	磁石とコイル	体験装置
	電気をつくろう	体験装置
	電磁波で遊ぶ	体験装置

ゾ ー ン	展 示 物	内 容
伝のゾーン	マグネカタパルト こんなところにブラックホール 顔の花 きまぐれミラー にげられない コンピュータ LEDと残像	体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 映像 体験装置
サブゾーン	実験ショーコーナー サイエンス工房 かはくサイエンススタジオ 公衆電話機	サイエンスショー 科学体験イベント 映像 実物資料
動のゾーン	反射の法則 竜巻発生装置 空気で遊ぶ ブロック じしゃくあそび かたちあそび 原子力発電の仕組み エネルギー変換五種競技 バラボラ コロコロレール だんだん段ボール 輪軸 てこ 滑車 ソリとコロ リニアモーターカー ストロボの部屋 光でお絵かき	体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 映像 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 体験装置 映像 体験装置 体験装置

ウ 産業館

産業館は、主に基幹産業と伝統産業の展示に分かれており、それぞれ実物、模型、グラフィック、映像、産業史年表などによる展示を行っている。令和6年度は、海上交通に関する展示物を4点追加した。

(ア) 伝統産業ゾーン

愛媛県指定の伝統的特産品のうち「手すき和紙」「水引・水引製品」「桜井漆器」「菊間瓦」「伊予かすり」「竹工芸品」「砥部焼」「かまぼこ」の8業種を取り上げて展示している。伝統産業の製造工程を紹介する映像コーナーも設けている。

(イ) 基幹産業ゾーン

「農林水産」「製紙」「造船」「鉱業」「交通運輸」「繊維」「石油・化学・電力」「機械・金属」の8コーナーに分けて展示している。愛媛の基幹産業のあゆみがわかる産業史年表、模型と映像を組み合わせたファンタビュー映像、実物などにより多角的な展示をしている。

「農林水産」コーナーでは、初摺機などの農機具、真珠養殖、漁法についての模型、戦車こぎ網などの漁具、船舶用ディーゼルエンジン、枝打ちロボット、仙波式手回し選果機、みかん選果機などを展示している。「製紙」のコーナーでは、紙以前の書紙材料であるパピルス及びパーチメント、紙の伝搬経路図、和紙原料叩解機、回転式三角乾燥機、ツインワイヤー抄紙機の模型などを展示し、製紙技術及び歴史について解説している。「造船」のコーナーでは、自動車専用運搬船、オイルタンカー、冷凍船などの模型、プロペラ翼の傾きが変わる様子がわかる実物大の可変ピッチプロペラ、

造船技術の進歩がわかるファンタビュー映像を展示し、造船の歴史及び技術について紹介している。「鉱業」のコーナーでは、別子銅山及び市之川鉱山について、別子1号機関車の模型、ダイナマイトの発破状況再現、輝安鉱などを展示紹介している。「交通運輸」のコーナーでは、愛媛県交通運輸について紹介し、坊っちゃん列車、人力車、水中翼船、YS-11の模型の展示のほか、列車展望映像の上映もしている。「繊維」コーナーでは、ジャカード機とタオル自動織機、アキュムレーター、タオル製品、化学繊維などを展示している。「石油・化学・電力」のコーナーでは、電力供給の移り変わりの解説、菊間地下石油備蓄基地の模型を展示している。「機械・金属」のコーナーでは、直立枝型ボール盤、ベルト掛け旋盤、ペローズ成型機などとともに、県内企業の先端技術が生かされたF3000レーシングカーを紹介している。

(ウ) 産業館展示内容

ゾーン	テーマ	項目
オリエンテーションホール	産業の概要	愛媛産業マップ
伝統産業ゾーン	伝統産業	伝統産業
基幹産業ゾーン	農林水産	稲作 真珠養殖 漁業・漁法 林業 みかん栽培
	製紙	紙のまち 和紙 洋紙
	造船	造船
	鉱業	別子銅山 別子鉱山鉄道 市之川鉱山
	交通運輸	鉄道輸送 自動車輸送 海上輸送 航空輸送
基幹産業ゾーン	繊維	製糸 綿紡績 タオル 化学繊維
	石油・化学・電力	電力 石油 化学
	機械・金属	機械・金属

エ 屋外展示

転炉、水車と発電機などの大型展示物を配し、展示機能と自由なくつろぎの場としての機能を兼ね備えている。

ゾ ー ン	テ ー マ	項 目
屋外	鉱業	グレイト・フォールズ型転炉 カラミ電車
	電力	水車と発電機 タービンローター タービンケーシング
	機械・金属	アンモニア圧縮機
	太陽光発電	太陽光発電装置

オ 令和6年度常設展示更新箇所

	展 示 物	展 示 場 所	区分
自然館	全天写真星図	自然館・宇宙のゾーン	新規
産業館	来島海峡航路の航法解説模型	産業館・基幹産業ゾーン・造船コーナー	新規
	中渡島ジオラマ	産業館・基幹産業ゾーン・造船コーナー	新規
	中渡島潮流信号所ジオラマ	産業館・基幹産業ゾーン・造船コーナー	新規
	来島海峡潮流映像	産業館・基幹産業ゾーン・造船コーナー	新規

カ 実験ショー

開始時間 土日祝日、GWお盆（13：00～、15：00～）、長期休暇中の水曜日（13：00～）

タイトル・時期	開催回数	内 容
めざせ！！発電王～コイルと磁石で発電実験～ 令和6年4月13日～7月7日	土日祝2回 (実験回数32回) (総観客数1,929人)	普段使っている電気がどのような仕組みでつくりられているのか、電気をつくる発電の仕組みを実験で紹介し、さまざまな発電実験装置で発電を体験してもらった。
地震だ！その時のために何をする！？ 令和6年7月13日～10月6日	土日祝2回 (実験回数72回) (総観客数3,072人)	地震が起こるメカニズム、耐震化をしている建物としていない建物の揺れによる影響の違い、防災グッズの仕組みといった様々な実験を通じて、地震に対して日ごろからどのような備えをしておくべきか考える機会を提供した。
スライムのひみつ 令和6年10月12日 ～令和7年1月13日	土日祝2回 (実験回数30回) (総観客数1,094人)	PVAのりと四ホウ酸ナトリウムでスライムを作り、PVAが高分子ポリマーであること、ポリマーとホウ酸イオンの架橋構造で水を取り込み、プルプルとした独特な感触になることを紹介した。
こすって熱く！！～摩擦熱で水を沸騰させよう～ 令和7年1月18日～4月13日	土日祝2回 学校休日の水曜1回 (実験回数68回) (総観客数2,145人)	ものとものをこすり合わせると熱くなる摩擦熱。木や金属、ゴムやヒモなど、どの組み合わせで熱を発生させることができるのか紹介した。ものとものをこすり合わせることで発生する摩擦熱について実験や体験で解説した。

実施回数合計 202回 観覧者合計 8,204人

(2) 特別展示

ア 特別展「ドキドキ探検ミュージアム スリラー博士の恐怖の実験室」

期 間	令和6年7月13日(土)～9月23日(月振休)
会 場	企画展示室
観 覧 者 数	40,144人
観 覧 料	大人(高校生以上) 900円・65歳以上800円・小中学生600円
担 当	進 悦子
趣 旨	風変わりな科学者スリラー博士とモンスターたちが住むお城を探検しよう！お城の中には「影の実験室」や「虹の実験室」など様々な実験室があり、中に入ると光や音、錯視を用いた少し怖くて不思議な科学体験が待っている。放電球やフリッカーランプの炎の演出、白衣を着た博士や助手が出迎え、入場者は非日常世界を味わうことができる。 平面から飛び出してくるように見えるプロジェクションマッピング、画像解析技術で影を変化させて投影するスクリーン、周囲が回転することで自分も回転しているように感じさせる恐怖のワームトンネル、本当にそこにあるように見えるホログラムなど、サイエンスとアートを融合した不思議で美しい現象を楽しむことができる展示空間を創り上げた。
内 容	(1)遊ぼう！影の実験室 スクリーンの前に立って動くと、自分の影に色がついて動き出し様々に変化する。画像解析技術で、撮影した人の影を記録・変化させスクリーンに映し出す。 (2)びっくり！飛び出す！実験室 部屋全体から立体が飛び出したり、自分が宇宙空間に飛び出したりして見える。3台のプロジェクターとスクリーンを使った3Dプロジェクションマッピング技術を利用した実験室。 (3)おばけが住む中庭 中庭にある小さな池の水面に手をかざすと、波紋が表れて映像が変化し水の上に浮かんだおばけやコウモリたちが波紋の動きに合わせて一斉に動き出す。 (4)虹を作る実験室 RGBのライトが高速で点滅する部屋の中で、白い棒やひもを振ったり回したりして動かすと、虹色の軌跡が見える部屋。 (5)ドキドキ音の実験室 サラウンド効果を利用し、音が移動して聞こえることによって、自分の周囲を車が走ったり人が追いかけてきたりするような感覚を体験する。 (6)恐怖のワームトンネル 周囲が回転するトンネルを通ると自分自身も回っているように感じられ、まっすぐ歩くことができなくなる。視覚誘導性自己運動感覚によっておこる現象を体感する。 (7)スリラー博士のなんだこれ？コレクションルーム 光を当てると本当に中にあるように見える立体写真ホログラム、簡単に開けることができないからくり箱、謎の絵を円筒型ミラーに映すと絵が見えるアナモルフォーシスなど、スリラー博士の不思議なコレクションを体験できる。
関 連 事 業	(1)クイズラリー「博士の金貨さがし」(7/13～31, 9/14～16, 9/21～23) クロスワードを埋めて金貨を見つけ出しお宝をゲットする。 (2)クイズミステリーツアー (7/27, 8/18, 9/7, 9/21) 学芸員の解説を聞きながらクイズを解いて回るスペシャルツアー。 (3)光のワークショップ「光の箱を作って展示しよう」(7/14) 光にかざすと美しく輝く箱を製作し博物館で展示する。 (4)スペシャルサイエンスショー「超…科学マジックショー」(8/13) スリラー博士の友人、実験名人北野貴久氏による爆笑サイエンスショー。 (5)スリラー博士の恐怖のサイエンスショー (8/14, 15) スリラー博士によるちょっと危険なドキドキサイエンスショー。 (6)アナモルフォーシスを作ろう(9/16) 自分の写真をゆがませ、円筒型の鏡に映すと元の絵が見えるふしぎな工作。 (7)関連イベント おばけハウス、いろどりサンキャッチャー、魔法レンズ、魔法のスライム、くるくるレインボー、ぴかぴかゴーストタウン

イ 特別展「シン・忍者展」

期 間	令和6年4月20日(土)～6月23日(日)
会 場	企画展示室
観 覧 者 数	15,295人
観 覧 料	大人(高校生以上) 900円・65歳以上800円・小中学生600円
担 当	指定管理者(伊予鉄総合企画(株))
内 容	いまだに謎が多い存在である「忍者」や「忍術」について、最新の研究で明らかにする特別展。現代の科学的アプローチや、STEAM教育「科学」「技術」「工学」「芸術・教養」「数学」をヒントに、多角的な視点で忍術を紹介。他にも、愛媛県に伝わる忍者の記録や、忍者が使用したとされる道具、忍者の謎を解明する手がかりになった忍術書を展示。また、手裏剣体験や忍び足体験など忍者の修行にも挑戦できる。
関 連 事 業	(1)講演会「忍者の科学」(4/29) (2)ワークショップ ・集中力を高めよ！ボイで君はすくえるかな？ ・これで君も忍者だ！ ・忍びの変装術！お面で化けよう ・手裏剣ゴマ ・和風ストラップ ・素焼きの鈴に色を塗ろう (3)関連イベント「伊賀忍者特殊軍団 阿修羅 忍者ショー」(6/23)

ウ 特別展「未来をつくる: 科学とデザインの実験室」

期 間	令和6年10月12日(土)～12月1日(日)
会 場	企画展示室
観 覧 者 数	4,218人
観 覧 料	大人(高校生以上) 1,000円・65歳以上800円・小中学生600円
担 当	久松 洋二、吉村 久美子、鈴木 裕司
内 容	愛媛県総合科学博物館の名誉館長である山中俊治が、一人のデザイナーとして、展覧会「未来をつくる」を企画した。 展覧会には、デザイナーとさまざまな研究者が一緒につくった、未来の技術を体験するための素材やマシンとそれらのオリジナルスケッチが並んだ。 参加作家: 荒牧 悠+館 知宏、A-POC ABLE ISSEI MIYAKE+Nature Architects、千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター(fuRo)+山中俊治、nomena+郡司芽久、山中研究室+今仙技術研究所・稲見自在化身体プロジェクト・臼井二美尾・宇宙航空研究開発機構(JAXA)・岡部 徹・河島則天・斉藤一哉・SPLINE DESIGN HUB・鉄道弘済会義肢装具サポートセンター・新野俊樹・Manfred Hild・吉川雅博 企画: 野村 緑(fuRo)、村松 充、坂本 真 グラフィックデザイン: 岡本 健(岡本健デザイン事務所) 会場構成: 萬代基介(萬代基介建築設計事務所) テキスト/企画協力: 角尾 舞 テクニカルディレクション: 古田貴之(fuRo)、杉原 寛。
関 連 事 業	講演会「未来のつくり方」(11/3) 特別展の展覧会ディレクターをつとめた博物館名誉館長 山中俊治による講演会を行った。

(3) 企画展示等

ア パネル巡回展「星の衝突で何ができた?」・「62の月が織りなす多彩な世界」

期 間	令和6年9月14日(土)～11月17日(日)
会 場	展示棟3階ロビー
観 覧 者 数	22,341人
観 覧 料	常設展示観覧券が必要
担 当	指定管理者(伊予鉄総合企画(株))
内 容	「星の衝突で何ができた?」では、日本で昔から親しまれてきた月のうさぎ模様を切り口に、かつて太陽系で頻発していた天体衝突という偶然の出来事が、月のうさぎだけでなく地球の誕生にまで関わり、今の地球環境を決定づけていたことを紹介。 「62の月が織りなす多彩な世界」では、1997年に打ち上げられた土星探査機「カッシーニ」がとらえた土星の「月」の多彩な世界について展示。また、どのようにして今のリングと数々の月が形成されたのか、最新学説を紹介した。 9月～11月という、中秋の名月や土星の観望が行いやすい時期に「月」と「土星」をテーマにしたパネル展示を行ったことで、来館者の天文分野への興味関心を高めた。

イ ロビー展「森に親しむ博物館」開催事業

期 間	令和6年9月21日(土)～11月10日(日)
会 場	展示棟一階 多目的ホール前ロビー
観 覧 者 数	17,942人
観 覧 料	無料
担 当	川又 明德
内 容	総合科学博物館を会場に、県産材を使用した展示ケース・パネルを備え、森林をテーマにした展示、ミュージアムツアー(展示解説)及び親子で森林に親しむ工作教室を開催した。これらの事業を通じて、森林を保全することによって維持される生物多様性や人と森林の共生の大切さについて、子供を中心とする幅広い世代の県民の森への理解を深め、森林と共生していく文化の創造や環境教育に貢献するものとした。(森林環境税充当事業)
関 連 イ ベ ント	・ミュージアムツアー 当館学芸員による展示の解説を行った。(9月22日 参加者141人) ・工作イベント 科博において木の葉やドングリ等を材料にした工作イベントを開催した。 (5月4日「葉っぱで遊ぼう!」参加者82人、11月3日「タネで遊ぼう!」参加者132人、合計214人)

ウ 企画展「石のワンダー」

期 間	令和6年12月14日(土)～令和7年2月2日(日)
会 場	企画展示室
観 覧 者 数	12,633人
観 覧 料	常設展観覧券が必要
担 当	山根 勝枝
内 容	私たちが暮らす地球を構成する石について、色や形に特徴のある鉱物を中心に展示し、石のおもしろさを紹介した。 展示構成 ①石のキホン ②大地をつくる石 ③石の色と形 ④生きものの由来の石 ⑤活躍する石 ⑥石のコレクション 石のコレクションでは、旧四国通商産業局から寄贈され国内各地の鉱石コレクションを展示した。 令和7年2月22日(土)から4月6日(日)まで、同様の展示構成で規模を縮小した「小石のワンダー」を開催した。その中で、関連イベント「石で一句詠んでみる」の優秀句と詠まれた岩石や鉱物を紹介した。

関 連 事 業	(1)関連イベント「石で一句詠んでみる」 (2)関連イベント「石をさわる、みる、かざる」講師：愛媛県美術館 (3)ワークショップ ・ジオード割体験 ・ピカピカ！みがいてみよう蛍石 ・石けんでつくろう！鉱物結晶
---------	---

エ 企画展「宇宙で食べる・宇宙で生きる」

期 間	令和6年2月22日（土）～4月6日（日）
会 場	企画展示室
観 覧 者 数	11,796人
観 覧 料	常設展観覧券が必要
担 当	三木 綾乃
内 容	アルテミス計画の始動等を受け、近年有人宇宙探査に注目が集まっている。地上とは環境が大きく異なる宇宙空間で人類が快適に生活することを可能にするために様々な研究がされており、高度な科学技術が活用されている。本企画展は、実物の宇宙食（NASAの宇宙食、ロシアの宇宙食、宇宙日本食）の展示、アジア人初の女性宇宙飛行士である向井千秋宇宙飛行士へのインタビュー、現在進行中の有人宇宙開発技術研究に使用されている実験機器のプロトタイプの展示等を通じて、食・健康・暮らしといった身近な切り口から宇宙開発技術を紹介するものとした。
関 連 事 業	(1)講演会「JAXA宇宙飛行士 金井宣茂氏講演会」 日時：令和7年4月3日（木） 内容：JAXA宇宙飛行士である金井宣茂氏に、企画展のテーマである宇宙での食・健康・暮らしについて実際に体験したエピソードを交えながらお話しいただいた。 (2)関連イベント ギャラリートーク 日時：令和7年3月16日（日）、22日（土）、29日（土）、4月6日（月） 内容：担当学芸員による展示の解説を行った。 (3)ワークショップ ・宇宙ボール

オ 開館30周年記念誌の制作

総合科学博物館の開館30周年を記念して、『愛媛県総合科学博物館開館30周年記念誌』を制作した。

〔体裁〕 A4版、88ページ、オールカラー、700部

〔内容〕

ごあいさつ

第1章 30年の歩み

第2章 展示フロア紹介

基本理念／常設展示（自然館・科学技術館・産業館・屋外展示）／プラネタリウム

第3章 特別展示・企画展示

第4章 資料収集

自然部門／科学技術部門／産業部門／愛媛県立博物館

第5章 学芸員の調査研究

第6章 教育普及活動

博物館講座／各種イベント

第7章 アウトリーチ活動

第8章 学校等の連携・博物館実習

学校連携 教員のための博物館の日・中高生のための科学研究プレゼンテーション大会
／博物館実習

第9章 友の会・ボランティア活動

4 教育普及事業等

(1) 博物館講座の開催

自然、科学技術、愛媛県の産業等について理解を深める場として、次の博物館講座を開催した。
※全て「学び舎えひめ」の対象講座となります。

ア 自然観察会

実施状況 対象／小学生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要）
定員／①②④⑥⑦⑩30名、③25名、⑤⑧20名、⑨35名

開 講 日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数 (人)
令和6年 5月11日(土)	①海辺の生き物ウォッチング1	15:00～17:30	鴨池海岸公園 (今治市大西町)	30	45
5月12日(日)	②水生昆虫の観察	10:00～12:00	重信川(東温市)	37	26
5月25日(土)	③初夏のツガザクラ群落トレッキング	10:00～16:00	銅山峰 (新居浜市別子山)	20	16
6月8日(土)	④海辺の生き物ウォッチング2	14:30～17:00	鴨池海岸公園 (今治市大西町)	157	31
7月13日(土)	⑤夜の海辺の生き物ウォッチング	18:30～21:00	鴨池海岸公園 (今治市大西町)	135	中止
9月21日(土)	⑥秋のブナ林トレッキング	10:00～15:30	皿ヶ嶺(東温市)	37	17
10月20日(日)	⑦アサギマダラの旅の不思議	10:00～12:00	第1研修室、博物館周辺	19	中止
10月27日(日)	⑧活断層を歩く - 重信断層 -	10:00～12:00	南梅本、北野田(松山市)	64	18
11月10日(日)	⑨関川の岩石・鉱物	10:30～12:30	関川河原(四国中央市)	186	35
令和7年 4月26日(土)	⑩春の野辺歩き	13:30～15:30	博物館周辺	19	8
合 計	10講座10回開催			704	196

イ 親子自然教室

実施状況 対象／①②小学生とその保護者
③④小学生(4年生以上)とその保護者
※全て小学生1名に対し保護者1名の参加が必要
定員／①②各6組12名、③④12組24名

開 講 日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数 (人)
令和6年 7月27日(土)	①昆虫の標本をつくろう	10:00～12:00	博物館周辺 科学実験室	-	-
7月28日(日)		【A】10:00～12:00		104	12
8月3日(土)		【B】13:30～15:30		40	12
8月18日(日)	②葉っぱ図鑑をつくろう	【A】10:00～12:00	第1研修室 博物館敷地内	60	13
		【B】13:30～15:30		46	17
9月14日(土)	③レプリカをつくろう! アンモナイト&三葉虫	13:30～15:30	科学実験室	30	16
12月15日(日)	④岩石標本をつくろう	13:30～15:30	科学実験室	54	22
合 計	4講座6回開催			334	92

ウ 天体観望会

実施状況 対象／小学生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要）
定員／①④⑥各15名、②③⑤制限なし

開 講 日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数 (人)
令和6年 5月11日(土)	①月と春の星	19:30～21:00	プラネタリウム 屋上天文台	25	22
8月24日(土)	②夏の星	19:30～21:00	立体駐車場	当日受付	42
10月26日(土)	③土星と秋の星	19:00～20:00	立体駐車場	当日受付	中止
12月7日(土)	④木星・土星	18:00～19:30	プラネタリウム 屋上天文台	84	24
令和7年 1月18日(土)	⑤太陽と金星	12:00～13:00	屋外展示場	当日受付	61
2月8日(土)	⑥木星と冬の星	19:00～20:30	プラネタリウム 屋上天文台	51	19
合 計	6 講座 6 回開催			160	168

エ 科学実験教室

実施状況 対象／①小学生～中学生（小学1～3年生は保護者同伴、未就学児の同伴可）
②小学4年生～高校生と保護者（小中学生は保護者同伴）
③⑤小学4年生～中学生
④小学4年生～中学生とその保護者（子ども1人に対し保護者1人必須）
定員／①25名、②50名、③20名、④6組12名、⑤12名

開 講 日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数 (人)
令和6年 5月18日(土)	①おもしろシャボン玉を体験しよう	10:00～12:00	屋外展示場	25	17
8月17日(土)	②身の回りの放射線測定体験教室	9:30～15:00	第1研修室、 常設展示室	50	47
8月31日(土)	③泡あわぶくぶく！せっけんの科学	13:30～15:30	科学実験室	10	5
11月17日(日)	④親子で実験！錬金術に挑戦しよう	13:30～16:00	科学実験室	38	12
令和7年 3月20日(木祝)	⑤ぴかぴか光る実験☆化学の力で光 を生み出そう	13:30～15:30	科学実験室	16	6
合 計	5 講座 5 回開催			139	87

オ 科学工作教室

実施状況 対象／①小学生～中学生
②④⑤小学4年生～中学生
③小学3年生～中学生
定員／各24名

開 講 日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数 (人)
令和6年 8月24日(土)	①磁石で作ろう！ピチピチフィッシュ	13:30～14:30	科学実験室	32	17
9月15日(日)	②簡単なラジオを作って電波を受信しよう！	13:30～16:30	科学実験室	21	11
10月12日(土)	③ゴム動力で動く！プルバック式レーシングカー	13:30～16:30	科学実験室	18	9
11月23日(土祝)	④ストロボ装置でアニメーションを作ろう	13:30～16:30	科学実験室	22	10
12月14日(土)	⑤光る！クリスマスキャンディーボックス	13:30～15:30	科学実験室	9	15
合 計	5 講座 5 回開催			102	62

カ 大人のための科学講座

実施状況 対象／高校生以上
定員／①12名、②④20名、③15名

開 講 日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数 (人)
令和6年 6月1日(土)	①あなたはお酒に強い？DNAから調べよう	12:30～16:00	科学実験室	24	12
10月27日(日)	②万華鏡ワークショップ「星のオイル式万華鏡を作ろう」	13:30～15:30	科学実験室	11	5
11月9日(土)	③植物の見分けポイント！秋	14:00～16:00	松山総合公園(松山市)	10	5
11月10日(日)	④オリジナル化粧水&乳液とミツロウハンドクリームを作ろう	13:30～15:30	科学実験室	10	7
合 計	4 講座 4 回開催			55	29

キ 産業講座

実施状況 対象／①④小学生以上（小学1、2年生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要）
②③小学生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要）
⑤小学4年生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要）
定員／①各12名、②30名、③⑤各20名、④24名

開 講 日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数 (人)
令和6年 6月29日(土)	①手すき和紙とギルディン グカードづくり	【A】10:00～11:30	科学実験室	6	4
		【B】14:00～15:30		4	2
6月30日(日)		【A】10:00～11:30		25	8
		【B】14:00～15:30		8	8
8月25日(日)	②多喜浜塩田を学ぼう～復元された塩田施設見学と塩づくり体験～	13:30～16:00	多喜浜公民館(新居浜市)	62	26
10月19日(土)	③宇和島九島でマダイ養殖について学ぼう	12:30～16:00	九島、九島沖(宇和島市)	47	17
11月30日(土)	④簡単な水引細工や水引でメッセージカードを作ろう	13:00～16:00	科学実験室	19	10
令和7年 3月26日(水)	⑤鋳物工場見学会	13:30～15:00	株式会社栗田鋳造所(西条市)	23	14
合 計	5 講座 8 回開催			194	89

ク 天文教室

実施状況 対象／小学生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要）
定員／各20名

開 講 日	内 容	時 間	場 所	応募 (人)	受講者数 (人)
令和6年 7月20日(土)	①プラネタリウムを作ろう	13:00～15:30	第1研修室	71	19
令和7年 1月11日(土)	②天体望遠鏡を作ろう	16:00～18:00	オリエンテーションルーム、博物館屋上	45	16
合 計	2 講座 2 回開催			116	35

(2) 博物館資料の特別利用及び館外貸出

外部からの博物館資料の特別利用及び館外貸出の要望に対し、自然史、科学技術及び産業史に関する教育、学術上の調査研究又は啓発のために特に必要と認められる場合、特別利用や館外貸出を許可して

いる。令和6年度は、特別利用5件・館外貸出5件に対応した。

特別利用 計5件 47点

	資料名	数	利用の方法・目的	申請者	許可日
1	カワウソ剥製・毛皮	39	体毛を採取・分析し論文に掲載	高知大学 農林海洋科学部	令和6年 4月9日
2	画像(ツブミゴケ)	1	立教大学講義教材コンテンツに掲載	(株)テイクオーバー ル	令和6年 12月12日
3	鉱物標本(輝安鉱)	2	撮影し公民館だよりに掲載	市ノ川公民館	令和7年 1月22日
4	ニホンカワウソ剥製ほか	1	動画撮影しテレビで放映	(株)あいテレビ	令和7年 3月5日
5	漁法イラスト画像(小型機船 底びき網漁業ほか)	4	「おさかな王国えひめ」に 展示	愛媛エフ・エー・ ゼット(株)	令和7年 3月13日

館外貸出 計5件 97点

	資料名	点数	貸出し期間及び目的	申請者	許可日
1	ハナゴンドウ全身骨 格ほか	32	令和6年6月13日～8月4日 教員研修で活用	愛媛県総合教育 センター	令和6年 6月12日
2	昆虫標本(世界のカ ブトムシ)	37	令和6年6月21日～12月13日 特別展「真・カブトムシ」に展示	面河山岳博物館	令和6年 6月21日
3	エヒメアヤメレプリ カほか	18	令和6年7月23日～10月8日 企画展「牧野富太郎のまなざし」に展示	四国西予ジオミ ュージウム	令和6年 7月23日
4	風洞実験装置	1	令和6年9月20日～10月1日 「松山空港 空の日フェスタ2024」に展示	国土交通省 四国地方整備局 松山港湾・空港 整備事務所	令和6年 8月7日
5	マッコウクジラ下あ ごの骨ほか	9	令和6年10月16日～12月29日 企画展「海との約束」に展示	佐田岬半島ミ ュージウム	令和6年 10月10日

(3) 実験器具と標本セット貸出 計21件

学習支援活動の一環として、学校や児童館などに実験器具や実物標本の貸し出しを行った。貸出先の数の内訳は、小学校11件、中学校1件、高等学校2件、大学1件、公民館・児童館3件、その他3件である。

	資 料 名	貸出期間	利用目的	貸出先団体名
1	シャボン玉実験セット	令和6年5月31日～6月13日	児童館行事	西条市西条児童館
2	シャボン玉実験セット	令和6年6月29日～7月14日	科学クラブ活動	四国中央市立 金生第一小学校
3	シャボン玉実験セット	令和6年7月15日～7月24日	体験活動	松山市立道後小学校
4	空気砲実験セット	令和6年7月23日～7月27日	児童クラブ行事	西条市立禎瑞児童クラ ブ
5	シャボン玉実験セット	令和6年8月12日～8月19日	科学実験の体験	放課後等デイサービス ハイタッチ
6	空気砲実験セット、 シャボン玉実験セット	令和6年8月24日～9月4日	放課後児童クラブ 行事	新居浜市立高津小学校 たねっこクラブ
7	化石標本A、 化石レプリカ製作セット	令和6年10月6日～10月14日	文化祭での展示	学校法人盈進学園 盈進高等学校
8	空気砲実験セット	令和6年10月12日～10月20日	科学クラブの活動	四国中央市立 金生第一小学校

	資 料 名	貸出期間	利用目的	貸出先団体名
9	化石レプリカ製作セット	令和6年10月17日～10月31日	科学クラブ活動	江戸川区立 平井西小学校
10	化石レプリカ製作セット	令和6年10月20日～11月2日	青少年のための科学 の祭典	愛媛県立 松山中央高等学校
11	化石レプリカ製作セット	令和6年11月2日～11月10日	理科の授業、 科学クラブ活動	四国中央市立 金生第一小学校
12	化石レプリカ製作セット	令和6年11月10日～11月17日	体験活動	四国中央市立 三島小学校
13	化石標本A、化石レプリ カ製作セット	令和6年11月13日～11月27日	体験活動	放課後等デイサービス ひかり新居浜ルーム
14	空気砲実験セット	令和6年11月14日～11月22日	科学クラブ活動	松山市立小野小学校
15	化石レプリカ製作セット	令和6年11月30日～12月14日	高校での職員研修	兵庫教育大学
16	空気砲実験セット	令和6年11月30日～12月15日	PTA主催イベント	四国中央市立 豊岡小学校
17	静電気実験セット	令和6年12月24日～ 令和7年1月7日	放課後児童クラブイ ベント	新居浜市立高津小学校 たねっこクラブ
18	静電気実験セット	令和7年1月15日～1月21日	科学教室	東予科学遊びを楽しむ 会
19	静電気実験セット	令和7年1月22日～1月28日	理科の授業	愛媛県立 今治東中等教育学校
20	空気砲実験セット	令和7年2月1日～2月2日	地区文化祭の科学イ ベント	西条市田野公民館
21	静電気実験セット	令和7年3月9日～3月21日	科学クラブでの演示	今治市立吹揚小学校
22	シャボン玉実験セット	令和7年3月25日～4月6日	児童クラブの活動	新居浜市立高津小学校 たねっこクラブ

(4) 学校教育との連携

当館では、学校教育との連携という考えから、学校団体をスムーズに受け入れ、また博物館教育の効果を上げるため、下記の事柄を実施している。

ア 学校団体の受付及び管理

(ア) 学校団体利用の手引の作成と送付

四国4県の学校や博物館等に対し、遠足などの来館計画及び予約がスムーズにできるよう、団体利用の手引を作成し送付した。

(イ) 学校団体の受付

	県 内	県 外	計
小 学 校	22校 1,187人	30校 1,466人	52校 2,653人
中 学 校	8校 315人	7校 823人	15校 1,138人
小 中 合 同	2校 35人	0校 0人	2校 35人
中 高 一 貫 校	2校 109人	0校 0人	2校 109人
高 等 学 校	12校 638人	4校 235人	16校 873人
高 等 専 門 学 校	3校 243人	1校 44人	4校 287人

特別支援学校	15校 355人	8校 107人	23校 462人
その他	59校 2,496人	6校 266人	65校 2,762人
計	123校 5,378人	56校 2,941人	179校 8,319人

※その他は幼稚園・保育園等

(ウ) 入館料の減免措置

県内小中高および特殊の学校団体は、常設展示・プラネタリウムが無料。また、平成11年7月より学校団体以外の来館時でも、県内外の小中学生は常設展示室が無料となっている。

イ 印刷物の送付

当館各種事業への参加を促すため、学校現場への広報の一環として、各種事業のポスター・チラシ等を四国内の小・中学校等に送付した。

学校への配付物
・博物館利用の手引き ・各種事業(講座、特別展・企画展、プラネタリウム等)のチラシ、ポスター ・博物館案内リーフレット、年間行事予定 ・博物館だより

ウ 職場体験・職場見学学習の受け入れ

学校教育との連携の一環として、インターンシップ(就業体験実習)指導及び職場見学学習を行った。

1) 職場体験学習

- (ア) 新居浜市立大生院中学校(2年生:3名)
期 間:令和6年6月26日(水)~6月28日(金)、7月1日(月)
内 容:博物館講座準備、プラネタリウム投影 等
- (イ) 新居浜市立南中学校(2年生:2名)
期 間:令和6年6月26日(水)~28日(金)、7月3日(水)
内 容:博物館講座準備、プラネタリウム投影 等
- (ウ) 新居浜市立東中学校(2年生:2名)
期 間:令和6年7月1日(月)、7月3日(水)~7月5日(金)
内 容:博物館講座準備、特別展展示作業 等
- (エ) 新居浜市立川東中学校(2年生:2名)
期 間:令和6年7月3日(水)~7月5日(金)
内 容:プラネタリウム投影、特別展展示作業 等
- (オ) 新居浜市立角野中学校(2年生:2名)
期 間:令和6年7月9日(火)~7月12日(金)
内 容:イベント用材料づくり、資料整理 等
- (カ) 松山大学(3年生:2名)
期 間:令和6年8月12日(月)~16日(金)
内 容:イベント補助、 等
- (キ) 山口東京理科大学(3年生:1名)
期 間:令和6年8月12日(月)~14日(水)
内 容:イベント補助 等
- (ク) 西条市立西条北中学校(3年生:2名)
期 間:令和6年9月10日(火)~13日(金)
内 容:博物館講座準備、プラネタリウム投影 等
- (ケ) 新居浜市立中萩中学校(2年生:2名)

期 間：令和7年2月5日（水）～7日（金）
内 容：企画展撤収作業、「わくわくサイエンス広場」準備 等

2) 職場見学学習

- (ア) 愛媛県立松山西中等教育学校（2年生：77名）
期 間：令和6年11月8日（金）
内 容：学芸員による常設展示解説、業務についての質疑応答
- (イ) 四国中央市立新宮中学校（2年生：10名）
期 間：令和6年11月14日（木）
内 容：学芸員による常設展示解説、業務についての質疑応答
- (ウ) 松山市立道後中学校（2年生：30名）
期 間：令和7年1月15日（水）
内 容：学芸員による常設展示解説、業務についての質疑応答

3) 教員キャリアアップ研修Ⅰ（企業等研修）

- (ア) 愛媛県立新居浜西高等学校（1名）
期 間：令和6年8月7日（水）～8月8日（木）
内 容：野外活動の安全講習、実験ショー予備実験及び準備 等
- (イ) 愛媛県立新居浜特別支援学校（1名）
期 間：令和6年8月7日（水）～8月8日（木）
内 容：野外活動の安全講習、実験ショー予備実験及び準備 等

エ 中高生のためのかはく科学研究プレゼンテーション大会

日 程	令和6年8月4日（日）
会 場	多目的ホール、第1研修室ほか
参加者数	出場校19校（県内10校・県外9校）参加者127名
内 容	中高生を対象に科学研究・環境保全・産業に関する研究（啓発活動を含む）の発表大会を開催した。今年度は、県内10校・県外9校の計19校からポスター部門30組、ステージ部門8組の参加があった。各部門から最優秀・有馬朗人賞1組、知事賞1組、県教育委員会教育長賞1組、ポスター部門では審査員特別賞2組を表彰した。

オ 教員のための博物館の日2024in愛媛県総合科学博物館

日 程	令和6年8月22日（木）
会 場	常設展示室、プラネタリウム、第一研修室、科学実験室
参加者数	20人（小学校6名、中学校2名、高等学校5名、特別支援学校1名、公民館1名、児童館3名、その他2名）
内 容	教育関係者に博物館を積極的に活用してもらうための研修会を開催した。プラネタリウムを用いた天体の授業例、常設展示ツアー、授業に役立つ科学実験・実習講座、学習用資料貸出キットの紹介、天体望遠鏡の使い方の講習を実施した。

カ 学校との連携協定

愛媛県総合科学博物館は学校法人愛光学園と連携協定を締結している。

締 結 日 令和5年2月1日（水）

目 的 自然・科学技術・産業等について県民の理解増進と知識の普及を図り、次世代のリーダー育成に資するとともに、地域課題への対応、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与する。

連携事項 展示、教育イベントの連携と資料の貸借、人材育成と教育の充実、教材開発等の調査研究とその公表

キ 館外への派遣

学校（PTAを含む）からの依頼により、学芸員を派遣して出前講座等を実施した。

	派遣回数	資料貸出し
小	25回	11回
中	7回	1回
高	3回	2回
大	0回	1回
小 計	32回	15回
そ の 他	20回	6回
合 計	55回	21回

その他：幼稚園、保育園、公民館、児童館、その他団体等

(5) 外部機関・団体との交流事業

ア 派遣

博物館活動の一環として、館外からの依頼等を受けて学芸員等の派遣を行った。

実施日	派遣職員	内容	依頼機関	人数
令和6年 4月18日	山根 勝枝	瀬戸内海「白砂青松」の砂や岩石の観察 白砂ができる愛媛の大地の成り立ち等解説	面河山岳博物館	29
4月20日	藤本 光章	スライム作りを通し仕組みの説明・衝撃の実験	四国中央市教育委員会 生涯学習課	50
5月18日	進 悦子	科学実験教室「シャボン玉の不思議」 液の作り方・形の理由・巨大シャボン玉作り 体験	放課後等デイサービス みらい	55
5月25日	小林 真吾	海辺の生物の観察会(指導・解説)	ビーチクリーンしまなみ (今治コミュニティ放送株式 会社 内)	30
5月30日	藤本 光章	科学博物館講座「てこと滑車でパワーアップ」	新居浜生涯学習大学	43
6月11日	大西 剛	東温市内小学5年生を対象にした環境教育	東温市役所市民福祉部環境 保全課	30
6月12日	久松 洋二	「マルチサイエンスⅡ」研究発表会	愛媛県立西条高等学校	45
6月15日	進 悦子	スライム作りと実験 (物質の三態説明・クイズ・風船スライム)	松前町立岡田小学校 岡田地区連絡協議会	92
6月20日	三木 綾乃	講義「あなたの身近で大活躍！酸とアルカリ」 酸・アルカリをテーマとした実験と解説	新居浜市生涯学習大学	40
6月26日	大西 剛	渦井川上流の水生生物による水質調査	新居浜市立大生院小学校	40
6月29日	小林 真吾	夜行性の海辺の生物の観察会(指導・解説)	ビーチクリーンしまなみ (今治コミュニティ放送株式 会社 内)	30
7月4日	大西 剛	食物連鎖・水質調査・水生生物・田んぼ…絡 めて	西予市立石城小学校	20
7月5日	久松 洋二	「マルチサイエンスⅠ」研究経過報告会	愛媛県立西条高等学校	210
7月11日	吉村 久美子	科学博物館講座「三津浜煉瓦の変遷について」	新居浜生涯学習大学	45
7月12日	大西 剛	アサギマダラの生態や調査方法	新居浜市立惣開小学校	42
7月21日	吉村 久美子	愛媛の産業概要紹介 東予ものづくり歴史及び現在技術の詳細解説	愛媛大学 (四国型次世代科 学技術チャレンジプログラ ム事業(SHIN-GS)事務局)	19
7月23日	三木 綾乃 進 悦子	地震だ！その時の為に何をする？ 地震と防災をテーマに実験ショーと工作	惣開公民館(新居浜市)	50
7月30日	三木 綾乃	あなたの身近で大活躍！酸とアルカリ 酸とアルカリをテーマにした実験と工作	新居浜市立別子記念図書館	37
7月31日	大西 剛	昆虫に関する講座(小学生対象)	大生院公民館	10
8月9日	進 悦子	万華鏡のふしぎ 万華鏡の発明ストーリー・歴史・仕組み・作成	松山市北条教育文化部	22

実施日	派遣職員	内容	依頼機関	人数
8月9日	鈴木 裕司	親子星座教室 双眼鏡を使用し景色を拡大し見る体験 プラネタリウム投影とスライドを使用し天文の講話	(公財)新居浜市文化体育振興事業団	12
8月10日	鈴木 裕司	親子星座教室 双眼鏡を使用し景色を拡大し見る体験(スピカ食現象) プラネタリウム投影とスピカ食を動画で振り返る	(公財)新居浜市文化体育振興事業団	15
8月17日	鈴木 裕司	星空観望会 夏の星空紹介と流れ星の話(プロジェクター使用) 月の拡大・二重星・星の色の観察(大型双眼鏡使用)	四国中央市中曾根公民館	110
8月23日	久松 洋二	第10回科学の甲子園ジュニア愛媛大学 審査	愛媛県教育委員会 義務教育課	81
8月28日	進 悦子	スライムの科学 スライム作りと三態・状態・架橋の解説	西条市東予南地域交流センター	20
8月29日	藤本 光章	空気砲の実験 空気の性質の質問(クイズ形式) 空気の力体験(空気砲・風船ロケット製作)	今治市国分公民館	20
9月4日	吉村 久美子	ものづくり体験講座「四国中央市 地域産業を知る」 製紙業の歴史・歴史・技術・概要を解説	(公社)愛媛県紙パルプ工業会・四国中央市 (四国中央市立三島南中学校1年生)	71
9月6日	三木 綾乃	おもしろシャボン玉を体験 巨大・二重シャボン玉観察と巨大シャボン玉作り	学校法人神戸学園認定こども園かんべ幼稚園	60
9月7日	藤本 光章	二酸化炭素のふしぎと入浴剤 二酸化炭素性質紹介・発砲入浴剤作成・空気砲製作	四国中央市立寒川小学校	70
9月12日	進 悦子	夏の特別展「スリラー博士の恐怖の実験室」 見学会 展示室の仕組み・原理の解説と体験実験	新居浜市生涯学習大学	40
9月13日	久松 洋二	プレゼンスキルアップ講座	愛媛県立西条高等学校	100
9月13日	吉村 久美子	ものづくり体験講座「四国中央市 地域産業を知る」 製紙業の歴史・歴史・技術・概要を解説	(公社)愛媛県紙パルプ工業会・四国中央市 (四国中央市立川之江北中学校1年生)	112
9月25日	小林 真吾	水辺の動植物と環境の観察指導	今治市立常盤小学校	97
9月29日	進 悦子	「二酸化炭素おもしろ実験&発砲入浴剤作り」 ガスの中に火を入れ燃焼の違いの実験と解説 重曹とクエン酸による入浴剤作り体験	四国中央市小富士小学校	28
9月30日	吉村 久美子	ものづくり体験講座「四国中央市 地域産業を知る」製紙業の歴史・歴史・技術・概要を解説	(公社)愛媛県紙パルプ工業会・四国中央市 (四国中央市立川之江南中学校1年生)	144
10月4日	進 悦子	二酸化炭素のおもしろ実験&発砲入浴剤作り 燃焼違いの実験・オリジナル入浴剤作り	西条市立国安小学校	60
10月4日	吉村 久美子	講義「新居浜ものづくり産業の歴史」 新居浜産業の変遷と現状の解説	(一社)新居浜ものづくり人材育成協会 (新居浜市立泉川中学校1年生)	89

実施日	派遣職員	内容	依頼機関	人数
10月6日	藤本 光章	空気砲の実験と工作 実験…大気圧・空き缶つぶし 工作…ペットボトルを加工し空気砲作成	四国中央市立南小学校	46
10月23日	小林 真吾	ニホンイシガメの生態と船木地区の自然観察 ため池の歴史・生物多様性の危機…等	新居浜市立船木中学校	74
10月27日	藤本 光章	科学マジック実験ショーと入浴剤作り 比重・水消し・色変化実験と発泡入浴剤作成	西条市立神戸小学校 P T A	28
10月28日	吉村 久美子	講義「新居浜ものづくり産業の歴史」 新居浜の礎、別子銅山からの産業変遷と現状	(一社)新居浜ものづくり人材育成協会 (新居浜市立大生院中学校 1年生)	38
11月8日	藤本 光章	鏡の実験と万華鏡工作 鏡の反射の説明・無限反射の実験・万華鏡作成	西条市立吉井小学校	30
11月12日	鈴木 裕司	特別展「未来をつくる」の解説 未来想像力意識づけ促し・触れる展示紹介・ 適時解説	愛媛県立松山東高等学校 通信制	35
11月13日	小林 真吾	アサギマダラとフジバカマと毒の関係 吸蜜植物・毒の取込・チョウの防御説明	新居浜市立惣開小学校	55
11月14日	進 悦子	万華鏡のふしぎ 万華鏡の発明ストーリー・歴史・仕組み・作成	愛媛県生涯学習センター (南予コミュニティカレッジ)	9
11月16日	久松 洋二	愛媛県高等学校総合文化祭 自然科学部門発表会	愛媛県高等学校総合文化祭 実行委員会	170
11月17日	藤本 光章	「空飛ぶひみつと紙飛行機作り」 飛ぶ仕組み、鳥の羽ばたき・熱気球・飛行機 を紹介 紙トンボ・風船ロケット・紙飛行機の製作	四国中央市立三島小学校	40
11月23日	久松 洋二	博物館の企画展示に学んで楽しむ	愛媛大学ジュニアドクター 育成塾	42
11月26日	藤本 光章	空気砲・大気圧の実験と工作 空気力の体験・缶つぶし・空気砲製作	西条市立大町小学校	97
11月28日	吉村 久美子	講義「新居浜ものづくり産業の歴史」 新居浜の礎、別子銅山からの産業変遷と現状	(一社)新居浜ものづくり人材育成協会 (新居浜市立川東中学校 1年生)	179
11月30日	進 悦子	おもしろサイエンスマジックショー 色変化、爆発実験・化学反応、重力バランス 実演	四国中央市立土居小学校	25
12月8日	進 悦子	おもしろサイエンスマジックショー 色変化、爆発実験・化学反応、重力バランス 実演	松前総合文化センター	50
12月15日	藤本 光章	風船ロケットの実験と工作 圧縮空気の反動実験・ロケット作り・飛行大会	公益財団法人 伊方原子力広報センター	30
12月15日	進 悦子	「二酸化炭素おもしろ実験&発泡入浴剤作り」 ガスの中に火を入れ燃焼の違いの実験と解説 重曹とクエン酸による入浴剤作り体験	四国中央市立中曽根小学校	60
令和7年 1月11日	久松 洋二	新居浜市科学奨励賞発表会	新居浜市教育委員会	120
1月15日	川又 明德	天然記念物 銅山峰のツガザクラ群落について	愛媛県立新居浜南高等学校	30
1月21日	吉村 久美子	愛媛産業の概要紹介と県製造出荷額8割を占 める東予地域ものづくり産業の歴史・技術の 紹介	愛媛県立新居浜工業高等学校 (令和6年度東予地区高等学 校 P T A 連絡協議会当番校)	70
1月25日	進 悦子	二酸化炭素のおもしろ実験&発泡入浴剤作り	新居浜市神郷公民館	20

実施日	派遣職員	内容	依頼機関	人数
1月29日	藤本 光章	音と光の関係.音の振動の実験とウグイス笛の工作	愛媛大学教育学部附属小学校	32
2月5日	進 悦子	おもしろサイエンスマジックショー 色変化、化学発光、炭酸ガス爆発の実験 マジックスクリーン工作	新居浜市新居浜公民館	24
2月7日	安永 由浩	講義「来島海峡を通る船の眺め方」 航行する船舶、潮流信号所、通行状況の解説	愛媛県生涯学習センター (中予コミュニティカレッジ)	33
2月13日	久松 洋二	「マルチサイエンスⅠ」成果発表会	愛媛県立西条高等学校	540
2月15日	藤本 光章	入浴剤の実験 二酸化炭素の性質紹介・発泡入浴剤、入浴剤の作成	四国中央市立金生第一小学校	41
3月8日	三木 綾乃	お仕事フェスタ 学芸員の仕事紹介と企画展「宇宙で食べる・宇宙で生きる」紹介	学校法人河原学園	30
3月9日	久松 洋二	お仕事フェスタ	学校法人河原学園	50
3月13日	三木 綾乃	企画展「宇宙で食べる・宇宙で生きる」展示 解説	愛媛県立宇和島水産高等学校	22
3月27日	藤本 光章	万華鏡の実験 鏡の反射と角度・合わせ鏡の無限反射・万華鏡製作	松山市荏原公民館	37

イ 外部機関・団体との交流事業

(ア) (7) (財)日本博物館協会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会、四国地区博物館協議会、愛媛県博物館協会等に参加し、情報交換及び資料提供などを行った。

会 議 名	出席者	開催時期	開催地
東予歴史文化協議会 総会	池野 光則	令和6年4月11日	西条市
全国プラネタリウム大会2024・横浜	鈴木 裕司	令和6年6月3日～5日	神奈川県
産業遺産学会総会・シンポジウム・現地調査会	吉村久美子	令和6年6月8日～9日	兵庫県
全国科学館連携協議会総会	久松 洋二	令和6年6月10日	東京都
日本博物館協会参与会	池野 光則	令和6年7月2日	東京都
全国博物館長会議	池野 光則	令和6年7月3日	東京都
全国科学博物館協議会理事会・総会(第1回)・施設見学	池野 光則	令和6年7月4日～5日	東京都
愛媛県博物館協会理事会・総会	池野 光則	令和6年7月19日	新居浜市
四国地区博物館協議会・日本博物館協会四国支部役員会	池野 光則 山根 勝枝	令和6年9月12日～13日	徳島県
日本プラネタリウム協議会中国四国プラネタリウムWG研修会in久万高原	鈴木 裕司	令和6年9月24日	久万高原町
全国科学館連携協議会第1回国内研修会	久松 洋二	令和6年9月26日	オンライン
全国科学館連携協議会中四国ブロック会議	久松 洋二	令和6年10月16日～17日	島根県
産業遺産学会 2024年度全国大会	吉村久美子	令和6年11月16日～18日	岡山県
第27回自然系調査研究機関連絡会議	小林 真吾	令和6年11月19日～20日	神奈川県
全国博物館大会	藤本 光章	令和6年11月27日～29日	長野県
全国科学館連携協議会第2回国内研修会	久松 洋二 ほか	令和7年1月31日	オンライン
全国科学博物館協議会理事会・総会(第2回)	池野 光則	令和7年2月12日	兵庫県
全国科学博物館協議会研究発表大会	池野 光則	令和7年2月13日～14日	兵庫県
全国科学博物館協議会研究発表大会	鈴木 裕司	令和7年2月13日～14日	オンライン

会 議 名	出席者	開 催 時 期	開催地
日本プラネタリウム協議会中国四国プラネタリウムWG研修会in広島	鈴木 裕司	令和7年2月17日	広島県
愛媛県博物館等関係職員研修会	久松 洋二	令和7年2月26日	松山市
四国ミュージアム研究会 愛媛大会	鈴木 裕司	令和7年3月16日～17日	西予市 八幡浜市 伊方町

あわせて各学芸員が加入している学会の大会等に参加し、情報の交換を行うとともに今後の研究の参考とした。

大会・集会名	出席者	開 催 日	場 所
第15回全国理工系学芸員展示研究大会	久松 洋二 進 悦子	令和7年1月29日～30日	大阪府
愛媛大学ジュニアドクター育成塾意見交換会	久松 洋二	令和6年7月2日 令和7年3月18日	松山市

(イ) 愛媛自然科学教室

昭和34年4月に愛媛県立博物館（松山市堀之内）の開館にあわせて発足した。平成21年に愛媛県立博物館の閉館を受けて事務局を愛媛県総合科学博物館に移管した。発足当時から会誌「愛媛の自然」を毎月1回発行しており、令和6年3月現在で第65巻第12号（通巻766号）に達している。県下3カ所（今治・松山・宇和島）にある自然科学教室が開催している小学生を対象とした観察会のための資料として利用されている。令和6年度は6月21日に役員会を開催した。

(ウ) 来館困難者のための講師派遣

日常、博物館に来館することが困難な方を障がい・疾病を有する方々に向け、施設等に出向き、状況に応じて科学教室の講師派遣を行った。

実施日	派遣職員	内 容	依 頼 機 関
令和6年 8月7日	藤本 光章	ふしぎ！おもしろ科学マジックショー	特定非営利活動法人ゆいねっと 新居浜
令和6年 8月27日	藤本 光章	鏡の不思議な実験とキラキラ万華鏡を作ろう	Aile学舎 松山西教室
令和6年 9月18日	藤本 光章	音で遊ぼう	愛媛県立子ども療育センター
令和6年 10月1日	藤本 光章	シャボン玉で遊ぼう	愛媛県立今治特別支援学校
令和6年 11月21日	進 悦子	おもしろ科学マジックショー	愛媛県立子ども療育センター
令和6年 12月2日	藤本 光章	音を楽しむ不思議実験	愛媛県立しげのふ特別支援学校
令和6年 12月25日	藤本 光章	ふしぎ！おもしろ科学マジックショー	Aile学舎 松山南教室
令和6年 12月26日	進 悦子	サイエンスマジックショー	新居浜障がい者福祉センター

(エ) 「ぐるっとにいはまマル得周遊事業スタンプラリー」への参加

新居浜市内にある観光、学習9施設が連携し、割引や特典サービスを提供する「ぐるっとにいはまマル得周遊事業スタンプラリー」に参加し、施設間の周遊強化を図った。

ウ 調査への協力

(ア) 委員会等への協力

協力職員	依 頼 内 容	依頼機関
池野 光則	四国型次世代科学技術チャレンジプログラム(SHIN-GS)コンソーシアム学外委員	愛媛大学
池野 光則	新居浜市総合文化施設及び美術館協議会	新居浜市
池野 光則	新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設指定管理者候補者選定委員会	新居浜市
池野 光則	東予歴史文化協議会委員	東予歴史文化協議会
久松 洋二	新居浜市ESD推進事業協議会	新居浜市
久松 洋二	西条高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員	愛媛県立西条高校
久松 洋二	高知みらい科学館協議会	高知市
久松 洋二 山根 勝枝	四国西予ジオパーク推進協議会アドバイザー	四国西予ジオパーク推進協議会
小林 真吾	えひめの生物多様性保全推進委員会専門部会委員	愛媛県県民環境部
小林 真吾	松山市希少動植物保護対策専門委員	松山市
小林 真吾	今治環境パートナーシップ会議委員	今治市
川又 明德	銅山峰のツガザクラ群落保存活用計画検討委員会副委員長	新居浜市
川又 明德	愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会	愛媛県

(イ) 外部との合同調査・共同研究等

協力職員	依 頼 内 容	依頼機関
小林 真吾	自然共生サイトの所有・管理者への伴走支援・現地視察及びヒアリング	大王製紙株式会社
川又 明德	昭和基地周辺地衣類の多様性について	国立極地研究所

(ウ) その他の協力等

協力職員	依 頼 内 容	依頼機関
久松 洋二	新居浜市小・中学生ふるさと学習奨励賞 審査員	新居浜市教育委員会
久松 洋二	新居浜市小・中学生科学奨励賞 審査員	新居浜市教育委員会
久松 洋二	愛媛県高等学校総合文化祭自然科学専門部 講師	愛媛県高等学校総合文化祭実行委員会
久松 洋二	全国理工系学芸員会議副代表	全国理工系学芸員会議
久松 洋二	科学の甲子園ジュニア 愛媛大会 審査員	県教委義務教育課
久松 洋二	神戸市立青少年科学館展示室等改修業務 審査員	神戸市
大西 剛	日本鱗翅学会四国支部 自然保護委員	日本鱗翅学会
小林 真吾	環境省希少野生動植物種保存推進員	環境省
小林 真吾	愛媛県環境マイスター	愛媛県県民環境部
小林 真吾	愛媛資料ネット委員	愛媛資料ネット
小林 真吾	愛媛県野生動植物保護推進員	愛媛県県民環境部
小林 真吾	高緯度サンゴ群集域気候変動適応ネットワーク	高緯度サンゴ群集域気候変動適応ネットワーク
小林 真吾	特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク 理事	特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク

協力職員	依 頼 内 容	依頼機関
川又 明德	愛媛県野生動植物保護推進員	愛媛県県民環境部
川又 明德	日本地衣学会 地域活性化委員	日本地衣学会
鈴木 裕司	日本プラネタリウム協議会全国大会担当委員	日本プラネタリウム協議会
鈴木 裕司	日本プラネタリウム協議会プラネタリウム100周年記念事業実行委員	日本プラネタリウム協議会
吉村久美子	東予歴史文化協議会 担当	東予歴史文化協議会

(6) 主催・共催事業

1) 企画展「来島海峡と潮流信号所」関連ワークショップ「カラフル発泡スチロール船をつくろう」

日 程	令和6年4月6日(土)～4月7日(日)の土日 10:30～12:00/13:30～15:00
会 場	エントランスホール
参加者数	42人
内 容	発泡スチロール板とストローを使って石けんで走る船を製作した。

2) 企画展「来島海峡と潮流信号所」関連ワークショップ「保冷剤リメイク！海の消臭剤をつくろう」

日 程	令和6年4月6日(土)～4月7日(日)の土日 10:30～12:00/13:30～15:00
会 場	エントランスホール
参加者数	42人
内 容	保冷剤に食紅を使って色をつけて消臭剤を制作した。

3) 特別展「シン・忍者展」関連ワークショップ「集中力を高めよ！ポイで君はすくえるかな？」

日 程	令和6年4月20日(土)～5月6日(月祝)の土日祝 10:00～12:00/13:00～15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	1,122人
内 容	制限時間30秒間で、水に浮かべた科博オリジナルの木片をすくった。 すくった木片の中から1つ持ち帰った。

4) 特別展「シン・忍者展」関連イベント 講演会「忍者の科学」

日 程	令和6年4月29日(月祝) 11:00～12:00
会 場	多目的ホール
参加者数	70人
内 容	特別展「シン・忍者展」を監修した三重大大学の山田雄司教授を講師に招き、忍者が身につけていた「科学」とはどのようなものだったのか、講演を行った。

5) GWスペシャル科学体験イベント「わくわく！ミュージアム」2024

日 程	令和6年5月3日(金祝) 11:00～14:00 5月4日(土祝) 10:00～16:00 5月5日(日祝) 10:30～12:00/14:00～15:30
会 場	ロータリー、屋外展示場
参加者数	1,382人
内 容	巨大実験ショー（ソーラークッキング、虹の大実験、葉っぱで遊ぼう、巨大シャボン玉体験）を行い、科学の楽しさを体験した。

6) GWスペシャル天文イベント 「太陽を見よう！」

日 程	令和6年5月4日(土) 10:00~12:00
会 場	屋外展示場
参加者数	170人
内 容	博物館友の会天文クラブを講師に招き、太陽を観察するイベントを行った。

7) 特別展「シン・忍者展」関連ワークショップ 「これで君も忍者だ！」

日 程	令和6年5月11日(土)~5月26日(日)の土日 10:00~12:00/13:00~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	395人
内 容	プラスチック製のクナイに組紐を巻き付け、自分だけのオリジナルのクナイを製作した。

8) 特別展「シン・忍者展」関連ワークショップ 「忍びの変装術！お面で化けよう」

日 程	令和6年5月11日(土)~5月26日(日)の土日 10:00~12:00/13:00~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	488人
内 容	紙製のキツネのお面に色を塗った。

9) 特別展「シン・忍者展」関連ワークショップ 「手裏剣ゴマ」

日 程	令和6年6月1日(土)~6月23日(日)の土日 10:00~12:00/13:00~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	379人
内 容	手裏剣柄のコマに色を塗り、自分だけのコマを製作した。

10) 特別展「シン・忍者展」関連ワークショップ 「和風ストラップ」

日 程	令和6年6月1日(土)~6月23日(日)の土日 10:00~12:00/13:00~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	195人
内 容	くるみボタンと布で和柄のストラップを製作した。

11) 特別展「シン・忍者展」関連ワークショップ 「素焼きの鈴に色を塗ろう」

日 程	令和6年6月16日(日) 10:00~12:00
会 場	エントランスホール
参加者数	3人
内 容	忍者の形をした素焼きの鈴に絵の具で色を塗り、忍者型の鈴を製作した。

12) 特別展「シン・忍者展」関連イベント 「伊賀忍者特殊軍団 阿修羅 忍者ショー」

日 程	令和6年6月23日(日) 11:00~11:30/13:00~13:30/14:30~15:00
会 場	多目的ホール
参加者数	490人
内 容	伊賀忍者特殊軍団 阿修羅を招き、戦国時代に実際に忍者が使用していた忍具を使い、かつて忍者はどのように戦い、どのようにして身を守ったのか、大迫力のショーで紹介した。

13) プラネタリウム企画「ほしぞらパレット」

日 程	令和6年6月1日(土)、2日(日)、14日(金)、15日(土)、16日(日)、28日(金)、29日(土)、30日(日) 16:00~16:45 / 15:00~15:45
会 場	プラネタリウム棟
参加者数	327人
内 容	スタッフによる生解説で、「銀河」をテーマに投影を行った。

14) 電波教室 FMラジオをつくろう

日 程	令和6年7月6日(土) 13:30~16:00
会 場	第1研修室
参加者数	19人
内 容	愛媛県電波適正利用推進員協議会が主催のイベント。 手軽に作れるラジオの製作を通じて、電波や無線通信に親しみ、電波の正しい利用について学んだ。

15) 初夏イベント 関連ワークショップ「忍者の鈴に色を塗ろう」

日 程	令和6年7月6日(土)~7月7日(日) 10:00~12:00/13:30~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	7人
内 容	忍者の形をした素焼きの鈴に、水性絵の具で色を塗り、オリジナルの土鈴を制作した。

16) 初夏イベント 関連ワークショップ「キラキラ昆虫缶バッジ」

日 程	令和6年7月6日(土)~7月7日(日) 10:00~12:00/13:30~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	34人
内 容	缶バッジキットにспанコール生地を貼り、シールフェルトでカブトムシかクワガタムシの形を切り抜き、昆虫缶バッジを製作した。

17) 初夏イベント 関連ワークショップ「ポイですくおう!木のチップ」

日 程	令和6年7月6日(土)~7月7日(日) 10:00~12:00/13:30~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	41人
内 容	科博オリジナルの木のチップを水に浮かべ、ポイですくった。

18) 初夏イベント プラネタリウム企画「キッズプラネ」

日 程	令和6年7月6日(土)~7月7日(日) 10:00~10:45/12:00~12:45
会 場	プラネタリウム棟
参加者数	211人
内 容	前半の星空解説が小さなお子さま向けのゲームや、七夕のお話を行った。

19) 特別展「スリラー博士」関連ワークショップ 「おばけハウス」

日 程	令和6年7月13日(土)～8月4日(日)の土日祝 10:00～12:00／13:30～15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	345人
内 容	7色に光るライトにマスキングテープを巻いて目玉を張り付けた「一つ目おばけ」の住んでいるカプセルハウスを製作した。

20) 特別展「スリラー博士」関連ワークショップ 「いろどりサンキャッチャー」

日 程	令和6年7月13日(土)～8月4日(日)の土日祝 10:00～12:00／13:30～15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	395人
内 容	ビーズを使って、光を反射してきらめくサンキャッチャーを製作した。

21) 特別展「スリラー博士」関連ワークショップ 「光の箱を作って展示しよう！」

日 程	令和6年7月14日(日) 10:00～12:00／14:00～16:00
会 場	第1研修室
参加者数	57人
内 容	光の造形作家、松村泰三氏を講師に招き、カラーセロファンとミラーフィルムを使用し、光にかざすと美しく輝く「光の箱」を製作した。 作製した光の箱は企画展示室前に展示した。

22) 特別展「スリラー博士」関連イベント 「博士の金貨さがし」

日 程	令和6年7月13日(土)～7月31日(水) / 9月14日(土)～9月23日(月振休)の土日祝 9:00～17:30
会 場	企画展示室
参加者数	4,452人
内 容	お城を巡りながらクロスワードを埋め、金貨が隠された場所を探した。金貨を見つけた方には、ミニプレゼントをお渡しした。

23) 夏休み特別イベント T-REXウォーキングショー in プラネタリウム

日 程	令和6年7月7月21日(日) 13:30～14:20／15:00～15:50
会 場	プラネタリウム棟 エントランスホール
参加者数	480人
内 容	プラネタリウムで、ティラノサウルスとふれあい体験を行った。 イベント後半は、プラネタリウム番組「ディノ・ダナ 図鑑から出たティラノサウルス」を投影した。 またエントランスホールでは、トリケラトプスとの記念撮影(無料)を行った。

24) 夏休み自由研究相談所

日 程	令和6年7月24日(水)～7月25日(木) 10:00～12:00／14:00～16:00
会 場	図書室
参加者数	19件
内 容	夏休みの理科の自由研究についてのアドバイスをを行った。

25) 特別展「スリラー博士」関連イベント 「学芸員解説付き クイズミステリーツアー」

日 程	令和6年7月27日(土)、8月18日(日)、9月7日(土)、21日(日) 15:30~16:00
会 場	企画展示室
参加者数	52人
内 容	特別展を担当した学芸員の解説で、展示の科学原理を学びながらクイズを解き、普段は入れないバックヤード見学も行った。参加者にはミニプレゼントもお渡しした。

26) 初夏イベント プラネタリウム企画 「星空スタディ」

日 程	令和6年7月26日(金)~28日(日)、8月16日(金)、17日(土)、18日(日)、22日(木) 14:00~14:45/15:00~15:45
会 場	プラネタリウム棟
出席者	576人
内 容	小学校4年生の理科で習う夏の大三角や星の動き、月の満ち欠けを中心に、プラネタリウムの演出を生かしたライブ投影を行った。

27) 特別展「スリラー博士」関連ワークショップ 「魔法のスライム」

日 程	令和6年8月10日(土)~8月14日(水) 10:00~12:00/13:30~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	1,180人
内 容	蓄光パウダーを使用した暗闇で光るスライムを製作した。

28) 特別展「スリラー博士」関連ワークショップ 「まわしてあそぼう くるくるレインボー」

日 程	令和6年8月10日(土)~8月14日(水) 10:00~12:00/13:30~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	629人
内 容	回すといろいろな形に変わるふしぎなステッキを製作した。

29) 特別展「スリラー博士」関連ワークショップ 「まわしてあそぼう くるくるレインボー」キット販売

日 程	令和6年8月20日(火) 10:00~12:00/13:30~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	2人
内 容	回すといろいろな形に変わるふしぎなステッキを製作した。

30) 夏休み特別イベント「大道芸&ジャグリング体験会」

日 程	令和6年8月10日(土)、12日(月・祝) 11:00~12:00/14:00~15:00
会 場	多目的ホール
参加者数	107人
内 容	サーカスアーティスト 松葉川健一氏によるパフォーマンス。 ボールやピン、帽子のジャグリングや中国ゴマの演示を行った。 後半はジャグリングや中国ゴマなどの体験会を行った。

31) 夏休み特別イベント「マジックショー」

日 程	令和6年8月11日(日) 11:00～12:00／14:00～15:00
会 場	多目的ホール
参加者数	230人
内 容	新居浜市出身のプロマジシャン黒川遼氏をお迎えし、魅力あふれるマジックを披露した。

32) 特別展「スリラー博士」関連イベント 「スペシャルサイエンスショー 超…科学マジックショー」

日 程	令和6年8月13日(火) 11:00～11:40／13:45～14:25
会 場	多目的ホール
参加者数	620人
内 容	北野貴久先生による実験ショー。科学に対する好奇心を芽生えさせるようなマジックと科学が融合したショーを行った。

33) 特別展「スリラー博士」関連イベント 「スリラー博士の恐怖のサイエンスショー」

日 程	令和6年8月14日(水)～8月15日(木) 11:00～11:40／13:45～14:25
会 場	多目的ホール
参加者数	1,460人
内 容	スリラー城の主、スリラー博士に扮した学芸員によるドキドキの実験ショーを行った。

34) 特別展「スリラー博士」関連ワークショップ 「魔法レンズ」

日 程	令和6年8月17日(土)～9月23日(月振休)の土日祝 10:00～12:00／13:30～15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	668人
内 容	分光シートを使った、光が虹のように見えるふしぎなレンズのキーホルダーを製作した。

35) 特別展「スリラー博士」関連ワークショップ 「ぴかぴかゴーストタウン」

日 程	令和6年8月17日(土)～9月23日(月振休)の土日祝 10:00～12:00／13:30～15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	955人
内 容	いろんなパターンでピカピカ光る、ゴーストタウンを製作した。

36) 特別展「スリラー博士」関連ワークショップ 「ふしぎなゆがみ絵(アナモルフォーシス)を作ろう」

日 程	令和6年9月16日(月祝) 10:00～12:00／13:30～15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	10人
内 容	専用のアプリで歪ませた絵を円筒形の鏡に映すと、元の絵が見えるアナモルフォーシスを製作した。

37) ロビー展「森に親しむ博物館」関連イベント「ミュージアムツアー」

日 程	令和6年9月22日(日) 12:00～14:00
会 場	多目的ホール前ロビー
参加者数	141人
内 容	展示を企画・担当した学芸員が来館者に展示の解説を行った。

38) プラネタリウム企画 「ガリレオ 人類が初めて見た宇宙」

日 程	令和6年9月28日(土)、29日(日)、10月4日(金)、5日(土)、12日(土)、13日(日)、14日(月祝) 13:30~14:15
会 場	プラネタリウム棟
参加者数	285人
内 容	ガリレオの生涯や功績について、全編ライブ投影(生解説)で紹介した。

39) 秋のワークショップ 「コラージュキーホルダー」

日 程	令和6年10月12日(土)~12月1日(日) 10:00~11:30/13:30~15:00
会 場	エントランスホール
参加者数	83人
内 容	色紙やボタンとコラージュしてオリジナルのキーホルダーを製作した。

40) 秋のワークショップ 「キラメキ ボールペン」

日 程	令和6年10月12日(土)~12月1日(日) 10:00~11:30/13:30~15:00
会 場	エントランスホール
参加者数	352人
内 容	好きなビーズを入れたオリジナルボールペンを製作した。

41) ハロウィンイベント 「仮装してお菓子をゲット」

日 程	令和6年10月27日(日) 10:00~11:30/13:30~15:00
会 場	エントランスホール
参加者数	150人
内 容	来館の小学生以下のお客様で、仮装をしてワークショップに参加もしくはレストランで食事をされた方にお菓子をプレゼントした。

42) 秋のワークショップ 「まわしてあそぼう!くるくるレインボー」

日 程	令和6年11月2日(土)~11月4日(月振休) 10:00~11:30/13:30~15:00
会 場	エントランスホール
参加者数	51人
内 容	回すといろいろな形に変わるふしぎなステッキを制作した。

43) 開館30周年記念式典

日 程	令和6年11月2日(土) 11:30~12:00
会 場	エントランスホール
参加者数	80人
内 容	開館30周年を記念して、開館30周年記念式典を開催。 式典には、中村知事も出席した。

44) 開館記念イベント「和太鼓演奏」

日 程	令和6年11月2日(土) 13:00~13:30
会 場	エントランスホール
参加者数	70人
内 容	愛媛県で活動する和太鼓グループ、黒森会による和太鼓の演奏を行った。

45) 開館記念イベント 「恐竜体操」

日 程	令和6年11月2日(土)～11月4日(月振休) 10:00～11:30／13:30～15:00
会 場	展示棟4階自然館 恐竜ロボット前
参加者数	356人
内 容	通常日曜日のみの恐竜体操を、開館30周年を記念し11月2日～4日の3連休に開催。 4階自然館にいる恐竜ロボットと一緒に体操やクイズに挑戦した。

46) 開館記念イベント 「スペシャルサイエンスショー」

日 程	令和6年11月2日(土)、11月4日(月振休) 12:30～13:00
会 場	多目的ホール
参加者数	219人
内 容	スペシャルサイエンスショーを開催した。

47) 化石の日関連イベント 「樹脂粘土でつくろう！アンモナイト」

日 程	令和6年11月2日(土)～11月4日(月振休) 10:00～11:30／13:30～15:00
会 場	エントランスホール
参加者数	153人
内 容	樹脂粘土でアンモナイト型のマグネットを製作した。

48) 開館記念イベント 常設展示無料開放

日 程	令和6年11月3日(日)
会 場	エントランスホール他
参加者数	1,347人
内 容	開館30周年記念イベントとして、常設展示は無料開放とした。

49) 特別展「未来をつくる」関連イベント 記念講演会「未来のつくり方」

日 程	令和6年11月3日(日) 13:30～15:30
会 場	多目的ホール
参加者数	91人
内 容	特別展の展覧会ディレクターをつとめた博物館名誉館長 山中俊治による講演会を行った。

50) 開館記念イベント 「タネであそぼう」

日 程	令和6年11月4日(月振休) 10:00～12:00／13:30～15:00
会 場	エントランスホール
参加者数	132人
内 容	ジュズダマを使ったストラップを製作した。

51) 秋のワークショップ 「飛べ！スカイスクリュー」

日 程	令和6年11月9日(土)～12月1日(日) 10:00～11:30／13:30～15:00
会 場	エントランスホール
参加者数	65人
内 容	プロペラでまっすぐ上に上昇する飛行機を製作した。

52) プラネタリウム企画 「熟睡ブラ寝たリウム」

日 程	令和6年11月16日(土)、17日(日)、23日(土祝)、24日(日)、30日(土)、12月1日(日) 15:00～15:45
会 場	プラネタリウム棟
参加者数	233人
内 容	プラネタリウムで寝てもらうことを目的として、勤労感謝の日に全国で開催されるイベント。勤労感謝の日の前後の土日と併せて6日間開催した。

53) クリスマスワークショップ 「ミニニット帽の雪だるまクリップ」

日 程	令和6年12月7日(土)～12月22日(日)の土日 10:00～12:00／13:00～15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	131人
内 容	フェルトボールで製作した雪だるまに小さなニット帽をかぶせ、背面にクリップを付け製作した。

54) クリスマスワークショップ 「マグカップに絵を描こう」

日 程	令和6年12月7日(土)～12月15日(日)の土日 10:00～12:00／13:00～15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	134人
内 容	陶器に水性のアクリルマーカーでクリスマスの絵を描いた。 マグカップと平皿の2種類から選んで製作した。

55) クリスマスワークショップ 「サンタカプセル」

日 程	令和6年12月21日(土)、22日(日) 10:00～12:00／13:00～15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	102人
内 容	サンタクロースをカプセルに入れて、周りを飾り付けた。

56) クリスマスイベント 「カハクンサンタをさがして、プレゼントをゲット」

日 程	令和6年12月21日(土)、22日(日) 9:00～16:00
会 場	常設展示棟3階4階
参加者数	198人
内 容	常設展示棟3階4階に隠れたカハクンを探してもらうイベントを開催。 見つけた方から先着200名の方にミニプレゼントを配布した。

57) クリスマスイベント 「ゴスペルコンサート」

日 程	令和6年12月21日(土) 11:00～11:40／13:00～13:40
会 場	多目的ホール
参加者数	140人
内 容	本村洋子氏率いるメンバーによるゴスペルコンサートを開催。

58) クリスマスイベント 「新居浜市民吹奏楽団ミニコンサート」

日 程	令和6年12月22日(日) 13:00～13:30
会 場	多目的ホール
参加者数	170人
内 容	新居浜市民吹奏楽団によるミニコンサートを開催。

59) お正月イベント 「お餅プレゼント」

日 程	令和7年1月2日(木)、3日(金) 9:00～11:00
会 場	4階自然館入口
参加者数	400人
内 容	常設展示観覧券ご購入のご家族にお餅を一袋プレゼントした。

60) お正月イベント 「伝統忍者集団 黒党 忍者教室・忍者ショー」

日 程	令和7年1月2日(木) 11:00～11:30/14:00～14:30
会 場	多目的ホール
参加者数	383人
内 容	伊賀流伝統忍者集団「黒党」による忍者教室と忍者ショーを開催した。

61) お正月イベント 「マジックショー」

日 程	令和7年1月3日(金) 11:00～12:00/14:00～15:00
会 場	多目的ホール
参加者数	412人
内 容	新居浜市出身のプロマジシャン黒川遼氏によるマジックショーを行った。

62) お正月イベント 「福袋を釣ってゲット」

日 程	令和7年1月2日(木)、3日(金) 9:00～11:45
会 場	エントランスホール
参加者数	147人
内 容	お正月を楽しめるグッズが入った福袋を釣るイベントを開催した。

63) お正月イベント 「ジオード割体験」

日 程	令和7年1月2日(木)～1月5日(日) 9:00～11:00
会 場	エントランスホール
参加者数	173人
内 容	ジオード割体験をした。

64) お正月イベント 「木の葉化石発掘」

日 程	令和7年1月2日(木)～1月13日(月)の土日祝 9:00～16:00
会 場	エントランスホール
参加者数	835人
内 容	ハンマーやたがねを使って化石の原石を割り、約30万年前の化石を発掘した。

65) お正月ワークショップ「キラメキ ボールペン」

日 程	令和7年1月4日(土)～1月5日(日) 10:00～11:30/13:30～15:00
会 場	エントランスホール
参加者数	55人
内 容	好きなビーズを入れたオリジナルボールペンを製作した。

66) 企画展「石のワンダー」関連イベント「石をさわる みる かざる」

日 程	令和7年1月11日(土) 13:30～14:30/15:00～16:00
会 場	科学実験室
参加者数	15人
内 容	愛媛県美術館との共催で、愛媛の岩石をじっくり観察したあと、石ころアートを製作した。

67) 企画展「石のワンダー」関連ワークショップ「石けんでつくろう 鉱物結晶」

日 程	令和7年1月11日(土)～2月2日(日)土日祝 10:00～12:00/13:00～15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	161人
内 容	石けんをカットして、水晶のような結晶モデルを製作した。

68) 企画展「石のワンダー」関連ワークショップ「ピカピカ みがいてみよう蛍石」

日 程	令和7年1月11日(土)～2月2日(日)土日祝 10:00～12:00/13:00～15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	529人
内 容	蛍石(フローライト)の原石を磨く体験をした。

69) ARスタンプラリー 恐竜ハンター 3D

日 程	令和7年1月15日(水)～3月31日(月) 9:00～17:30
会 場	展示棟3階 4階
参加者数	4,924人
内 容	展示棟3階4階にある恐竜の足跡をスマートフォンのカメラで読み込むと、ARで恐竜と一緒に写真が撮影できるイベントを開催した。恐竜の足跡を全て集めた方にはミニプレゼントをお渡しした。

70) OOのDeepな世界vol.8 火星

日 程	令和7年1月25日(土)、26日(日)、2月1日(土)、2日(日) 11:30～12:00/14:00～14:30
会 場	常設展4階 ダジック・アース前
参加者数	193人
内 容	常設展4階の展示「ダジック・アース」と「星図」を使用し、火星の基礎知識や星空での位置、地形についてクイズを交えながら紹介した。

71) わくわくサイエンス広場

日 程	令和7年2月7日(土)、8日(日) 10:00~16:00
会 場	企画展示室・エントランスホール・オリエンテーションルーム
参加者数	1,630人
内 容	・住友化学株式会社：スーパーボールを作ってみよう ・愛媛県立今治西高等学校：顕微鏡と型押しプレパラートをつくってみよう ・愛媛県立今治西高等学校(定時制)：身近な生物観察教室 ・愛媛県立西条高等学校(科学部)：スケルトンリーフ(葉脈標本)のしおり & 空飛ぶCDこまをつくろう ・愛媛県立新居浜工業高等学校：バッテリーカーの運行 ・愛媛県立新居浜産業技術専門校：銅つる ・愛媛県立新居浜西高等学校：空気砲としおり作り ・愛媛県立西条高等学校(輝安KOU房)：輝安KOU房活動中!! ・博物館 友の会：パタパタプテラノドンを作ろう ・サイエンスカフェ 2月7日(土)「四阪島のお話」 2月8日(日)「来島海峡を通る船を導く光」

72) 恐竜イベント「恐竜テラリウム」

日 程	令和7年2月11日(火)~16日(日)の土日祝、3月15日(土)~30日(日)の土日祝 10:00~12:00/13:00~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	537人
内 容	ハイドロボールを入れたビンに、コケと恐竜消しゴムを入れ、テラリウムを製作した。

73) 巡回展「高知のサンゴをカガクする」

日 程	令和7年2月15日(土)~3月30日(日) 9:00~17:30
会 場	展示棟3階 エレベーターホール前ロビー
参加者数	13,254人
内 容	種類や色、形も実に様々なサンゴについて紹介した。実物のサンゴの骨格標本に触れて観察した。

74) 恐竜イベント「恐竜レジン」

日 程	令和7年2月22日(土)~3月9日(日)の土日祝 10:00~12:00/13:00~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	116人
内 容	恐竜のフレームにレジンを流し込み、ストラップを製作した。

75) 企画展「宇宙で食べる・宇宙で生きる」 関連ワークショップ「宇宙ボール」

日 程	令和7年2月22日(土)~3月30日(日)の土日祝 10:00~12:00/13:00~15:30
会 場	エントランスホール
参加者数	667人
内 容	樹脂粘土で惑星のようなボールを製作した。

76) ○○のDeepな世界vol. 10 食品包装

日 程	令和7年3月8日(土)～9日(日) 11:30～12:00/14:00～14:30
会 場	展示棟3階 科学技術館 サイエンス工房
参加者数	75人
内 容	食品包装の役割や機能について、現物を見せながらクイズ形式で紹介した。

77) ○○のDeepな世界vol. 11 犬と人とのお話

日 程	令和7年3月15日(土)、16日(日)、4月5日(土)、6日(日) 11:30～12:00/14:00～14:30
会 場	展示棟3階 科学技術館 サイエンス工房
参加者数	75人
内 容	1万年以上前から人と共に生活してきた「犬」という動物と人との関りを説明し、これから人と犬・動物たちがどう付き合っていくか、お互い幸せになるためにはどうすればいいかを考えた。

78) 春の特別イベント「も～っと！恐竜体操」

日 程	令和7年3月22日(土)～23日(日) 11:00～11:20
会 場	展示棟4階自然館 恐竜ロボット前
参加者数	132人
内 容	毎週日曜日に行っている恐竜体操に、恐竜に関するクイズや過去の恐竜ロボットのの一部などを紹介し、恐竜への興味関心を高めた。

79) 春の特別イベント「アマチュア無線体験会」

日 程	令和7年3月22日(土)～23日(日) 10:00～11:30/13:00～14:30
会 場	第1研修室
参加者数	33人
内 容	アマチュア無線について学んだあと、有資格者の立ち会いのもと交信体験を行った。

80) 春の特別イベント「恐竜と写真を撮ろう！」

日 程	令和7年3月22日(土)～23日(日) 13:00～15:00
会 場	展示棟4階自然館 恐竜ロボット前
参加者数	599人
内 容	動く恐竜の足元で記念撮影を行った。恐竜に近寄って観察したり、軽く触れたりした。

81) 企画展「宇宙で食べる・宇宙で生きる」 関連イベント「ギャラリートーク」

日 程	令和7年3月16日(日)、22日(土)、29日(土)、4月6日(日) 14:00～14:30
会 場	企画展示室
参加者数	50人
内 容	展示を担当した学芸員が展示の解説・紹介を行った。参加者には、ワークシートをプレゼントした。

(7) 子育てサポート事業

家族で参加できる体験プログラム事業を実施することにより、自然科学に関する子どもの学習意欲の育成や、家族間の交流を図ることで、安全かつ健全な子育て支援を行った。

<みんなで一緒に恐竜体操>

令和6年7月14日(日)から毎週日曜日の11:00に実施(42回3,681人)

※ 開館30周年記念イベントで実施（11月2日、11月4日）

※ 春の特別イベントで実施（3月22日）

(8) 印刷物の刊行

発行年月	名 称	仕 様	発行部数
令和6年9月	年 報	A 4 99頁	500
令和6年6月	博物館だよりNo101	A 4 8 頁	1,400
令和6年9月	博物館だよりNo102	A 4 8 頁	1,400
令和7年1月	博物館だよりNo103	A 4 8 頁	1,400
令和7年3月	愛媛県総合科学博物館開館30周年記念誌	A 4 88頁	700

(9) 博物館実習の実施

博物館法に定められた学芸員資格の取得に必要な実習を、大学より要請のあった学生を受け入れて実施した。

1) 館務実習

ア 受入実習生：3名

愛媛大学(1名)

都留文科大学(1名)

東京海洋大学(1名)

イ 受入期間：令和7年8月22日(木)～9月2日(月) 合計12日間

※休みが2日間(8月26日・8月27日)

ウ カリキュラム

8月22日 (木)	開講式、挨拶、自己紹介と抱負 オリエンテーション、博物館概要説明 接遇研修、課題説明 館内・プラネタリウム見学	8月29日 (木)	企画展設計のための特別展見学 プラネタリウム解説実習
8月23日 (金)	調査・研究について 【分野選択制】	8月30日 (金)	台風のため休講
8月24日 (土)	課題作成「企画展の基本設計」 工作教室「磁石で作ろう！ピチピチフィッシュ」補助	8月31日 (土)	野外活動の安全管理 サイエンスショー見学・練習・実演
8月25日 (日)	自然史資料の収集・整理 課題作成「企画展の基本設計」	9月1日 (日)	科学系展示について 課題作成「企画展の基本設計」
8月26日 (月)	プラネタリウム原稿作成 博物館資料の概要と産業資料整理	9月2日 (月)	課題作成「企画展の基本設計」 課題発表準備、課題発表 課題の意見交換 実習を終えての感想交換 閉講式、実習録のまとめ

2) 見学実習

ア 受入実習生 22名(愛媛大学)

イ 受 入 日 令和6年10月26日(土)

ウ 実 習 内 容 常設展、企画展、収蔵庫等の見学

(10) 友の会育成支援

青少年及び一般成人の科学に関する知識の普及啓発を図ることを目的とする愛媛県総合科学博物館友の会を平成7年10月1日に設置し、その活動について育成支援を行った。

ア 友の会講座

開 講 日	開講時間	場 所	テーマ・内容	講 師	受講者数(人)
令和6年 5月11日 (土)	19:30～ 21:00	プラネタリウム	天体観望会「月と春の星」	天文クラブ	3
5月26日 (日)	14:30～ 15:30	科学実験室	科学教室「バーナル楽器を作ろう！」	科学クラブ	5
6月2日 (日)	10:00～ 12:00	博物館うら山	自然教室「博物館 うら山探検隊」	自然クラブ	4
7月13日 (土)	13:30～ 16:30	科学実験室	科学教室「針穴写真機を作って撮影しよう」	科学クラブ	8
8月24日 (土)	19:30～ 20:30	立体駐車場	天体観望会「夏の星」	天文クラブ	11
9月28日 (土)	13:30～ 16:30	科学実験室	科学教室「ケプラーの法則が分かる手動式ビー玉パチンコゲーム」	科学クラブ	6
10月26日 (土)	19:00～ 20:00	立体駐車場	天体観望会「土星と秋の星」	天文クラブ	中止
12月1日 (日)	13:30～ 14:30	科学実験室	科学教室「カンタンオルゴールを作ろう」	科学クラブ	5
12月7日 (土)	18:00～ 19:30	屋上天文台 第1研修室	天体観望会「木星・土星」	天文クラブ	2
令和7年 1月18日 (土)	12:00～ 13:00	屋外展示場	天体観望会「太陽と金星」	天文クラブ	受講者・ 一般含め 61
2月8日 (土)	19:00～ 20:30	第1研修室	天体観望会「木星と冬の星」	天文クラブ	4

イ 特別展見学会

開 講 日	開講時間	場 所	テーマ・内容	講 師	受講者数 (人)
令和6年 7月27日(土)	11:00～11:30 13:30～14:00	企画展示室	特別展「ドキドキ探検ミュージアム スリラー博士の恐怖の実験室」 見学会	科学・産業研究 グループ学芸員	31

ウ 研修旅行

開 講 日	開講時間	内 容 (場 所)	受講者数 (人)
令和7年 3月8日(土)	13:00～14:30	安岡蒲鉾工場見学&じゃこ天作り体験 (宇和島市)	21

エ 夏休み自由研究相談所

開 講 日	開講時間	場 所	講 師	相談数 (件)
令和6年 7月24日(水) 7月25日(木)	10:00～12:00 14:00～16:00	図書室	博物館職員・友の会会員	15

オ クラブ活動

天文クラブ：天文に興味を持っている会員が集まり、月1回の例会や友の会天体観望会の企画・運営等の活動を行っている。

例 会 開 催 日	内 容	参加者(人)
令和6年4月13日	令和6年度の講座について	10
5月11日	5月の例会について、天体観望会について、塩塚高原キャンプについて 他	9
6月15日	6月の例会について、塩塚高原キャンプについて 他	9
7月27日	8月の天体観望会について、天体観望会について、塩塚高原キャンプについて 他	5
8月24日	9月の例会について、天体観望会について	10
9月21日	10月の例会について、天体観望会について 他	7
10月26日	11月の例会について、天体観望会について	4
11月23日	12月の例会について、天体観望会について、室戸キャンプについて 他	8
12月7日	1月の例会について、天体観望会について	9
令和7年 1月18日	2月の例会について、天体観望会について、次年度活動計画について	6
2月8日	次年度活動計画について	6
3月22日	4月の例会について、次年度活動計画について 他	7

科学クラブ：工作や実験に興味を持っている会員が集まり、月1回の例会や友の会工作教室等の企画・運営等の活動を行っている。

例 会 開 催 日	内 容	参加者(人)
令和6年4月14日	キラキラ望遠鏡を作ろう	40
5月12日	笛のおもちゃを作ろう	53
6月9日	カリンバを作ろう5年度活動報告、収支決算、6年度活動計画	44
7月15日	プラ板キーホルダーとひえひえ冷却バックを作ろう	23
8月11日	缶コプターを作ろう パート3	17
9月8日	不思議メガネと宙づり回転ゴマを作ろう	38
10月13日	第16回友の会科学クラブ 紙飛行機競技大会	22
11月10日	オリジナル発泡入浴剤を作ろう	26
12月8日	凧作りに挑戦	30
令和7年 1月12日	パタパタブテラノドンを作ろう	34
2月1日	たき火一火のつけ方から火消までー（自然クラブ合同例会）	54
3月15日	ゴム動力で動く プルバック式レーシングカーを作ろう	34

自然クラブ：野鳥や植物等、自然に興味を持っている会員が集まり、月1回博物館周辺等で自然観察会を行っている。

例 会 開 催 日	内 容	参加者(人)
令和7年2月1日	たき火一火のつけ方から火消まで－(科学クラブ合同例会)	54

カ 令和6年度友の会会員数

小・中学生会員(人)	高校生会員(人)	大会員(人)	家族会員(組)	賛助会員(口)	総 計
9	0	47	309	23	388

キ 令和6年度友の会役員

(ア) 理 事

区 分	氏 名	経 歴
会 長	立石 康	元松山市生石小学校 校長
副 会 長	伊藤 文雄	元新居浜市立船木中学校ひびき分校 教諭
理 事	渡瀬 賢治	(公財)えひめ東予産業創造センター専務理事
〃	近藤 俊彰	元今治北高等学校 教頭
〃	渡辺 浩志	新居浜西高等学校(理科)
〃	池野 光則	総合科学博物館 館長

(イ) 監 事

氏 名	経 歴
高橋 正明	高橋正明法律事務所弁護士
橋田 直久	(一社)えひめ産業資源循環協会 専務理事

(ウ) 顧 問

氏 名	経 歴
西山 慶尚	元県総合教育センター科学教育部長

(11) 博物館の情報化

当館の施設・事業・利用案内等を紹介することを目的として、平成12年4月に独自のホームページを開設した。<http://www.sci-museum.niihama.ehime.jp>。その後、平成21年4月から、指定管理者制度導入によりアドレスを変更、令和2年11月にはホームページをリニューアルした。<https://www.i-kahaku.jp/>

ホームページ(Facebook、Twitter、Instagram)では、特別展や企画展、科学イベントなどについての最新情報を掲載や各種講座、イベント等の募集を行い、You Tubeでは「おうちでやってみよう！おもしろサイエンス」などの動画を定期的に配信した。

(12) マスメディアへの対応

施設概要や特別展、企画展、科学イベント等について、放送局、新聞社・出版社等の取材対応を行った。また、各種事業の実施及び展示物入れ替え等の際には、随時県庁及び新居浜市の記者クラブ、西条市、四国中央市の定期広報、その他各種情報誌等を通じ広くPRを行った。

(13) ボランティアへの対応

博物館イベント補助などとして、一般市民のボランティア参加を受け入れた。

登録人数 153名

のべ活動時間 896時間

(14) 外部団体からの助成

なし

(15) NPO団体等との連携

募集を行ったが、応募団体がなく実施せず。

5 プラネタリウムの運営

前半約20分は「季節の星座」生解説を行い、後半25分は「宇宙・天文」、「恐竜」などに関する番組（フルオート）を投影した。

(1) 投影回数・時間

	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目
平日	10:30 ※1	12:00	14:00	16:00	—
休日(土日祝) GW期間 夏休み(お盆)期間	10:30	12:00	13:30	15:00	16:30

※1 平日の1回目は団体専用（団体予約が入っている場合のみ行う）

(2) 番組・投影期間

通年	宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム	令和5年4月18日～令和6年4月21日
通年	恐竜超世界 受け継がれるいのち	令和5年7月19日～令和6年7月19日
通年	星になるまで music by ACIDMAN	令和5年10月1日～令和6年9月29日
通年	忍たま乱太郎の宇宙大冒険withコズミックフロント	令和6年4月20日～令和7年5月6日
通年	ディノ・ダナ	令和6年7月20日～令和7年7月18日
通年	クジラが星に還る海	令和6年10月1日～令和7年12月28日
通年	南極大陸 宇宙に開かれた窓	団体専用
通年	むしむし星空大行進	団体専用
通年	シークレット・オブ・ザ・サン	団体専用
通年	星の森 ～ The Twinkle Story ～	団体専用
通年	スター・オブ・ファラオ ～ファラオの星～	団体専用
通年	ユニバース	団体専用
幼児番組	ほしのくにでみつけた たからもの	団体専用
学習番組	スタジオ444 -空のフシギをさぐれ！-	団体専用

(3) メンテナンスによる投影休止期間

令和6年6月3日（月）、5日（水）

令和6年9月25日（水）、26日（木）

令和7年2月18日（火）、19日（水）

生涯学習推進機能

生涯学習推進事業

(1) 東予コミュニティ・カレッジの開催支援

東予地域の人々を対象に、心の豊かさや教養を高め、実社会において必要な知識や技術の習得をしていただく為、県生涯学習センターが主催する「東予コミュニティ・カレッジ」の会場を提供した。

令和6年度は、現代教養講座（放送県民大学）、健康・福祉・介護講座、ふるさとおもしろ講座、歴史講座、くらしの安全・安心講座、愛媛の博物館・研究機関講座、オンライン講座（愛媛の文学・歴史講座）の計7講座を各2～5回開催した。

区 分	内 容	実施日	参加人数
東予コミカレ1 現代教養講座 (放送県民大学)	旧別子を詠んだ山口誓子の俳句や住友友成の短歌を味読する 学び舎えひめ 対象講座	9 / 29	17人
	『徒然草』の教訓—神官「卜部兼好」の目線—	11 / 10	18人
	愛媛県の「いま」から多文化共生を考える 学び舎えひめ 対象講座	12 / 8	14人

区 分	内 容	実施日	参加人数
東予コミカレ2 健康・福祉・介護講座	胃がん～早期発見と治療について～ 学び舎えひめ 対象講座	7 / 31	27人
	自律神経と認知症の関係 学び舎えひめ 対象講座	8 / 28	26人
	人生100年時代の身体の整え方 学び舎えひめ 対象講座	9 / 18	23人
	肺がん治療の進歩 学び舎えひめ 対象講座	10 / 9	24人
	認知予防に対するリハビリレクリエーション 学び舎えひめ 対象講座	12 / 4	25人

区 分	内 容	実施日	参加人数
東予コミカレ3 ふるさと おもしろ講座	身近な「地域のたからもの」発見—県民のための地域学入門— 学び舎えひめ 対象講座	10 / 22	23人
	昭和の内子町のくらしと産業 学び舎えひめ 対象講座	9 / 21	21人
	昭和の松山市のくらしと産業② 学び舎えひめ 対象講座	10 / 10	18人
	現地学習会(松山市コース) 学び舎えひめ 対象講座	10 / 24	15人

区 分	内 容	実施日	参加人数
東予コミカレ4 歴史講座	古代伊予国における海上の道—怒麻地域を中心に— 学び舎えひめ 対象講座	7 / 21	43人
	古代史の中の大和三山と伊予の天山 学び舎えひめ 対象講座	8 / 25	40人
	石鎚の寂仙、転生す 学び舎えひめ 対象講座	10 / 27	29人
	東予地域の遺跡から縄文時代早期の諸様相を考える 学び舎えひめ 対象講座	11 / 24	31人

区 分	内 容	実 施 日	参加人数
東予コミカレ5 くらしの安全・ 安心講座	相続について 学び舎えひめ 対象講座	8 / 21	38人
	「金利のある世界」への回帰—弱い日本からの脱皮—	9 / 4	32人
	金融リテラシーを高める 学び舎えひめ 対象講座	11 / 6	34人
	後見制度について 学び舎えひめ 対象講座	12 / 11	27人

区 分	内 容	実 施 日	参加人数
東予コミカレ6 愛媛の博物館・ 研究機関講座	今治平野の古墳文化を探る 学び舎えひめ 対象講座	7 / 12	35人
	学芸員のコレクション探訪記—調査・展示・収集— 学び舎えひめ 対象講座	8 / 23	25人
	今注目の石鎚黒茶～昔から伝わる発酵茶の製造技術～ 学び舎えひめ 対象講座	9 / 20	22人
	白砂青松～大地の成り立ちからみる瀬戸内海の風景～ 学び舎えひめ 対象講座	12 / 6	22人

区 分	内 容	実 施 日	参加人数
東予コミカレ7 オンライン講座(愛 媛の文学・歴史講座)	十河信二～新幹線を走らせた信念の快男児～ 学び舎えひめ 対象講座	9 / 6	18人
	石鎚山系における生物多様性保全の取組みについて 学び舎えひめ 対象講座	11 / 13	12人

(2) 生涯学習情報の提供

東予地区における生涯学習活動を支援するため、インターネットを活用して、生涯学習に関する情報の提供を行うとともに、生涯学習に関する相談（愛媛県全域）に応じた。

生涯学習相談件数 37件

(3) 施設の提供

生涯学習活動の拠点施設として、多目的ホール、第1研修室、第2研修室、多目的ホールなどの施設を有料で開放した。

利用状況

区 分	件 数(件)	人 数(人)	利 用 内 容
多目的ホール、控室、 第1研修室、第2研修室、 オリエンテーションルーム、 会議室、企画展示室	285	11,514	ピアノ発表会、講演会、 会議、研修会、講習会等

(4) 図書室の開放

館内の図書室に、約10,000冊の生涯学習関係の図書を蔵しており閲覧、貸出を行っている。

利用状況

図書室入室者数(人)	図書貸出冊数(冊)
1,064人	33冊

Ⅲ 予 算

令和6年度及び7年度予算（当初予算）

平成21年度から指定管理者制度導入に伴い、県直営部門と指定管理者に分けて執行される。

令和6年度における指定管理委託料には、改修工事費用が加算された。

（令和6年度）

（千円）

区 分		当初予算額
指定管理者	委託料	272,987
	内 訳	博物館維持管理費
		展示事業費
		普及啓発事業費
		収集整理保存・調査研究補助事業費
県	博物館管理運営費	
	内 訳	博物館管理費
		展示事業費
		普及啓発事業費
		資料収集・整理・調査研究事業費
		魅力向上事業費
	「森に親しむ博物館」開催事業費	
県 合 計		13,992
総 計		286,979

（令和7年度）

（千円）

区 分		当初予算額
指定管理者	委託料	222,384
	内 訳	博物館維持管理費
		展示事業費
		普及啓発事業費
		収集整理保存・調査研究補助事業費
県	博物館管理運営費	
	内 訳	博物館管理費
		展示事業費
		普及啓発事業費
		資料収集・整理・調査研究事業費
		魅力向上事業費
	「森に親しむ博物館」開催事業費	
県 合 計		15,134
総 計		237,518

博物館機能

1 資料収集・整理・保存

- (1) 資料の収集
自然史（動物、植物、地学）、科学技術、愛媛の産業に関する資料等を広く総合的に収集する。
- (2) 資料の整理
資料のデータ整理・管理に導入したクラウド型データ管理システムを随時更新する。
- (3) 資料の保存管理
収集した資料は、それぞれの特性に応じた適切な方法を用いて処理し、恒久的な保存を図る。

2 調査研究

自然史、科学技術、愛媛の産業に関して、部門別に学術的な調査研究を行い、その成果を、展示を主とする教育普及活動に反映させるとともに、「愛媛県総合科学博物館研究報告」により公表する。

学芸課令和7年度研究テーマ

- | | |
|-------------|---|
| 学芸課長 | ・久松 洋二：展示体験装置及び各種教材装置類の開発と製作
愛媛県に關係する科学者技術者の調査 |
| 自然研究グループ | ・大西 剛：アサギマダラの移動に関する愛媛県の記録
博物館周辺の生き物に関する調査研究
・小林 真吾：愛媛県の植物・藻類・菌類相
希少野生動植物の保全
愛媛県における水域生物相の追跡調査
明治～昭和期に収集された愛媛の自然史資料
・山根 勝枝：愛媛県産化石に関する調査
鉱石資料（館蔵）に関する調査
・川又 明徳：愛媛県の植物・地衣類相
寒冷地性地衣類に関する分類学的研究
・鈴木 裕司：愛媛県の天文に関する資料の調査
愛媛県内の夜空の明るさの調査 |
| 科学・産業研究グループ | ・藤本 光章：サイエンスショー等の教材開発
・進 悦子：科学教材の開発と製作
ホログラム技術に関する調査
・篠原 功治：科学教育における実験と工作の開発研究
電気通信技術に関する資料の調査
・安永 由浩：愛媛の水産業や海上交通に関する調査研究
・三木 綾乃：生命分野に係る展示や教育普及活動の内容検討 |

3 展示活動

- (1) 常設展示
既設展示物の定期メンテナンスを実施するとともに、新着資料との入れ替えを逐次行う。
- ア 自然館
既設展示物の定期メンテナンスを実施するとともに、新着資料との入れ替えを逐次行う。

イ 科学技術館

科学技術の歴史資料や体験装置のメンテナンスを行うとともに、新規展示装置の設計、製作を行い、常設展示の更新を努める。

実験ショーについては、年に4回の頻度で実験内容を更新する。

ウ 産業館

定期メンテナンスを実施するとともに、資料の入れ替えを逐次行う。

エ 屋外展示

屋外展示物について常時点検を行い、整備に努める。

オ 実験ショー

会 場	3 F 実験ショーコーナー
内 容	さまざまな科学現象について実験をとおして紹介するとともに、来館者とのコミュニケーションをはかりながら科学を体験してもらう。
時 間	休 日 GW・お盆期間 13:00～ 15:00～

(2) 特別展示

常設展示だけでは展示できない自然や最新の科学技術などに関する項目の中から、話題性があり新鮮な興味を提供するテーマを選び実施する。

タイトル	「まんぷく！食品サンプル展」
期 間	令和7年4月19日(土)～6月22日(日)
会 場	企画展示室
趣 旨	日本では、誰もが目にする“食品サンプル”。今では、Japanese Pop Cultureのひとつとして、海外からも注目を集めています。しかし“食品サンプル”は、誕生以来誰も気づかないうちに、少しずつ進化し、その製法や役割、並べ方など、驚くほど変化しています。そんな“食品サンプル”の魅力や進化について、ただ展示品を見るだけではなく、実際に触れて、撮って、楽しみながら学ぶ展示となっています。
内 容	展示コーナー (1) 食品サンプル今昔 (2) 食品サンプルができるまで (3) 食品サンプル製作工場再現 (4) タッチパネル式食育 SAT システム体験コーナー (5) 食品サンプル盛り付けバイキング (6) 食品サンプルはどっち？本物あてクイズ (7) 大盛サンプルと撮影コーナー (8) 製作コンクール作品&食品サンプルパネル展示

タイトル	「もっと知りたい！史上最大のニホンカウソ展」
期 間	令和7年7月12日(土)～9月23日(火祝)
会 場	企画展示室
趣 旨	愛媛県の県獣・ニホンカウソは1975年に捕獲されたのを最後に、県内での確実な情報が途絶えています。県内最後の確認から50年の節目を機に、当館収蔵のニホンカウソ関連資料を一挙に展示し、動物としてのカウソや私たちとの関わり、生物の絶滅について理解を深めます。
内 容	展示コーナー (1) 1954年、大洲にて (2) ニホンカウソはどんな生き物だったの？ (3) 言い伝えの中のカウソ (4) ニホンカウソはなぜ減ったの？ (5) もうニホンカウソから分かることはないの？ (6) ニホンカウソと私たちの今、これから

(3) 企画展示等

学芸員の調査研究の成果発表や資料収集の公開等を行うため、企画展示室及びロビーを使用して展示を行う。

期 間	タ イ ト ル	内 容
令和7年9月20日(土) ～令和7年11月9日(日)	ロビー展 「森に親しむ博物館」	新規製作する生きた姿を再現した植物レプリカや植物標本等を展示し、森林環境の大切さについて紹介します。 あわせて県産材を使用した展示ケースやパネルを活用し、木目が見え温かみの感じられる展示コーナーとします。 (森林環境税充当事業)
令和7年10月18日(土) ～令和8年1月12日(月)	企画展 「宇宙望遠鏡が拓く深宇宙」	ハッブル宇宙望遠鏡の後継機であるジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡が撮影した写真を中心に、宇宙望遠鏡がとらえた深宇宙の姿を紹介します。最初の画像が公開されてから3年で蓄積された、ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡による息をのむほど精細な宇宙の姿をお楽しみください。
令和7年10月18日(土) ～令和8年1月12日(日)	企画展 「不思議なホログラム」	3次元画像を記録再生するホログラフィー技術と、その技術で撮影した立体写真ホログラムを紹介する。飛び出して見えるホログラム、動いて見えるホログラム、大型透過型ホログラムなど様々な作品に加え、お札やカード、折り紙など身近なところで利用されるホログラムも展示します。まるで本当にそこにあるかのように見えるホログラムの不思議な感覚を紹介します。
令和8年2月14日(土) ～令和8年4月5日(日)	企画展 「ゲノム」	ゲノムとは、ある生物が持つ遺伝情報全てのことです。ゲノムを解析すると、どのようなことが分かるのでしょうか。本展示では、ゲノムの概要や解析技術の進歩の歴史、ゲノム解析を用いた研究事例について楽しく紹介します。

4 教育普及事業

(1) 博物館講座の開催

- 応募方法 博物館HPで受け付ける。
博物館HPを利用できない場合は、返信用110円切手を添えてハガキにて応募していただく。
- 募集締切り 開催日の3週間前（博物館必着）までとする。応募者数が定員に満たない場合は、引き続き募集を継続する。
- 受講者の決定 応募者が定員を超えた場合、抽選により受講者を決定する。

	内 容
自然観察会	内容：①初夏のツガザクラ群落トレッキング、②初夏の樹木ウォッチング、③海辺の生き物ウォッチング、④関川の岩石・鉱物、⑤道後温泉でジオ散歩、⑥春をさがして野辺歩き 対象：小学生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要） 定員：①⑤・・・20名、②③⑥・・・30名、④・・・35名 回数：6講座（6回開催） 概要：生き物や地質を観察する。保険料・テキスト代を徴収する。

	内 容
親子自然教室	内容：①岩石標本をつくろう、②葉っぱ図鑑をつくろう 1、 ③葉っぱ図鑑をつくろう 2、④化石をしらべよう！植物化石 対象：①④小学生（3年生以上）とその保護者 ②③小学生とその保護者 定員：①④・・・各12組24名、②③・・・各6組12名 回数：4講座（6回開催） 概要：標本等を作成する。材料費・保険料・テキスト代を徴収する。
天体観望会	内容：①太陽と金星、②月と夏の星、③土星と秋の星、④環が消えた土星、 ⑤土星と流れ星、⑥木星と冬の星 対象：①制限なし、 ②③④⑤⑥小学生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要） 定員：①②⑤・・・制限なし、③④⑥・・・各15名 回数：6講座（6回開催） 概要：惑星や星座を観察する。②③④⑤⑥は保険料を徴収する。①は無料。
科学実験教室	内容：①身の回りの放射線測定体験教室、②サイエンスサバイバル術、 ③親子で実験！錬金術に挑戦しよう、④うんちを作ろう ⑤身近な食べ物からDNAを取り出そう 対象：①小学4年生～高校生とその保護者（小学生は保護者同伴） ②小学4年生～中学生 ③小学4年生～中学生とその保護者（子供1人に対し保護者1人の申込が必要） ④小学生～中学生（小学1年生～3年生は保護者同伴、保護者の申込も必要） ⑤小学3年生～中学生（小学生は保護者同伴、保護者の申込も必要） 定員：①・・・40名、②④・・・15名、③・・・6組12名、⑤・・・20名 回数：5講座（5回開催） 概要：科学実験をおこなう。 ②③④⑤は内容により材料費・保険料・テキスト代を徴収する。 ①は無料。
科学工作教室	内容：①ペットボトルロケットを作って飛ばそう！ ②ジャラジャラ！電動メダルゲームの製作 ③ゴム動力で動く！プルバック式レーシングカー ④楽しくおそうじ！電動ハンディークリーナーを作ろう ⑤電磁石で永久ゴマを作ろう（電子工作） 対象：①③小学3年生～中学生、②⑤小学4年生～中学生 ④小学生～中学生（小学1年生～3年生は保護者同伴、保護者の申込も必要） 定員：①③⑤・・・20名、②・・・10名、④・・・30名 回数：5講座（5回開催） 概要：科学工作をおこなう。材料費・保険料・テキスト代を徴収する。
大人のための科学講座	内容：①今だからこそ楽しい！中学高校の化学実験に再挑戦しよう ②植物の見分けポイント！ ③万華鏡ワークショップ「オイル式ツーミラー万華鏡を作ろう」 ④ピンホールカメラを作って撮影・現像しよう ⑤ステンドグラス苔テラリウムを作ろう ⑥あなたはお酒に強い？DNAから調べよう 対象：高校生以上 定員：①⑥・・・12名、②・・・15名、③⑤・・・20名、④・・・10名 回数：6講座（6回開催） 概要：科学について、より高度な解説や実験等をおこなう。 材料費・保険料・テキスト代を徴収。

	内 容
産 業 講 座	内容：①造船工場見学会、②手すき和紙とギルディングカードづくり ③宇和島九島でマダイ養殖について学ぼう ④製紙工場見学会、⑤簡単な水引細工や水引でメッセージカードを作ろう ⑥来島海峡の海上交通を学ぼう、⑦三津浜煉瓦のおはなし 対象：①小学4年生～高校生（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要） ②⑤小学生以上（小学1・2年生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要） ③⑥小学生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要） ④小学4年生以上（小学生は保護者同伴、保護者の申し込みも必要） ⑦小学4年生以上 定員：①⑥…40名、②…各12名、③⑦…20名、④…25名、⑤…15名 回数：7講座（8回開催） 概要：愛媛の産業についての現地見学又は体験。 内容により教材費・保険料・テキスト代を徴収。

(2) 印刷物の刊行

研究報告・年報・博物館だよりを発行する。

刊行物名	内 容
研 究 報 告	原著論文、総説、短報、資料、事業報告、技術報告（年1回：500冊）
年 報	施設概要、事業概要、利用状況、予算概要等（年1回：500冊）
博 物 館 だ よ り	博物館行事、研究成果の紹介等（年3回：各1,400部）

(3) 友の会育成支援

青少年及び一般成人の科学に関する知識の普及啓発を図ることを目的として友の会活動について育成・支援する。

5 プラネタリウムの運営

前半約20分は「季節の星座」生解説を行い、後半25分は「宇宙・天文」、「恐竜」などに関する番組（フルオート）を投影する。

(1) 投影回数・時間

	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目
平 日	10：30 (団体専用)	12：00	14：00	16：00	—
土 日 祝 G W 期 間 お 盆 期 間	10：30	12：00	13：30	15：00	16：30

※ 平日の1回目投影は、団体予約が入っている場合のみ行う。

(2) 番組名・投影期間

通 年	忍たま乱太郎の宇宙大冒険 with コズミックフロント☆NEXT やっぱ地球は回っていた!の段	令和7年4月1日～令和7年5月6日
通 年	ディノ・ダナ 図鑑から出たティラノサウルス	令和7年4月1日～令和7年7月19日
通 年	クジラが星に還る海	令和7年4月1日～令和7年12月31日
通 年	3-2-1 Liftoff! ハムスターのスペースアドベンチャー	令和7年4月22日～令和8年3月31日

通 年	発見！南極に恐竜がいた！	令和7年7月19日～令和8年3月31日
通 年	スターリースカイ	令和7年10月1日～令和8年3月31日
通 年	南極大陸 宇宙に開かれた窓	団体専用
通 年	むしむし星空大行進	団体専用
通 年	シークレット・オブ・ザ・サン	団体専用
通 年	星の森 ～ The Twinkle Story ～	団体専用
通 年	スター・オブ・ファラオ ～ファラオの星～	団体専用
通 年	ユニバース	団体専用
幼児番組	ほしのくにでみつけた たからもの	団体専用
学習番組	スタジオ444 -空のフシギをさぐれ！-	団体専用

(3) メンテナンスによる投影休止期間

令和7年6月24日(火)～25日(水)

令和7年9月25日(木)～26日(金)

令和8年2月17日(火)～18日(水)

生涯学習推進機能

生涯学習推進事業

東予コミュニティ・カレッジの開催支援

県生涯学習センターが企画する「東予コミュニティ・カレッジ」について、会場の提供をするなど、その支援を行う。

ア 東予コミカレ1

講 座 名	現代教養講座(放送県民大学)	概 要	愛媛大学をはじめとした先生方によるスクーリングと、その関連映像をご覧いただき、知識を深めていただきます。様々な分野に特化された先生方のお話を聞くことができます。
時 間 帯	13:30 ～ 15:30		
会 場	愛媛県総合科学博物館		
定 員	60名		
回 数	3回		

イ 東予コミカレ2

講 座 名	健康・福祉・介護講座	概 要	健やかで心豊かに生活するため、心と体の健康や社会福祉、介護について、幅広く学びます。
時 間 帯	13:30 ～ 15:00 13:30 ～ 15:30		
会 場	愛媛県総合科学博物館		
定 員	60名		
回 数	5回		

ウ 東予コミカレ3

講 座 名	ふるさとおもしろ講座	概 要	だれもが地域学に気軽に取り組めるように、地域学の魅力や調査方法をわかりやすく解説するとともに調査研究の成果を紹介します。
時 間 帯	13:30 ～ 15:30		
会 場	愛媛県総合科学博物館		
定 員	60名		
回 数	4回		

エ 東予コミカレ4

講 座 名	歴史講座	概 要	日本史上活躍した著名な人物や出来事を題材にして、その時代の特徴を学びます。
時 間 帯	13:30 ~ 15:00 13:30 ~ 15:30		
会 場	愛媛県総合科学博物館		
定 員	60名		
回 数	4回		

オ 東予コミカレ5

講 座 名	現代社会講座(法律・経済)	概 要	日頃の暮らしの中で起こる様々な事柄について学習することで、いざという時に活用できる知識、力を身につけることができます。
時 間 帯	13:30 ~ 15:30		
会 場	愛媛県総合科学博物館		
定 員	60名		
回 数	4回		

カ 東予コミカレ6

講 座 名	愛媛の博物館・研究機関講座	概 要	博物館・研究機関の専門分野を中心とした調査研究の内容を、詳しく分かりやすい解説により学び、博物館・研究機関ならではの視点から、ふるさと愛媛の魅力を探ります。
時 間 帯	13:30 ~ 15:00 13:30 ~ 15:30		
会 場	愛媛県総合科学博物館		
定 員	60名		
回 数	4回		

キ 東予コミカレ7

講 座 名	オンライン講座	概 要	※中予コミュニティ・カレッジで実施する講座を、会場にて同時ライブ中継します。
時 間 帯	13:30 ~ 15:00 13:30 ~ 15:30		
会 場	愛媛県総合科学博物館		
定 員	60名		
回 数	2回		

V 令和6年度の利用状況

1 施設利用データ

(1) 利用状況

(ア) 常設展示

〈指定管理者制度導入前（～平成21年3月31日）〉

※（ ）は、小・中学生無料化後の人数で、観覧料免除者数の内書である。

年 月	総入館者	a 大 人	a' 大 人 (団体)	c 小・中学生	c' 小・中学生 (団体)	① 有料観覧者 小 計	② 観覧料 免除者	③ 観覧者計
6年度計	170,727	79,203	5,247	27,697	2,612	114,759	15,494	130,253
7年度計	359,915	141,289	28,168	49,159	10,551	229,167	34,630	263,797
8年度計	257,341	85,742	18,517	28,761	10,711	143,731	47,337	191,068
9年度計	218,487	70,549	12,881	22,088	7,973	113,491	40,281	153,772
10年度計	221,161	62,145	12,940	21,742	7,931	104,758	36,445	141,203
11年度計	199,470	56,044	12,618	5,086	2,193	75,941	63,238	139,179
				(20,344)	(10,305)			
12年度計	166,483	48,864	8,433	(19,446)	(14,088)	57,297	62,765	120,062
13年度計	187,566	45,976	7,578	(27,331)	(13,074)	53,554	70,107	123,661
14年度計	176,477	43,087	7,212	(24,521)	(10,302)	50,299	61,705	112,004
15年度計	172,808	32,002	19,309	(22,945)	(13,273)	51,311	63,650	114,961
16年度計	174,730	41,555	6,226	(28,140)	(7,744)	47,781	66,037	113,818
17年度計	178,961	43,752	6,940	(28,565)	(8,122)	50,692	63,073	113,765
18年度計	179,482	45,202	6,914	(23,467)	(7,567)	52,116	62,376	114,492
19年度計	178,701	47,612	6,372	(24,248)	(7,230)	53,984	65,458	119,442
20年度計	169,171	40,665	6,442	(30,179)	(6,825)	47,107	63,457	110,564
累計	3,011,480	883,687	165,797	154,533	41,971	1,245,988	816,053	2,062,041
				(249,186)	(98,530)			

〈指定管理者制度導入後（平成21年4月1日～）〉

※ 平成21年4月1日より、65歳以上有料化後の人数である。

年 月	総入館者	a 大 人	a' 大 人 (団体)	b 65歳以上	b' 65歳以上 (団体)	① 有料観覧者 小 計	c 小・中学生	c' 小・中学生 (団体)	② 観覧料 免除者	③ 観覧者計
21年度計	236,017	67,113	4,424	4,550	875	76,962	(38,433)	(9,814)	87,726	164,688
22年度計	208,833	56,637	7,134	4,298	1,080	69,149	(26,279)	(14,508)	77,748	146,897
23年度計	208,998	58,702	5,079	4,585	807	69,173	(31,191)	(11,547)	77,859	147,032
24年度計	245,607	68,775	3,931	5,909	718	79,333	(42,014)	(13,848)	94,925	174,258
25年度計	213,887	58,904	3,353	5,292	752	68,301	(27,607)	(13,310)	75,648	143,949
26年度計	241,985	62,435	3,216	5,138	548	71,337	(27,647)	(11,788)	89,478	160,815
27年度計	245,698	65,634	2,921	5,895	759	75,209	(32,447)	(11,825)	88,802	164,011
28年度計	206,891	53,791	2,558	4,680	593	61,622	(22,743)	(11,703)	75,253	136,875
29年度計	200,213	49,890	2,602	4,604	357	57,453	(23,076)	(10,690)	65,688	123,141
30年度計	225,905	59,595	2,272	5,159	567	67,593	(26,826)	(26,826)	80,179	147,772
令和元年度計	212,484	61,198	2,322	5,905	501	69,926	(27,523)	(8,334)	82,781	152,707
2年度計	115,141	39,725	360	2,469	11	42,565	(13,248)	(7,193)	51,362	93,927
3年度計	116,950	38,269	270	2,456	80	41,075	(13,501)	(8,187)	49,944	91,019
4年度計	174,452	59,137	571	4,719	41	64,468	(21,883)	(4,313)	75,769	140,237
5年度計	179,973	58,018	951	5,446	289	64,704	(23,080)	(4,113)	75,172	139,876
6年度計	174,979	58,456	1352	5,859	257	65,924	(23,574)	(3,196)	71,525	137,449
総累計	6,219,493	1,799,966	209,113	76,964	8,235	2,290,782	154,533	41,971	2,035,912	4,326,694
						(670,258)	(269,725)			

〈令和6年度月別人数〉

年 月	総入館者	大 人	大 人 (団体)	65歳以上	65歳以上 (団体)	有料観覧者 小 計	小・中学生	小・中学生 (団体)	観覧料 免除者	観覧者計
令和6年4月	10,673	3,630	2	400	0	4,032	1,675	102	4,678	8,710
5月	17,060	5,612	237	487	25	6,361	2,446	661	7,207	13,568
6月	10,890	4,007	80	224	1	4,312	1,345	154	4,522	8,834
7月	16,916	5,776	42	513	24	6,355	2,344	374	7,325	13,680
8月	38,279	13,490	176	1,623	10	15,299	7,028	522	15,513	30,812
9月	18,259	6,495	107	452	30	7,084	2,173	725	7,482	14,566
10月	8,227	2,453	306	238	3	3,000	590	246	3,186	6,186
11月	11,279	2,321	161	290	106	2,878	624	152	4,667	7,545
12月	6,605	1,951	21	196	4	2,172	681	116	2,603	4,775
令和7年1月	14,055	4,957	7	652	22	5,638	1,954	0	5,066	10,704
2月	11,277	3,867	103	290	25	4,285	1,403	24	4,781	9,066
3月	11,459	3,897	110	494	7	4,508	1,311	120	4,495	9,003
年度計	174,979	58,456	1,352	5,859	257	65,924	23,574	3,196	71,525	137,449

(イ) プラネタリウム

〈指定管理者制度導入前（～平成21年3月31日）〉

年 月	総入館者	d 大 人	d' 大 人 (団体)	f 小・中学生	f' 小・中学生 (団体)	④ 小 計	⑤ 観覧料 免除者	⑥ 観覧者計
6年度計	170,727	26,234	2,397	10,407	1,864	40,902	10,557	51,459
7年度計	359,915	73,345	14,212	25,167	8,162	120,886	20,838	141,724
8年度計	257,341	56,383	11,507	18,016	8,646	94,552	32,719	127,271
9年度計	218,487	45,856	7,550	13,527	6,427	73,360	28,361	101,721
10年度計	221,161	39,976	7,643	12,635	6,351	66,605	22,012	88,617
11年度計	199,470	34,354	6,902	12,229	7,018	60,503	22,928	83,431
12年度計	166,483	30,459	4,356	11,026	6,488	52,329	18,983	71,312
13年度計	187,566	28,390	3,861	11,170	5,830	49,251	25,292	74,543
14年度計	176,477	24,962	3,335	9,965	4,707	42,969	21,172	64,141
15年度計	172,808	20,663	2,996	8,994	4,403	37,056	24,246	61,302
16年度計	174,730	19,409	3,116	8,461	3,465	34,451	22,904	57,355
17年度計	178,961	24,400	3,513	9,676	4,059	41,648	16,095	57,743
18年度計	179,482	22,415	3,674	9,115	4,228	39,432	17,674	57,106
19年度計	178,701	21,435	2,336	9,081	3,593	36,445	12,751	49,196
20年度計	169,171	19,155	2,114	7,753	2,915	31,937	14,629	46,566
累計	3,011,480	487,436	79,512	177,222	78,156	822,326	311,161	1,133,487

〈指定管理者制度導入後（平成21年4月1日～）〉

年 月	総入館者	d 大 人	d' 大 人 (団体)	e 65歳以上	e' 65歳以上 (団体)	f 小・中学生	f' 小・中学生 (団体)	④ 小 計	⑤ 観覧料 免除者	⑥ 観覧者計
21年度計	236,017	19,986	1,352	1,525	197	9,503	1,587	34,150	10,967	45,117
22年度計	208,833	44,703	4,020	3,255	1,002	15,004	5,592	73,576	26,544	100,120
23年度計	208,998	36,218	3,560	2,569	687	13,363	3,733	60,130	23,805	83,935
24年度計	245,607	35,308	2,628	2,736	712	14,732	5,332	61,448	28,147	89,595
25年度計	213,887	33,247	2,640	2,700	586	12,367	5,322	56,862	23,804	80,666
26年度計	241,985	34,342	1,883	2,576	495	14,342	3,414	57,052	27,353	84,405
27年度計	245,698	31,503	1,316	2,733	455	13,371	3,779	53,157	27,738	80,895
28年度計	206,891	28,833	1,342	2,286	281	12,437	3,748	48,927	27,148	76,075
29年度計	200,213	24,190	1,683	2,298	314	8,908	2,834	40,227	26,353	66,580
30年度計	225,905	25,658	1,398	2,273	347	10,901	3,552	44,129	27,450	71,579
令和元年度計	212,484	24,822	1,042	2,396	235	10,122	3,878	42,495	25,766	68,261
2年度計	115,141	12,076	65	851	12	4,121	1,392	18,517	13,629	32,146
3年度計	116,950	15,526	84	1,054	12	5,976	1,539	24,191	14,954	39,145
4年度計	174,452	21,064	359	1,778	27	9,148	2,293	34,669	18,659	53,328
5年度計	179,973	21,486	569	2,280	198	9,443	2,673	36,649	18,002	54,651
6年度計	174,979	14,564	565	1,553	84	6,691	2,165	25,622	12,232	37,854
総累計	6,219,493	910,962	104,018	34,863	5,644	347,651	130,989	1,534,127	663,712	2,197,839

※令和6年度 小中学生には、夏休み特別イベント「T-REXウォーキングショー in プラネタリウム」の有料幼児139名を含む。

〈令和6年度月別人数〉

年 月	総入館者	大 人	大 人 (団体)	65歳以上	65歳以上 (団体)	小・中学生	小・中学生 (団体)	小 計	観覧料 免除者	観覧者計
6年4月	10,673	1,279	0	160	0	678	102	2,219	1,261	3,480
5月	17,060	1,810	127	186	2	827	520	3,472	1,595	5,067
6月	10,890	1,270	39	90	1	446	68	1,914	1,267	3,181
7月	16,916	2,067	27	198	2	1,023	221	3,538	1,824	5,362
8月	38,279	3,778	99	561	7	2,366	314	7,125	2,438	9,563
9月	18,259	2,198	41	167	0	766	471	3,643	1,500	5,143
10月	8,227	1,014	195	62	0	255	229	1,755	1,143	2,898
11月	11,279	1,064	37	122	72	306	152	1,753	1,124	2,877
12月	6,605	84	0	7	0	24	88	203	80	283
7年1月	14,055	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	11,277	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	11,459	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度計	174,979	14,564	565	1,553	84	6,691	2,165	25,622	12,232	37,854

(2) 団体利用状況

区 分	団体数	人 数
小 学 校	52	2,653
中 学 校	15	1,138
小 中 合 同	2	35
中 高 一 貫 校	2	109
高 等 学 校	16	873
高等専門学校	4	287
特別支援学校	23	462
幼稚園・保育園	65	2,762
少 年 団 体	19	1,008
高 齢 者 団 体	8	223
福祉介護施設	32	922
そ の 他	18	689
合 計	256	11,161

(注) 少 年 団 体：子供会、愛護班、
少年野球チーム等
福祉介護施設：福祉や介護の施設・団体
高齢者団体：高齢者の施設・団体
そ の 他：婦人会、自治会、民間企業、
県主催事業等

2 貸館利用データ

部屋名	件数	人数
多目的ホール	67	7,599
控 室 1	42	—
控 室 2	49	—
第 1 研 修 室	85	3,320
第 2 研 修 室	43	595
合 計	286	11,514

* 控室1及び2の利用人数については、主たる貸館に含む。

3 臨時休館日

令和6年6月3日(月)・5日(水)……………プラネタリウムメンテナンス
令和6年9月25日(水)・26日(木)……………常設展示・プラネタリウムメンテナンス
令和7年2月18日(火)・19日(水)……………〃

VI 関係法規

博物館の登録に関する規則

制 定：昭和27年 8 月15日教育委員会規則第11号

最終改正：令和 5 年 3 月31日教育委員会規則第 3 号

博物館の登録に関する規則を次のように定める。

博物館の登録に関する規則

(登録)

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）（以下「法」という。）第11条の規定による登録を受けようとするものは、様式第1号による登録申請書を愛媛県教育委員会（以下「教育委員会」という。）に提出しなければならない。

(登録の審査)

第2条 教育委員会は、前条の規定による登録の申請があつたときは、当該申請に係る書類等の審査及び必要に応じて行う実地調査により、その内容を審査しなければならない。

(登録原簿)

第3条 教育委員会は、登録をしたときは遅滞なく様式第2号による博物館登録原簿に記載しなければならない。

(記載事項の変更)

第4条 登録申請書の記載事項を変更するときは、あらかじめ様式第3号により教育委員会に届け出なければならない。

(運営状況の定期報告)

第5条 博物館の設置者は、当該博物館の運営状況について、毎事業年度終了後3月以内に、様式第4号により教育委員会に報告しなければならない。

(博物館の廃止)

第6条 博物館を廃止したときは、その理由の生じた日から20日以内に様式第5号によつて教育委員会に届け出なければならない。

(公表)

第7条 教育委員会は、次に掲げる事項については、インターネットを利用して公表しなければならない。

- (1) 法第11条の規定による登録をしたとき
- (2) 法第15条第2項の規定による変更登録をしたとき
- (3) 法第19条第1項の規定による登録の取消しをしたとき
- (4) 法第20条第2項の規定による登録を抹消したとき

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和38年 5 月31日教育委員会規則第11号）

- 1 この規則は、昭和38年 6 月 1 日から施行する。
- 2 この規則施行前に、この規則による改正前の関係規則の規定により提出された申請書その他の書類は、この規則による改正後の規則の相当規定により提出されたものとみなす。

附 則（平成 6 年 9 月30日教育委員会規則第 7 号抄）

(施行期日)

- 1 この規則は、平成 6 年10月 1 日から施行する。

附 則（平成18年 9 月 1 日教育委員会規則第11号）

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則施行の際現に改正前のそれぞれの規則の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、

改正後のそれぞれの規則の様式の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

- 3 この規則施行の際現にある改正前のそれぞれの規則の様式の規定による書類の用紙は、平成18年度に限り使用することができる。

附 則（令和5年3月31日教育委員会規則第3号）

- 1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行前に発生した事項につき博物館法の一部を改正する法律（令和4年法律第24号）による改正前の博物館法（昭和26年法律第285号）第13条第1項又は第15条第1項の規定により届け出なければならないこととされている事項の届出については、なお従前の例による。

様式第1号（第1条関係）博物館登録申請書

様式第2号（第3条関係）博物館登録原簿

様式第3号（第4条関係）博物館登録申請事項変更届

様式第4号（第5条関係）博物館運営状況報告書

様式第5号（第6条関係）博物館廃止届

愛媛県県立博物館設置条例

制 定：昭和45年3月20日条例第7号

最終改正：令和2年3月27日条例第9号

愛媛県県立博物館設置条例を次のように公布する。

愛媛県県立博物館設置条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、県立博物館を別表第1のとおり設置する。
一部改正〔平成20年条例24号〕

(分館)

第2条 県立博物館に、必要に応じて分館を設置することができる。

追加〔昭和54年条例19号〕

(指定管理者に管理を行わせることができる県立博物館)

第3条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定に基づき知事が指定する法人その他の団体(以下「指定管理者」という。)に管理を行わせることができる県立博物館は、別表第2のとおりとする。

追加〔平成20年条例24号〕、一部改正〔令和2年条例9号〕

(指定管理者の指定)

第4条 指定管理者の指定を受けようとする法人その他の団体は、その指定を受けて管理を行おうとする県立博物館ごとに、申請書に管理計画書その他知事が定める書類を添えて、知事が定める期日までに知事に提出しなければならない。

2 知事は、前項の申請の手続について、あらかじめ、公表しなければならない。

3 知事は、第1項の規定による申請があつたときは、当該申請に係る県立博物館の管理を適正かつ確実に行うことができると認められる法人その他の団体であつて、当該県立博物館の設置の目的を最も効果的かつ効率的に達成することができると認められるものを選定し、議会の議決を経て、指定管理者として指定するものとする。

追加〔平成20年条例24号〕、一部改正〔令和2年条例9号〕

(指定の公示等)

第5条 知事は、指定管理者の指定をしたとき、又はその指定を取り消し、若しくは管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたときは、当該指定管理者の名称、住所その他の知事が定める事項を公示しなければならない。

2 指定管理者は、その名称、住所その他の知事が定める事項を変更しようとするときは、変更しようとする日の2週間前までに、その旨を知事に届け出なければならない。

3 知事は、前項の規定による届出があつたときは、その旨を公示しなければならない。

追加〔平成20年条例24号〕、一部改正〔令和2年条例9号〕

(指定管理者の原状回復義務等)

第6条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は指定を取り消されたときは、その管理をしなくなった県立博物館を直ちに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

2 知事は、指定管理者が故意又は過失により県立博物館を損傷し、又は滅失した場合は、原状回復又は損害賠償を命ずることができる。

追加〔平成20年条例24号〕、一部改正〔令和2年条例9号〕

(雑則)

第7条 県立博物館の運営に関し必要な事項は、規則で定める。

一部改正〔昭和54年条例19号・平成20年24号・令和2年9月〕

附 則

1 この条例は、昭和45年4月1日から施行する。

2 愛媛県立博物館設置条例(昭和36年愛媛県条例第26号)は、廃止する。

附 則（昭和50年12月23日条例第36号）

この条例は、昭和51年1月1日から施行する。

附 則（昭和54年3月16日条例第19号）

1 この条例は、昭和54年4月1日から施行する。

2 愛媛県立美術館使用料条例（昭和45年愛媛県条例第9号）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附 則（平成10年3月24日条例第15号抄）

（施行期日）

1 この条例中、第2条（中略）の規定は平成10年4月1日から（中略）施行する。

附 則（平成12年3月24日条例第30号）

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月26日条例第10号）

この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月25日条例第37号）

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月28日条例第24号）

この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、第2条中愛媛県立博物館設置条例第3条を同条例第7条とし、同条例第2条の次に4条を加える改正規定（同条例第4条及び第5条に係る部分に限る。）は公布の日から（中略）施行する。

附 則（平成20年10月17日条例第60号）

この条例中、（中略）第2条の規定は平成21年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月27日条例第9号抄）

（施行期日）

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

別表第1（第1条関係）

名 称	位 置
愛媛県総合科学博物館	新居浜市
愛媛県歴史文化博物館	西予市
愛媛県美術館	松山市

一部改正〔昭和50年条例36号・平成10年15号・12年30号・16年10号・17年37号・20年24号・60号〕

別表第2（第3条関係）

愛媛県総合科学博物館
愛媛県歴史文化博物館

追加〔平成20年条例24号〕

愛媛県総合科学博物館管理条例

制 定：平成20年3月28日条例第26号

最終改正：令和7年3月25日条例第8号

愛媛県総合科学博物館管理条例を次のように公布する。

愛媛県総合科学博物館管理条例

(趣旨)

第1条 この条例は、愛媛県総合科学博物館（以下「博物館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(業務)

第2条 博物館は、博物館法（昭和26年法律第285号）第3条に規定する事業に係る業務を行う。

2 前項に定めるもののほか、博物館は、次に掲げる業務を行う。

- (1) プラネタリウムの運営に関する事。
- (2) 生涯学習の促進及び援助に関する事。
- (3) 施設の提供に関する事。
- (4) その他必要な業務

(指定管理者が行う業務)

第3条 博物館の指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき、知事が指定する法人その他の団体をいう。以下「指定管理者」という。）は、次に掲げる業務を行わなければならない。

- (1) 前条第1項に規定する業務のうち知事が定める業務の実施に関する事。
- (2) 前条第2項各号に掲げる業務の実施に関する事。
- (3) 博物館の利用の許可に関する事。
- (4) 博物館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）の収受に関する事。
- (5) 博物館の利用の促進に関する事。
- (6) 博物館の施設、附属設備及び備品（以下「施設等」という。）の維持管理に関する事。
- (7) その他知事が定める業務

一部改正〔令和2年条例9号〕

(開館時間等)

第4条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、別表第1の1の項から6の項までに掲げる施設は、午前9時から午後10時まで利用することができる。

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、第1項の開館時間及び前項の利用時間を変更することができる。

一部改正〔平成26年条例9号・令和2年9号〕

(休館日)

第5条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎月の第1月曜日以外の月曜日及び当該第1月曜日の翌日（これらの日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、当該休日の直後の休日でない日）

- (2) 1月1日から3日まで及び12月29日から31日まで

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、臨時に休館し、又は休館日に博物館を利用させることができる。

3 第1項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、同項の休館日を変更することができる。

一部改正〔令和2年条例9号〕

(禁止行為)

第6条 博物館を利用する者は、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、知事の許可を受けた場合は、この限りでない。

- (1) 寄附の募集
- (2) 爆発物その他の危険物の持込み
- (3) 行商その他これに類する行為
- (4) 宣伝その他これに類する行為
- (5) 広告物の表示若しくは配布又は広告物を掲出する物件の設置

2 前項の規定は、第8条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）の当該許可に係る行為については、適用しない。

一部改正[令和2年条例9号]

（入館の制限等）

第7条 指定管理者は、博物館を利用する者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、博物館への入館を禁じ、その利用を制限し、又は退館を命ずることができる。博物館の管理運営上やむを得ない理由があるときも、同様とする。

- (1) 前条第1項の規定に違反し、又は違反するおそれがあるとき。
- (2) 博物館の秩序を乱し、又は乱すおそれがあるとき。
- (3) 博物館の施設等又は博物館が収集し、保管し、若しくは展示する資料（以下「博物館資料」という。）を滅失し若しくは損傷し、又は滅失し若しくは損傷するおそれがあるとき。
- (4) 指定管理者の職員の指示に従わないとき。

（利用の許可）

第8条 博物館の展示室又はプラネタリウムを観覧しようとする者及び次に掲げる施設等を利用しようとする者は、指定管理者の定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。

- (1) 別表第1に掲げる施設
- (2) 指定管理者が定める附属設備及び備品

2 指定管理者は、前項の許可をする場合において、博物館の管理運営上又は公益上必要があると認めるときは、その許可に条件を付することができる。

（許可の基準）

第9条 指定管理者は、博物館の展示室又はプラネタリウムを観覧しようとする者及び前条第1項各号に掲げる施設等を利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、同項の許可をしないものとする。博物館の管理運営上やむを得ない理由があるときも、同様とする。

- (1) 博物館の秩序を乱すおそれがあるとき。
- (2) 博物館の施設等又は博物館資料を滅失し、又は損傷するおそれがあるとき。

（許可の取消し等）

第10条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その許可を取り消し、又は利用を制限し、若しくは停止することができる。博物館の管理運営上やむを得ない理由があるときも、同様とする。

- (1) この条例に違反し、又は指定管理者の職員の指示に従わないとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により第8条第1項の許可を受けたとき。
- (3) 風俗を乱すおそれがあるとき。
- (4) 第8条第2項の規定により付された条件に違反したとき。

（利用料金の納付）

第11条 利用者は、利用料金を指定管理者に納付しなければならない。

2 利用料金は、博物館の利用の前に納付しなければならない。ただし、指定管理者が必要と認めるときは、後納させ、又は分納させることができる。

3 利用料金は、指定管理者の収入とする。

（利用料金の額）

第12条 利用料金の額は、別表第1及び別表第2に定める額の範囲内で指定管理者が定める額とする。

2 前項の規定にかかわらず、特別の展示に係る利用料金の額は、当該特別の展示に要する費用を勘案して指定管理者がその都度定める額とする。

3 前2項に定めるもののほか、指定管理者が定める附属設備及び備品の利用料金の額は、実費を勘案して

指定管理者が定める額とする。

- 4 指定管理者は、利用料金の額を定めようとするときは、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。
その額を変更しようとするときも、同様とする。

- 5 指定管理者は、前項の承認を受けたときは、利用料金の額を公表しなければならない。

一部改正〔令和2年条例9号〕

（利用料金の減免）

第13条 指定管理者は、次に掲げる者に対しては、別表第2に掲げる利用料金を免除しなければならない。

- (1) 教育課程に基づく学習活動として、プラネタリウムを観覧する県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部若しくは中学部の児童又は生徒及びこれらの引率者、展示室又はプラネタリウムを観覧する県内の高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の生徒及びその引率者並びに展示室を観覧する県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部若しくは中学部の児童又は生徒の引率者
 - (2) 身体に障害を有する者で、本人又はその保護者が身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条に規定する身体障害者手帳の交付を受けているもの及びその介護者
 - (3) 療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）の交付を受けている者及びその介護者
 - (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者
- 2 前項各号に掲げる者が同項の利用料金の免除を受けようとする場合は、同項各号に該当することを証する書類を提示しなければならない。
- 3 指定管理者は、第1項に掲げるもののほか、次の各号のいずれかに該当するときは、利用料金を減免することができる。
- (1) 県又は指定管理者が博物館の目的を達成するために利用するとき。
 - (2) 知事が特に必要があると認めて指示するとき。
 - (3) 指定管理者が博物館の施設等を利用する者の間の均衡を失しない範囲内において適当と認めるとき。

一部改正〔平成26年条例9号・令和2年9号〕

（利用料金の不還付）

第14条 指定管理者が既に収受した利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、この限りでない。

- (1) 天災その他利用者の責めに帰することができない理由により利用が不能となったとき。
- (2) 前号に掲げるもののほか、指定管理者がやむを得ないと認めたとき。

（博物館資料の特別利用）

第15条 博物館資料の閲覧、撮影、複写、模写、模造等又はこれらにより得たものの展示若しくは刊行物への掲載（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

- 2 知事は、前項の許可をする場合において、博物館資料の管理上必要があると認めるときは、その許可に条件を付することができる。

一部改正〔令和2年条例9号〕

（特別利用料の納付）

第16条 営利を目的として博物館資料の特別利用をしようとする者で前条第1項の許可を受けたもの（以下「特別利用者」という。）は、当該特別利用に係る使用料（以下「特別利用料」という。）を納付しなければならない。

- 2 特別利用料は、博物館資料の特別利用の前に納付しなければならない。ただし、知事が必要と認めるときは、後納させることができる。

一部改正〔令和2年条例9号〕

（特別利用料の額）

第17条 特別利用料の額は、博物館資料1点の特別利用1回につき、5,800円の範囲内で知事が定める額とする。

一部改正〔平成26年条例9号・令和元年3号・2年9号・3年4号・7年8号〕

(特別利用料の減免)

第18条 知事は、特に必要と認める者に対しては、その特別利用料を減免することができる。

(特別利用料の不還付)

第19条 既に納付した特別利用料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、この限りでない。

- (1) 天災その他特別利用者の責めに帰することができない理由により特別利用が不能となったとき。
- (2) 特別利用者が知事が定める日までに特別利用の取消しを申し出て、知事がやむを得ないと認めたとき。

一部改正〔令和2年条例9号〕

(博物館資料の館外貸出し)

第20条 知事は、博物館の業務に支障がない場合で、自然史等に関する学術上の調査研究又は啓発のために特に必要と認められ、かつ、博物館資料の取扱い上の安全が確認できるときは、博物館資料の館外貸出しを行うことができる。

2 前項の規定により館外貸出しを受けようとする者は、知事の許可を受けなければならない。当該館外貸出しの許可を受けた者がその期間を延長しようとするときも、同様とする。

3 知事は、前項の許可をする場合において、博物館資料の管理上必要があると認めるときは、その許可に条件を付することができる。

4 知事は、館外貸出期間中であっても、館外貸出しを許可した博物館資料の返還を求めることができる。

一部改正〔令和2年条例9号〕

(損害賠償等)

第21条 自己の責めに帰すべき理由により、博物館の施設等又は博物館資料を滅失し、又は損傷した者は、原状回復をし、又はそれによって生じた損害を賠償しなければならない。

(知事による管理)

第22条 博物館の管理を指定管理者が行うことができないときは、知事は、博物館の管理に係る業務を行うものとする。

2 第11条第1項及び第2項、第12条第1項から第3項まで、第13条(第3項第1号及び第3号を除く。)並びに第14条の規定は、前項の場合に準用する。この場合において、次の表の左欄に掲げる規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句に読み替えるものとする。

読み替える規定	読み替えられる字句	読み替える字句
第11条の見出し	利用料金	使用料
第11条第1項	利用者	博物館を利用する者(以下「利用者」という。)
	利用料金	使用料
	指定管理者に納付しなければ	納付しなければ
第11条第2項	利用料金	使用料
	指定管理者	知事
	後納させ、又は分納させる	後納させる
第12条の見出し	利用料金	使用料
第12条第1項	利用料金	使用料
	指定管理者	知事
第12条第2項	利用料金	使用料
	指定管理者	知事
第12条第3項	指定管理者が定める附属設備	博物館の附属設備
	利用料金	使用料
	指定管理者が定める額	知事が定める額
第13条の見出し	利用料金	使用料
第13条第1項各号列記 以外の部分	指定管理者	知事
	利用料金	使用料
	免除しなければならない	免除するものとする

第13条第2項	利用料金	使用料
第13条第3項各号列記以外の部分	指定管理者	知事
	利用料金	使用料
第13条第3項第2号	認めて指示する	認める
第14条の見出し	利用料金	使用料
第14条各号列記以外の部分	指定管理者が既に収受した利用料金	既に納付した使用料
第14条第2号	前号に掲げるもののほか、指定管理者	別表第1に掲げる施設の利用者が知事の定める日までに利用の取消しを申し出て、知事

一部改正 [令和2年条例9号]

(補則)

第23条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、知事が定める。

一部改正 [令和2年条例9号]

附 則

1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年3月28日条例第9号抄)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。(後略)

附 則 (平成28年3月29日条例第29号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (令和元年7月9日条例第3号抄)

1 この条例は、令和元年10月1日から施行する。

附 則 (令和2年3月27日条例第9号抄)

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

附 則 (令和3年3月26日条例第4号抄)

1 この条例は、令和3年4月1日から施行する。(後略)

規 則 (令和7年3月25日条例第8号抄)

1 この条例は、令和7年4月1日から施行する。(後略)

別表第1 (第4条、第8条、第12条関係)

区 分	単 位	金 額
1 多目的ホール	1時間につき	3,270円
2 控室	1室1時間につき	240円
3 研修室	1室1時間につき	1,720円
4 ミーティングルーム	1時間につき	950円
5 会議室	1時間につき	880円
6 オリエンテーションルーム	1時間につき	1,520円
7 企画展示室	1時間につき	3,350円

備考1 利用時間に1時間未満の端数があるときは、その端数を1時間として計算する。

2 利用時間が1時間未満のときは、1時間として計算する。

一部改正 [平成26年条例9号・令和元年3号・7年8号]

別表第2 (第12条、第13条関係)

1 展示室観覧料

区分	単位	金額
15歳以上の者(中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部の生徒を除く。)	1人1回につき	840円

2 プラネタリウム観覧料

区分	単位	金額
15 歳以上の者（中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部の生徒を除く。）	1 人 1 回につき	840円
小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部若しくは中学部の児童又は生徒	1 人 1 回につき	550円

一部改正 [平成26年条例 9 号・28年29号・令和元年 3 号・3 年 4 号・7 年 8 号]

愛媛県総合科学博物館管理規則

制定：令和2年3月27日規則第13号

改正：令和7年3月25日規則第5号

愛媛県総合科学博物館管理規則を次のように定める。

愛媛県総合科学博物館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、愛媛県総合科学博物館（以下「博物館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(特別利用の許可の申請等)

第2条 愛媛県総合科学博物館管理条例（平成20年愛媛県条例第26号。以下「条例」という。）第15条第1項の規定による博物館資料の特別利用の許可を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館資料特別利用許可申請書（様式第1号）を館長に提出しなければならない。この場合において、当該博物館資料が寄託されたものであるときは、同申請書に、当該博物館資料の寄託者の承諾書を添付しなければならない。

2 館長は、前項の規定による特別利用の許可の申請があった場合において、特別利用が適当であると認めるときは、特別利用の許可を決定し、当該申請をした者に対し、愛媛県総合科学博物館資料特別利用許可書（様式第2号）を交付するものとする。

(特別利用料の額)

第3条 条例第17条に規定する知事が定める特別利用料の額は、別表に掲げるとおりとする。

(特別利用料の減免)

第4条 知事は、条例第18条の規定に基づき、次に掲げる者に対しては、特別利用料を免除する。

(1) 自然史、科学技術及び産業史に関する教育、学術上の調査研究又は啓発のために特別利用をする者で、知事が必要と認めるもの

(2) 博物館の広報に関し効果があると認められる用途に供することを目的として特別利用をする者

2 知事は、前項に定めるもののほか、必要と認めるときは、条例第18条の規定に基づき、特別利用料を免除し、又はその一部を減額することがある。

(特別利用料の還付)

第5条 条例第19条第2号に規定する知事が定める日は、利用日の前日とする。

第6条 条例第19条ただし書の規定により、知事は、次の各号に掲げる場合においては、それぞれ当該各号に定める額を還付する。

(1) 条例第19条第1号に該当する場合 特別利用料の全額

(2) 条例第19条第2号に該当する場合 特別利用料の50パーセントに相当する額

2 前項の規定により特別利用料の還付を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館資料特別利用料還付申請書（様式第3号）を知事に提出しなければならない。

(館外貸出しの許可の申請等)

第7条 条例第20条第2項の規定による博物館資料の館外貸出しの許可を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館資料館外貸出許可申請書（様式第4号）を館長に提出しなければならない。この場合において、当該博物館資料が寄託されたものであるときは、同申請書に、当該博物館資料の寄託者の承諾書を添付しなければならない。

2 館長は、前項の規定による館外貸出しの許可の申請があった場合において、館外貸出しが適当であると認めるときは、館外貸出しの許可を決定し、当該申請をした者に対し、愛媛県総合科学博物館資料館外貸出許可書（様式第5号）を交付するものとする。

3 博物館資料の館外貸出期間は、50日以内とする。ただし、館長がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

4 博物館資料の館外貸出しを受けた者は、その館外貸出期間を延長しようとするときは、愛媛県総合科学博物館資料館外貸出期間延長申請書（様式第6号）を館長に提出しなければならない。

5 館長は、前項の規定による館外貸出期間の延長の申請があった場合において、やむを得ない理由があると認めるときは、館外貸出期間の延長を決定し、当該申請をした者に対し、愛媛県総合科学博物館資料館

外貸出期間延長決定書（様式第7号）を交付するものとする。

（資料の寄贈又は寄託）

第8条 博物館は、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 博物館に資料を寄贈しようとする者は愛媛県総合科学博物館資料寄贈申出書（様式第8号）を、資料を寄託しようとする者は愛媛県総合科学博物館資料寄託申請書（様式第9号）を館長に提出しなければならない。

3 館長は、前項の規定による寄贈の申出又は寄託の申請があった場合において、当該寄贈の申出又は寄託の申請に係る資料の受入れが適当であると認め、当該資料の寄贈又は寄託を受けたときは、寄贈者又は寄託者に対し、愛媛県総合科学博物館寄贈資料受領証（様式第10号）又は愛媛県総合科学博物館寄託資料預り証（様式第11号）を交付しなければならない。

4 寄託を受ける資料の取扱いについては、館長が寄託しようとする者と協議して定める。

5 県及び指定管理者は、寄託を受けた資料の不可抗力による損害に対しては、その責めを負わないものとする。

（補則）

第9条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和3年3月26日規則第14号抄）

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和7年3月25日規則第5号抄）

1 この規則は、令和7年4月1日から施行する。（後略）

別表（第3条関係）

特別利用料

区分	単位	金額
閲覧	1点1回につき	580円
模写・模造	1点1回につき	5,800円
撮影・複写	1点1回につき	5,800円
原版使用	1点1回につき	5,800円

注1 小型の物で1組又は1箱となっているものは、1組又は1箱を1点とする。

2 多数の物で1そろい又は1具となっているものは、数量に応じて数点に分けるものとする。

3 その他の資料は、各個を1点とする。

一部改正〔令和3年規則14号・令和7年規則5号〕

様式第1号（第2条関係） 愛媛県総合科学博物館資料特別利用許可申請書

様式第2号（第2条関係） 愛媛県総合科学博物館資料特別利用許可書

様式第3号（第6条関係） 愛媛県総合科学博物館特別利用料還付申請書

様式第4号（第7条関係） 愛媛県総合科学博物館資料館外貸出許可申請書

様式第5号（第7条関係） 愛媛県総合科学博物館資料館外貸出許可書

様式第6号（第7条関係） 愛媛県総合科学博物館資料館外貸出期間延長申請書

様式第7号（第7条関係） 愛媛県総合科学博物館資料館外貸出期間延長決定書

様式第8号（第8条関係） 愛媛県総合科学博物館資料寄贈申出書

様式第9号（第8条関係） 愛媛県総合科学博物館資料寄託申請書

様式第10号（第8条関係） 愛媛県総合科学博物館寄贈資料受領証

様式第11号（第8条関係） 愛媛県総合科学博物館寄託資料預り証

愛媛県総合科学博物館処務規程

制 定：平成30年4月1日訓令第9号

最終改正：令和6年4月1日訓令第5号

スポーツ・文化部

東予地方局

総合科学博物館

愛媛県総合科学博物館処務規程を次のように定める。

愛媛県総合科学博物館処務規程

(趣旨)

第1条 この訓令は、愛媛県総合科学博物館（以下「博物館」という。）の処務に関し必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第2条 館長は、知事の命を受け、館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 副参事は、上司の命を受け、重要な事務を処理する。

3 課長は、上司の命を受け、課務を掌理し、部下職員を指揮監督する。

4 副主幹は、上司を補佐するとともに、上司の名を受け、特定の事務を管理し、当該事務を担当する職員の指導及び育成を行う。

5 専門幹は、上司の名を受け、特に高度の知識又は経験を必要とする専門事項を処理し、当該専門事項に係る事務を分担する職員の指導及び育成を行う。

6 専門員は、上司の命を受け、専門事項について絶えず調査研究を行い、当該専門事項に係る事務を分担する職員を指導し、かつ、高度の専門事項を自ら処理する。

7 専門学芸員は、上司の命を受け、専門事項について絶えず調査研究を行い、博物館資料の収集、整理、保管及び展示、特に高度な調査研究、啓発その他これらと関連する事業についての専門的事項を処理する。

8 担当係長は、上司の命を受け、担当事務を管理する。

9 主任は、上司の命を受け、特定の事務を処理する。

10 主任学芸員は、上司の命を受け、博物館資料の収集、整理、保管及び展示、高度な調査研究、啓発その他これらと関連する事業についての専門的事項を処理する。

11 学芸員は、上司の命を受け、博物館資料の収集、整理、保管及び展示、調査研究、啓発その他これらと関連する事業についての専門的事項を処理する。

12 主事及びその他の職員は、上司の命を受け、館務に従事する。

(専決事項)

第3条 館長の専決処理すべき事項は、次のとおりとする。ただし、異例又は重要と認められるものについては、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。

(1) 文書の管理に関すること。

(2) 館務に関し職名又は館名で文書を施行すること。

(3) 公文書の公開に関すること（公文書の公開の請求（申請を含む。）に対する決定又は当該請求に係る不作為についての審査請求（不服の申出を含む。）に関するものを除く。）。

(4) 個人情報取扱事務の登録に関すること。

(5) 個人情報の開示、訂正及び利用停止に関すること（個人情報の開示、訂正及び利用停止の請求に対する決定又はこれらの請求に係る不作為についての審査請求に関するものを除く。）。

(6) 個人情報ファイル簿の作成及び公表に関すること。

(7) 行政機関等匿名加工情報の作成に関すること。

(8) 所属職員の休暇、育児休業等その他服務に関すること。

(9) 所属職員の出張（館長の海外出張を除く。）に関すること。

(10) 所属職員の事務分掌に関すること。

(11) 1,000万円未満の税外収入の決定（寄附の受入れの決定を除く。）に関すること。

(12) 1件500万円未満の支出を伴う事件（工事を除く。）の決定及びその執行に関すること。

- (13) 博物館の使用料の徴収、減免及び還付に関する事。
 - (14) その他軽易又は常例に属する事務の執行に関する事。
- (代決)

第4条 館長が不在のときは、学芸課長が代決する。

- 2 前項の規定により代決した事務で重要なものは、後閲を受けなければならない。
- (簿冊の整備)

第5条 博物館は、必要な簿冊を備え付けて、整理しておかななければならない。

(他の規程の準用)

第6条 この訓令に定めるもののほか、博物館の処務については、愛媛県処務細則（昭和29年愛媛県訓令第5号）の例による。

附 則

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則（令和2年3月27日訓令第2号）

この訓令は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和5年3月31日訓令第2号）

この訓令は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和6年4月1日訓令第5号）

この訓令は、公布の日から施行する。

愛媛県総合科学博物館管理運営規程

伊予鉄総合企画株式会社

(趣旨)

第1条 この規程は、伊予鉄総合企画株式会社（以下、当社という。）が愛媛県総合科学博物館（以下「博物館」という。）を管理運営するにあたり、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間等)

第2条 博物館の開館時間は、次の通りとする。

- (1) 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 夜間イベント（午後5時30分から午後9時30分までの間に、当社が来館者を対象に実施する博物館の事業をいう。）を実施する日については、実施に要する時間として当社が決定した時間。
- 2 前項各号の規定にかかわらず、別表第1の1の項から3の項までに掲げる施設並びに別表第2に掲げる附属設備及び備品は、午前9時から午後10時まで利用することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎月の第1月曜日以外の月曜日及び当該第1月曜日の翌日（これらの日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、当該休日の直後の休日でない日）
- (2) 1月1日及び12月29日から同月31日まで（以下「年末年始」という。）
- (3) 第1号にかかわらず、学校長期休業期間（春期、夏期に小学校及び中学校が長期的に休業する期間で、年末年始を除き、標準的な休業期間を勘案して当社が決定する期間）及びゴールデンウィーク期間（4月下旬から5月上旬に掛けて祝日及び日曜日が集中する期間で、日程を勘案して当社が決定する期間）に含まれる毎月の第1月曜日以外の月曜日及び当該第1月曜日の翌日は休館日としない。
- (4) 事前に愛媛県と協議の上、博物館の管理運営上必要であると認められる場合は、休館日を変更することができる。

(禁止行為)

第4条 博物館を利用する者（以下「利用者」という。）は、愛媛県総合科学博物館管理条例（平成20年愛媛県条例第26号。以下「条例」という。）第6条に定めるもののほか、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 所定の場所以外で飲食し、または喫煙すること。
- (2) 所定の場所以外で焚き火をすること。
- (3) 所定の場所以外に車両を乗り入れること。
- (4) 立入が禁止されている区域に立ち入ること。
- (5) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となるおそれがある物品又は動物の類を携帯すること。
- (6) 承認を得ないで、博物館の施設、附属設備及び備品（以下「施設等」という。）に特別の設備をし、又はその原状を変更すること。
- (7) みだりに共用の場所に物品を放置すること。
- (8) 前各号に定めるもののほか、博物館の秩序を乱すような行為をすること。

(入館等の制限)

第5条 当社は、利用者が条例第7条に定めるもののほか、前条の規定に違反し、又は違反するおそれがあると認めるときは、博物館への入館を禁じ、その利用を制限し、又は退館を命ずることが出来る。

(利用又は観覧の許可を要する施設等)

第6条 条例8条第1項の規定に基づき、利用又は観覧に当たり当社の許可を要する施設等は、別表第1、別表第2及び別表第3に掲げる施設等とする。

(施設の利用の許可)

第7条 前条の規定に基づき、別表第1及び別表第2に掲げる施設等の利用の許可を受けようとする者は、それぞれ次の各号に定める期間内に、愛媛県総合科学博物館施設利用許可申請書(様式第1号。以下「利用許可申請書」という。)を当社に提出し、その許可を受けなければならない。

- (1) 別表第1に掲げる施設のうち、多目的ホール、控室及び企画展示室 利用日の1年前から7日前まで
 - (2) 別表第1に掲げる施設のうち、研修室、会議室、オリエンテーションルーム 利用日の6月前から2日前まで
- 2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するときは、所定の期間外に利用許可申請書の提出を認めるものとする。
- (1) 国又は地方公共団体が利用する場合
 - (2) 大規模な行事等のため、所定の期間前から準備を始める必要があると認められる場合
 - (3) その他当社が特に理由があると認める場合
- 3 当社は、利用許可申請書の受付を、開館日(第3条に規定する休館日以外の日をいう。以下同じ。)の開館時間の間に行うものとする。
- 4 受付は、原則として利用許可申請書が提出された順序により行うものとし、同一時期の利用許可申請書が同時に2人以上の者から提出されたときは、抽選により、その順序を決定する。
- 5 当社は、利用許可申請書の提出があった場合は、その内容を審査し、条例第9条各号に該当すると認める場合、又は博物館の管理運営上やむを得ない理由がある場合を除き、当該申請書を受理するものとする。
- 6 当社は、前項の規定により受理した利用許可申請書について、原則として利用許可申請書を受理した順序により、利用の許可を決定するものとする。
- 7 当社は、利用の許可に当たり、博物館の管理運営上又は公益上必要があると認めるときは、許可に条件を付することができる。
- 8 当社は、第6項の規定により利用の許可を決定したときには、当該申請をした者に対し、愛媛県総合科学博物館利用許可書(様式第2号。以下「利用許可書」という。)を交付する。
- なお、利用許可書は、利用料金の納付があったときに交付するものとするが、第12条に基づき、利用料金を後納させ、又は分納させる場合にあっては、この限りではない。
- 9 前各項の規定にかかわらず、当社が博物館の目的を達成するために必要な事業を行うために施設等を利用するとき、又は当社が主催若しくは共催して博物館の目的を達成するために必要な事業を行う者が施設等を利用するときは、当社における事業の実施の決定をもって、前各項に定める利用の申請及び許可があったものとみなす。
- 10 利用許可書を交付された者(以下「施設等利用者」という。)は、施設等の利用に当たり、当社の求めに応じて利用許可書を提示しなければならない。
- 11 施設等利用者は、許可を受けた施設等の利用に係る権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(展示室等の観覧の許可)

第8条 第6条の規定に基づき、別表第3に掲げる博物館の展示室又はプラネタリウム(以下「展示室等」という。)の観覧の許可を受けようとする者は、観覧する前に、第13条に定める観覧しようとする展示室等の観覧料金を当社に納付しなければならない。

- 2 当社は、観覧料金納付の受付を、開館日の開館時間の間に行うものとする。
- 3 受付は、原則として観覧料金が提出された順序により行うものとし、当社は、条例9条各号に該当すると認める場合、又は博物館の管理運営上やむを得ない理由がある場合を除き、提出された観覧料金を受理し、受理をもって観覧の許可を決定したものとし、展示観覧券を交付する。

(利用許可の変更及び取消し)

第9条 施設等利用者は、利用日時、利用目的、入場料徴収の有無その他当社が定める事項を変更しようとするとき、若しくは許可の取消しを求めるときは、あらかじめ愛媛県総合科学博物館利用変更(取消し)許可申請書(様式第3号)に利用許可書を添えて当社に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可に当たっては、第7条の規定を準用するものとする。

(利用許可の取消し等)

- 第10条** 当社は、第7条から第9条までの規定に基づく利用の許可を受けた者が、条例第10条各号に該当すると認める場合、又は博物館の管理運営上やむを得ない理由がある場合のほか、この規程に違反すると認めるときは、その利用の許可を取り消し、又は利用を制限し、若しくは停止することがある。
- 2 前項の規定に基づき取消し等を行う場合は、当社は愛媛県総合科学博物館利用許可取消し等命令書（様式第4号）を交付するものとする。ただし、当社が必要と認めるときは、口頭で命令できるものとする。

(利用料金の納付)

- 第11条** 当社は、第7条の規定により施設等の利用の許可を決定したとき、当該申請者に対し、それぞれの利用にかかる利用料金の納付の通知を行うものとする。
- 2 申請者は、前項の利用料金の納付の通知を受けたときは、直ちに利用料金を当社に納付し、利用許可書の交付を受けるものとする。

(利用料金の後納等)

- 第12条** 条例11条第2項に基づき、次の各号に掲げる場合にあっては、利用料金を後納させ、又は分納させることがある。
- (1) 国又は地方公共団体が利用する場合
 - (2) 許可された利用時間を超えて利用した場合
 - (3) その他当社がやむを得ないと認める場合

(利用料金の額)

- 第13条** 条例第12条に基づき、当社が定める利用料金の額は、別表第1、別表第2及び別表第3に掲げるとおりとする。

(施設等利用料金の減免)

- 第14条** 別表第1及び別表第2に掲げる施設等の利用料金については、条例第13条の規定に基づき、当社では、次の各号に該当すると認める場合、それぞれ当該各号に定める額を減免する。
- (1) 愛媛県及び当社が博物館の目的を達成するために必要な事業を行うために利用する場合 施設利用料金の全額
 - (2) 愛媛県及び当社が主催又は共催して、博物館の目的を達成するために必要な事業等を行う者が利用する場合 施設利用料金の全額
 - (3) 愛媛県が特に必要があると認めて利用する場合 施設利用料金の全額
 - (4) その他当社が利用者間の均衡を失しない範囲内において適当と認める場合 個別の事例ごとに教育委員会と協議して、当社が決定する額
- 2 前項の規定により施設等利用料金の減免を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館利用料金減免申請書（様式第5号）及び当社が必要と認める資料を、利用許可申請書に添えて当社に提出するものとする。
- 3 当社は、施設等利用料金の減免を決定したときは、利用許可書にその旨を記載するものとする。
- 4 前2項の規定にかかわらず、第1項第1号及び同項第2号に掲げる場合にあっては、当社における事業の実施の決定をもって、前2項に定める減免の申請及び決定があったものとみなす。

(展示室等観覧料金の減免)

- 第15条** 別表第3に掲げる展示室等の観覧料金については、条例第13条第1項に基づく免除を行うほか、同条第3項の規定に基づき、当社では、次の各号に掲げるものに対し、それぞれ当該各号に定める額を減免する。
- (1) 友の会の会員 観覧料金の全額
 - (2) 愛媛県及び当社が博物館の目的を達成するために必要な事業を行うために観覧する場合 観覧料金の全額
 - (3) 愛媛県及び当社が主催又は共催して、博物館の目的を達成するために必要な事業等を行う者が観覧する場合 観覧料金の全額

- (4) 教育委員会が施設の利用促進上、特に必要と認める場合 観覧料金の全額
- (5) その他当社が展示室等の観覧者間の均衡を失しない範囲内において適当と認める場合 個別の事例ごとに教育委員会と協議して、当社が決定する額
- 2 条例第13条第1項第1号の規定により展示室等観覧料金の免除を受けようとするときは、あらかじめ、学校長が愛媛県総合科学博物館展示室観覧料等免除申請書(様式第6号)を当社に提出しなければならない。
- 3 条例第13条第1項第2号から第4号までの各規定により展示室等観覧料金の免除を受けようとする者は、当該各号に該当することを証する書類を提示しなければならない。
- 4 第1項第1号に掲げる者が展示室等の観覧料金の減免を受けようとする場合は、同号に該当することを証する書類を提示しなければならない。
- 5 第1項第2号から第5号の規定により展示室等の観覧料金の減免を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館展示室観覧料等免除申請書(様式第6号)及び当社が必要と認める資料を、当社に提出するものとする。
- 6 前項の規定にかかわらず、第1項第3号及び同項第4号に掲げる場合にあっては、当社における事業の実施の決定をもって、前項に定める減免の申請及び決定があったものとみなす。
- 7 観覧料の免除又は減免対象と確認できた場合は、利用者に無料観覧券を発行する。

(いーよポイントによる減免)

- 第16条** 第14条及び第15条の規定にかかわらず、「ボランティア活動を促進するための教育委員会所管の教育機関の使用料減免規則」(平成15年愛媛県教育委員会規則第9号)第2条第2項に規定する「いーよポイント」との引換えにより、別表第1及び別表第2に掲げる施設等の利用料金及び、別表第3に掲げる展示室等の観覧料金を減免するものとする。
- 2 その他「いーよポイント」による減免に関し必要な事項は、別途定める。

(利用料金の還付)

- 第17条** 当社は、次の各号のいずれかに該当するときは、既に収受した利用料金のうち、それぞれ当該各号に定める額を還付するものとする。
- (1) 条例第14条第1項第1号に該当すると認める場合 利用料金の全額
 - (2) 別表第4に掲げる施設の利用の許可を受けた者が、それぞれ同表に掲げる日までに、第9条の規定に基づき、利用の許可の変更又は取消しの許可を受けた場合 それぞれ同表に掲げる額
 - (3) その他当社がやむを得ないと認める場合 当社が適当と認める額
- 2 前項の規定により利用料金の還付を受けようとする者は、愛媛県総合科学博物館利用料還付申請書(様式第7号)を当社に提出しなければならない。

(参加料金の徴収)

- 第18条** 当社は、博物館の目的を達成するために必要な事業を実施するに当たり、必要と認めるときは、事業に参加する者から参加に係る料金(以下「参加料金」という。)を徴収することがある。
- 2 参加料金を徴収する事業及びその額は、当社が事業の実施計画を決定する際に、事業内容を勘案して定める。
 - 3 参加料金を徴収する事業に参加しようとする者は、参加する前に参加料金を納付しなければならない。なお、当社が適当と認めるときは、参加料金を後納させ、又は分納させることがある。
 - 4 当社は、参加料金の納付が確認できたときに、当該納付をした者に対し、事業の参加を認めるものとする。
 - 5 事業の参加料金を減免することを目的に当社が発行した証票(以下「事業参加料金減免券」という。)を提示又は納付した者に対しては、それぞれ証票に記載した額を減免するものとする。
 - 6 当社は、やむを得ない理由があると認めるときは、既に徴収した参加料金のうち、適当と認める額を還付することがある。

(施設等損傷の届出及び損害賠償等)

- 第19条** 博物館の施設等を損傷した者は、直ちにその旨を当社に届け出なければならない。
- 2 自己の責めに帰すべき理由により、博物館の施設等を滅失し、又は損傷した者は、原状回復をし、又は

それによって生じた損害を賠償しなければならない。

（原状回復義務）

第20条 利用者は、博物館の施設等の利用が終わったとき又は利用の許可を取り消されたときは、博物館の職員の指示に従い、速やかに附属設備及び備品を所定の場所に整理し、現状に回復しなければならない。

（当社の指示及び調査）

第21条 当社は、博物館の秩序の維持及び管理上必要があると認めるときは、利用者に対し、その利用に関し指示をし、又は利用中の施設に職員を立ち入らせ利用の状況を調査させることができる。

（補則）

第22条 この規程に定めるもののほか、博物館の運営に関し必要な事項は、当社が定める。

附則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

この規定は、令和7年4月1日から改正施行する。

施設利用料

（単位 円）

区 分			利 用 料			
			午 前	午 後	夜 間	全 日
			9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～22:00	9:00～22:00
1	多目的 ホール	入場料が無料の場合	5,520	7,360	8,260	21,140
		入場料が有料の場合	8,610	11,950	13,070	33,630
2	控室 1		320	400	440	1,160
	控室 2		710	870	950	2,530
3	第 1 研修室		5,150	6,870	6,870	18,890
	第 2 研修室		1,650	2,210	2,210	6,070

注1. 上記は税込金額とする。

2. 午前及び午後又は午後及び夜間を継続して利用する場合の利用料は、午前及び午後又は午後及び夜間の利用料の合計額とする。
3. 多目的ホール又は企画展示室の利用者がこれらの施設を商品の宣伝、展示、販売等営利を目的として利用するときの利用料は、入場料の有無にかかわらず、入場料が有料の場合に相当する額とする。
4. 午前、午後、夜間及び全日の区分ごとに指定する時間以外の時間に利用する場合の利用料は、1時間まで毎に、全日の利用料の1時間当たりの額（10円未満切捨て）に相当する額とする。

別表第2（第2条、第6条、第7条、第13条、第14条、第16条関係）

附属設備及び備品の利用料

(単位 円)

名 称				1 日の 利用料
区 分	番号	種類又は品名	単位	
多目的ホール・控室				
舞台設備	1	演台	1 台	450
	2	花台	1 台	230
	3	司会台	1 台	230
	4	譜面台	1 台	120
	5	平台（180cm×90cm）	1 台	230
	6	上敷ござ	1 枚	330
	7	めくり台	1 台	120
	8	高座用布団台	1 枚	230
	9	緋毛せん	1 枚	330
照明設備	10	照明設備一式	1 式	4,540
	11	パーライト（1000W）	1 基	280
音響設備	12	舞台袖操作卓	1 式	1,100
	13	ワイヤレスハンドマイク	1 本	1,100
	14	ワイヤレスピンマイク	1 本	1,660
	15	ダイナミックマイク	1 本	550
	16	卓上型マイクスタンド	1 台	230
	17	床上型マイクスタンド	1 台	230
楽器	18	ピアノ	1 台	3,320
映写設備	19	ポータブルスクリーン	1 台	330
その他	20	ホワイトボード	1 台	330
	21	レーザーポインター	1 個	330
	22	延長コード	1 本	120
	23	電気スタンド	1 台	120

注1. ピアノの利用料には、調律料を含まない。

注2. マイクは全部で4本までの使用となる。

別表第3（第6条、第8条、第13条、第15条、第16条関係）

1. 展示室観覧料

区 分	一 般	団体（20人以上）
大人（高校生以上）	580円	480円
高齢者（65歳以上）	300円	250円

2. プラネタリウム観覧料

区 分	一 般	団体（20人以上）
大人（高校生以上）	580円	480円
高齢者（65歳以上）、小・中学生	300円	250円

別表第4（第17条関係）

利用料金の還付

施設の区分	変更又は取り消しの 許可を受けた日	還付の額
多目的ホール・控室1・控室2・	利用日の60日前の日	利用料金の全額
	利用日の30日前の日	利用料金の50％に相当する額
第1研修室・第2研修室	利用日の14日前の日	利用料金の全額
	利用日の7日前の日	利用料金の50％に相当する額

VII 博物館利用案内

1 施設使用案内

(1) 施設使用申し込み

次の期日までに所定の様式による使用許可申請書を提出し、使用の許可を得てください。

- ・多目的ホール、控室……………1年前から7日前まで
- ・研修室……………6月前から2日前まで

(2) 施設使用料（※令和7年4月1日現在）

区 分		使 用 料			
		午 前	午 後	夜 間	全 日
		9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～22:00	9:00～22:00
多目的 ホール	入場料が無料の場合	5,520円	7,360円	8,260円	21,140円
	入場料が有料の場合	8,610円	11,950円	13,070円	33,630円
控室 1		320円	400円	440円	1,160円
控室 2		710円	870円	950円	2,530円
第 1 研修室		5,150円	6,870円	6,870円	18,890円
第 2 研修室		1,650円	2,210円	2,210円	6,070円

注意事項

1. 上記は税込金額です。
 2. 午前＋午後、または午後＋夜間を継続して利用する場合の利用料は、午前および午後、または午後および夜間の利用料それぞれの合計金額です。（12時～13時、17時～18時の料金はかかりません。）
 3. 午前、午後、夜間および全日の区分ごとに指定する時間以外の時間に利用する場合の利用料は、1時間まで毎に、全日の利用料の1時間当たりの額（10円未満切捨て）に相当する額とします。なお、施設のご利用時間は、午前9時から午後10時までとなります。
 4. 多目的ホールの利用者が商品の宣伝、展示等、営利を目的として利用するときの利用料は、入場料徴収の有無にかかわらず、入場料が有料の場合に相当する額とします。
- ※ 備品のご利用があった場合は、利用料の他に備品利用料が別途かかります。備品利用料は当日現金でのお支払いとなります。
- ※ 利用料に冷暖房費も含まれております。

2 入館案内

(1) 開館時間

午前9時から午後5時30分まで（展示室への入場は、午後5時まで）

(2) 休館日

- ・毎週月曜日 ただし、第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館。
祝日・振替休日にあたる場合は、直後の平日
- ・年末年始 12月29日から1月1日まで
- ・春休み、夏休み、GW期間中は無休
このほか、必要に応じ休館することがあります。

(3) 展示観覧料（※令和7年4月1日現在）

常設展

区 分	一 般	団 体 (20名以上)
大人(高校生以上)	580円	480円
65歳以上の方	300円	250円
小・中学生	無料	無料

プラネタリウム

区 分	一 般	団 体 (20名以上)
大人(高校生以上)	580円	480円
65歳以上の方	300円	250円
小・中学生	300円	250円

特別展・企画展の観覧料は別に定めます。

3 交通案内

松山市から車で（松山自動車道利用）……………60分

松山自動車道いよ西条I.C.から……………5分

瀬戸内バス 西条～中萩～新居浜線

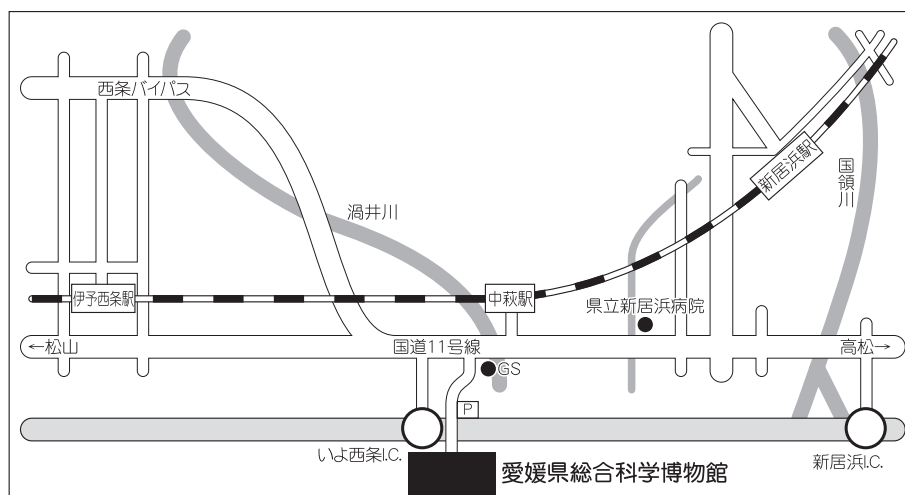
J R伊予西条駅から……………20分、「桜木」から徒歩30分

J R新居浜駅から……………20分、「渦井橋」から徒歩30分

J R伊予西条駅からタクシーで……………15分

J R新居浜駅からタクシーで……………15分

駐車場（乗用車320台・大型バス8台収容）がありますのでご利用ください。



年 報

(令和6年度)

発行年月日	令和7年9月30日
発 行	愛媛県総合科学博物館 〒792-0060 新居浜市大生院2133番地2 TEL (0897) 40-4100 FAX (0897) 40-4101
印 刷 所	株式会社ハラプレックス